

農産加工

井出 季和 箸著

南支那農業問題の研究

四六判

218

一、八〇 松山房

月二

▲廣東省内の代表十ヶ村を選んで調査報告せる陳博士の「南支那の農業問題」を邦譯す。

工學試驗所技師
増野 實

大豆蛋白質

洋菊判

335

四、〇〇 工業圖書株式會社

月五

▲大豆加工工業の基本をなす大豆蛋白質に関する知識を系統立つて述べたもの。

元龜岡高等農林學校教授
柘植 六郎

農産加工と其の利用

洋菊判

214

二、四〇 成美堂

月九

▲實習指導をなした時の實驗成績を輯録して農産物加工の指導をなしたもの。

伊藤隆吉・保御晴美
上田信三・原田竹治

支那土壤地理學

洋菊判

484

五、五〇 岩波書店

月一十

▲支那全土に亘つて土壤の科學的研究をなしたソープ博士の著書を翻譯す。

尾崎 準一

食用油脂營養論

洋菊判

283

三、五〇 雄山閣

月六

▲營養學の見地より食用油脂の研究をなしたもので油脂化學、食用油脂論其他。

小鈴 彌太郎

生物化學

布菊判

876

一〇、〇〇 朝倉書店

月二十

▲生物化學の全般に亘り最近の趨勢までを述べたもので、炭水化合物の概念其他。

船取 眞吾

土壤實驗法

洋菊判

178

二、三〇 養賢堂

月九

▲土壤分析に關する實驗に就て述べたもので定量分析入門、土壤の化學的分析他一篇。

野崎 信夫

園藝必携

洋菊判

266

一、五〇 同文館

月七

▲アマチュアに必要な基本的な常識を解説したもので園藝植物栽培通説其他。

皆川 豐作

園藝利用工業

布菊判

265

三、八〇 朝倉書店

月二十

▲園藝及園藝利用工業、園藝利用に關係ある微生物に就て、罐詰及罐詰法十七章。

尾崎 哲之助	大菊の新しい作り方	洋菊判	174	一、〇〇 三省堂	月九	▲多年の實地經驗から得た栽培上の呼吸と要領を、現代科學の立場から再吟味して説く。
石原 三一	柿の栽培技術	布菊判	381	三、八〇 賢文館	月五	▲柿の栽培技術及其加工、販賣等に關して記述なしたもので總論、氣候土質並地勢其他。
堀 準爾	こんにやく栽培の實際	洋菊判	88	九、〇〇 泰文館	月十	▲食用として又工業用として重要な、こんにやく栽培の實際を説く。
石飛 太吉	小菊の新しい作り方	洋菊判	161	一、〇〇 三省堂	月九	▲小菊の懸崖作り、小菊の盆栽作り等について指導したもの。
波多 腰武	小麥作精説	布菊判	401	三、八〇 賢文館	月二	▲長年の體験を基にして小麥の重要性、小麥の需給と増殖方策其他にて麥作經營を説く。
東 畑 精一	米	上菊判	339	一、七〇 中央公論社	月一	▲現下の國民生活に最も強い影響を與へておる米についてのあらゆる知識を述べたもの。
櫻 澤 如一	米の知識	洋菊判	170	六、〇〇 大日本法令出版株式會社	月六	▲正しい米の知識を平明に説いたもので、米とは何か、なぜ米の知識が缺けたか其他。
永井 威三郎	作物栽培各論	洋菊判	540	五、五〇 養賢堂	月二	▲上巻は禾穀類篇で禾穀類と其の重要性其他にて禾穀類の概念を説き稻其他の各論に及ぶ。
岩本 熊吉	雜草園の造り方	洋菊判	336	二、〇〇 育生社	月六	▲雜草を各方面より觀察し、其の效用を究め各雜草の一つ一つを説明したもの。
野崎 信夫	松柏盆栽仕立方	洋菊判	162	一、〇〇 三省堂	月一十	▲我邦固有の植物藝術盆栽の中、松柏類に就て最近の培養法を説述したもの。
原 攝祐	食用蕒栽培の實際	布菊判	274	一、九〇 養賢堂	月一	▲農家の副業として有利な食用蕒栽培の實際を平易に説述したもの。
野崎 信夫	蔬菜の作り方	洋菊判	164	一、〇〇 三省堂	月一	▲蔬菜の家庭的栽培法を通俗平易に説明した入門書。
堀 準爾	大根・蕪栽培の實際	洋菊判	207	一、〇〇 泰文館	月一十	▲蔬菜類中最も需給の多い大根と、蕪の栽培に就いて指導なしたもの。

農業(園藝・作物・蠶業・畜産・家禽)

堀 準 爾	玉葱・葱類栽培の實際	洋四六判 布入判	201	一、〇三	泰文館	月三	▲總説、玉葱栽培、葱栽培、其の他葱類、病害の五章にて説述す。
朝倉 丈夫	東洋蘭の作り方	洋四六判 布入判	168	一、〇三	三省堂	月一	▲準備篇(蘭栽培の豫備知識)培養篇(蘭の種類と栽培の實際)の二篇にて説述す。
内田 郁 太	日本園藝案内記	洋四六判 布入判	276	一、八〇	賢文館	月一	▲過去三十四年間に日本全国各地を視察旅行した實況を記述したものである。
遠 藤 茂	庭木と草花の病害	洋四六判 布入判	386	四、四〇	明文堂	月一	▲庭木や草花の病害に關する最近迄の研究を収めて平易に説述したものである。
鈴木 直 二	米作の研究	洋四六判 布入判	408	二、五〇	巖松堂	月三	▲米作技術史、最近の米作技術の二篇にて指導的立場にある我邦米作技術を説述す。
立岩 松 鑑	麥作實際論	洋四六判 布入判	412	三、四〇	養賢堂	月一	▲實際麥作經營に當る中堅農家を目標として麥作の實際を指導したものである。
石川 金太郎編	日本蠶絲學文獻集	洋四六判 布入判	973	六、八〇	明文堂	月八	▲蠶絲學に關する文獻の中、邦人の研究に係るもののみを分類収録したものである。
五十嵐 友幸	日本蠶絲業の再編成	洋四六判 布入判	507	五、三〇	モダン社	月十	▲戦時下蠶絲政策の動向、蠶絲業編成要請の諸要因他四章にて説述す。
黒澤 亮 助	家畜外科學	洋三三判 布入判	270	三、五〇	養賢堂	月七	▲北大にて講義せる臨牀家畜外科學を纏めたもの。
板垣 四郎	家畜疾病精説	洋四六判 布入判	412	四、八〇	賢文館	月五	▲畜産關係者が相遇する家畜疾病の概念を説き其處置法を述べたものである。
三島 康七	毛皮獸・銀狐の養殖	洋四六判 布入判	188	一、五〇	明文堂	月一	▲轉換期に立つ養狐事業の一般を敘述したもので養狐の現況、本邦養狐の沿革其他。

畜産・家禽

農業(畜産・家禽・水産)

犬の研究社編	狗仔犬讀本	上四六判 製入判	268	一、三〇	犬の研究社	月十	▲仔犬の育て方、各犬種飼育のコツの二篇にて正しい飼育と管理手引等を指導す。
衣川 義雄	最新兎の飼ひ方	洋四六判 布入判	128	一、〇三	農村社	月一	▲養兎經營の全般に亘つて平明に記述したもので養兎の過去・現在並將來他七章。
小 西 要	猫の飼ひ方	洋三三判 布入判	259	一、九〇	養賢堂	月七	▲治療篇、處方及調劑篇、參考篇の三部にて臨牀獸醫學の平明な解説をなす。
犬の研究社編	猫の飼ひ方	洋四六判 製入判	170	一、五〇	犬の研究社	月十	▲日本猫の歴史、猫の科學一斑、猫の種類、猫の飼ひ方、猫の醫學他一章にて述べ。
小松 馬太	比較養鶏新法	洋四六判 布入判	192	二、四〇	農村社	月六	▲實地の見聞と體驗とを以て海外に於ける養鶏法の敘述をなしたものである。
大瀨 秋嶺	豚の飼ひ方と加工法	洋四六判 布入判	174	一、〇三	泰文館	月一十	▲農家の實利副業として豚の合理的な飼ひ方加工、販賣法等を記述したものである。
惣津 律士	綿羊飼育相談	洋四六判 布入判	295	二、四〇	賢文館	月七	▲農村副業として近來益々需要の増した綿羊の飼育法を説述したものである。
月野 誠道	羊の飼ひ方と加工法	洋四六判 布入判	307	一、八〇	泰文館	月七	▲綿羊の價値と其必要なる所以を力説し、綿羊の飼育法と加工法を説述したものである。
成田 熊吉	養鶏の手引	洋四六判 布入判	319	一、八〇	農林書房	月四	▲資本の大小、老若男女等を問はず如何なる家庭でも出来る養鶏事業の手ほどきをなす。
羽部 義孝	和牛の改良と登録	洋四六判 布入判	212	二、五〇	養賢堂	月二	▲和牛登録論、和牛の改良と其動向、和牛の飼育他一篇にて和牛の改良について説述す。
福岡 醇祐	海との戦ひ	洋四六判 製入判	263	一、五〇	亞細亞青年 聯盟出版部	月一十	▲五尺の瘦驅を以て世界の海を戰場に、敢然戦ひつゝある海の子の事業記録。
宮崎 賢一	漁船金融論	洋四六判 布入判	170	二、〇〇	水産社	月八	▲漁船の維持を目的として漁船金融を論述したもので、漁船金融の大勢其他。

水産

(15-8)

農業(水産)

谷本保夫	鯉と鮒の飼ひ方	洋南四六 布入判	一、〇〇	泰文館	月五	▲農家經營の副業として有利な鯉と鮒の飼養法を實驗に即して指導なす。
片山年	鮪漁業	上南四六 製入判	二、〇〇	水産社	月三	▲我が邦重要漁業たる鮪漁業各般に亘る漁具、漁法等に就て記述したるもの。
水産社編	日本水産年報 第四輯—水産新秩序の諸問題—	並南 製判	三、〇〇	水産社	月五	▲過去一ケ年に亘る水産業の動きを検討し、水産新秩序建設の基底を究明なす。
岡本正一	滿支の水産事情	洋南南 布入判	一〇、〇〇	水産通信社	月八	▲滿支水産事情の概要を記述したもので、分類と解説、漁業、水産物の需給と貿易の三部

五六四

保田與重郎 戴冠詩人の御一人者

赤松景福 萬葉集創見

送定菊 料價判 布裝 三、三五〇
二、八〇〇

送定四 料價判 上製 一、三六〇
一、八〇〇

(東京堂刊行)

(15-1)

一七、理科學・數學

理科學・數學(科學一般)

寺島 桓史	科學 日本の偉力	洋南四六 布入判	二、〇〇	日本公論社	月一十	▲主として江戸時代以降今日までの我國の應用科學(發明)方面の事蹟に就いて説述す。
富塚 清	科學 日本建設	上南南 製入判	二、〇〇	文藝春秋社	月十	▲科學は何をなし得たか、科學日本建設のため、の二部に收めた科學評論集。
林 緑	科學 論策	並南 製判	二、五〇	厚生閣	月一十	▲自然科學そのもの、文化批評、政治批評、大陸文化工作論、女性評論の五部に收む。
矢野健太郎	空間と時間	並南 製判	九、五〇	岩波書店	月四	▲相對性理論の解説、空間と時間及廣く科學一般を述べた『L'espace et le temps』の邦譯
アレン 雄著	現代の自然科學	洋南南 布入判	六、三〇	恒星社	月八	▲現代の自然科學の傾向や成果の一般を平明に解説したるもの。
平田 寬譯	古代科學	上南南 製判	一、〇〇	創元社	月一十	▲古代ギリシヤの科學を、その全般にわたつて正確に、簡明に敘述したるもの。
原田 三夫	最新の自然科學	並南 製判	二、〇〇	モダンド社	月七	▲最近に於ける自然科學の通俗的解説をなしたもので科學と人生と國家、分子と原子其他
額田 香	自然科學發達史	並南 製判	一、八〇	日新書院	月二十	▲古代、中世、近世、現代の四篇に分けて自然科學の發達を考察せる書。

五六五

吉村壽人著 正路倫之助校勘 名古屋帝國大學教授 工學博士	小島林明 名古屋帝國大學教授 工學博士	越山季一 理學士	近藤名一 理學士	阿藤質 理學士	ラングミュア著 仁科芳雄譯 理學士	湯川秀樹 理學士	リッパ著 吉田廣志譯 理學士
PHの理論と測定法	應用熱力學	化學概論	化學講義	化學實驗法	界面化學	原子核及び元素の人工轉換	原子核の物理
洋四六倍判	洋四六倍判	洋四六倍判	洋四六倍判	洋四六倍判	洋四六倍判	洋四六倍判	洋四六倍判
898	335	325	514	194	41	464	234
一五、〇〇〇	三、三〇〇	三、〇〇〇	五、〇〇〇	二、〇〇〇	六、七〇〇	五、〇〇〇	二、〇〇〇
丸善株式會社	養賢堂	養賢堂	太陽堂	培風館	岩波書店	岩波書店	白揚社
八月	五月	五月	三月	三月	六月	七月	二月
▲酸鹽基平衡論、指示薬によるPH測定法、電位差測定によるPH測定法他一篇を収む。 ▲専門學校程度以上の學生の教科書・参考書として應用熱力學の大綱を記述せるもの。 ▲下巻は第十四章空氣壓縮機、第十五章冷凍機、第十六章燃焼の熱力學他五章を収む。 ▲教科書向きに化學概論を纏めたもので理論化學篇、無機化學篇、有機化學篇他一篇。 ▲文部省化學教科書目に準據し無機化學各論を主として理論化學を説いたもの。 ▲高等學校・高等工業學校の教科書として化學實驗の基礎的記述をなしたもの。 ▲ラングミュアが吸着作用及び分子層等に關する基本的研究を詳述したしたもの。 ▲下巻は第五編中性子、第六編原子核理論の概要、の二篇と附録及索引を収めたもの。 ▲最近物理學の全般を平易に説いたリッパの「Einführung in die Kernphysik」の全譯。							

理科學・數學(科學一般・物理・化學)

五六六

有井癸巳雄 理學士	一瀬正巳 理學士	三宅三郎 九州帝國大學理學博士	奥西平三郎・八木彌助・池田庄兵衛 元山高等學校教授	田中三四郎 元山高等學校教授	古谷健太郎 神戶高等學校教授	巽純一 長岡高等工業學校教授	内田宗義編 長岡高等工業學校教授	河村文一 長岡高等工業學校教授	加福均三 理學士	佐藤龍猪 理學士	三枝元彦 理學士	P・ヨルダン著 中野廣譯
固體による氣體の吸着	工業基礎物理學	工業物理化學	香料化學	高等物理學	高等物理學	構造力學	實用分析化學便覽	初等定量分析法	テールベ	鋼鐵鋼分析法	電磁場論	二十世紀の物理學
洋四六倍判	洋四六倍判	洋四六倍判	洋四六倍判	洋四六倍判	洋四六倍判	洋四六倍判	洋四六倍判	洋四六倍判	洋四六倍判	洋四六倍判	洋四六倍判	洋四六倍判
345	394	486	446	445	489	544	258	129	406	231	355	279
四、五〇〇	四、〇〇〇	五、三〇〇	四、三〇〇	四、〇〇〇	四、五〇〇	五、二〇〇	二、二〇〇	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	二、七〇〇	五、五〇〇	二、〇〇〇
内田老鶴園	培風館	工業株式會社	修教社	丸善株式會社	三省堂	出版部	工業株式會社	昭晃堂	共立社	昭晃堂	内田老鶴園	八元社
五月	五月	二月	十月	三月	四月	二月	七月	二月	一月	六月	九月	十二月
▲緒論、吸着平衡の測定法、恒溫吸着平衡、恒溫吸着平衡、吸着熱他十九章にて記述す。 ▲専門學校以上の工業を修め高級工業技術者たるべき人々に基礎物理學の知識を説述す。 ▲第二卷は單相平衡、單相平衡の實例、多相平衡(一成分系、二成分系)他一章を収む。 ▲香料の意義、香料の起源、近世香料化學史香氣と化學構造等他に記述す。 ▲高等學校・實業專門學校程度以上の教科書として物理學の一般を系統的に記述す。 ▲高等學校・專門學校程度以上の教科書用に「物理學」の大綱を記述す。 ▲建築工學・土木工學に於ける構造力學の第一歩を平明に解説したものである。 ▲實際的なる分析化學全般の主要事項を網羅して解説を施したものである。 ▲定量分析の一般を入門的に記述したもので重量分析法、容量分析法他二章。 ▲上巻は鎖状テルペン及び其誘導體、單環性テルペン及び其誘導體の二篇を収む。 ▲實用的な鐵鋼並に特殊鋼成分の分析法を系統的に記述したもので炭素定量法其他。 ▲靜場、電氣力學、運動物體の電氣力學の三篇にて記述す。 ▲現代物理學の内容を特殊な個別的的問題や數學的公式化から離れて平易に解説す。												

理科學・數學(物理・化學)

五六七

友近晋流體力學	佐藤瑞穂	小林秀治郎	山田光雄	赤堀四郎	小竹無二	柴田雄次	比原時夫	水島三一郎	能本乙彦	石原純	福本正人	吉田卯三	武居文助	石橋栄	インフエルト著
力學汎論	力學一般及熱學	力學	有機化學の進歩	分析化學要論	分子構造論の諸問題	分子構造論の諸問題	物理學的次元解析學	物理學は如何に創られたか	物理學的次元解析學	物理學實驗	物理學實驗	物理學實驗	物理學實驗	物理學實驗	物質の神秘
洋南布	洋南布	洋南布	洋南布	洋南布	洋南布	洋南布	洋南布	洋南布	洋南布	洋南布	洋南布	洋南布	洋南布	洋南布	洋南布
351	486	267	441	401	214	224	339	143	211	202	292	282	282	282	282
五、一〇〇	六、三〇〇	三、〇〇〇	六、三〇〇	五、三〇〇	〇、〇〇〇	二、五〇〇	四、〇〇〇	二、〇〇〇	六、五〇〇	三、〇〇〇	二、七〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
共立社	内田老鶴園	前野書店	内田老鶴園	共立社	岩波書店	前野書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	三省堂	三省堂	三省堂	三省堂	三省堂	創元社
月七	月八	月五	月九	月七	月六	月六	月三	月九	月一	月一十	月九	月一十	月一十	月一十	月一十
▲大阪帝大理學部にて講義せるものを増補して編めたもので緒論、流體靜力学其他。	▲力學の初歩と、實際に必要な基礎的事項を収めて説いたもの。	▲高校理科・専門學校生徒向に教科書參考書として物理學の一般を要述す。	▲本輯は分子構造とその極性(小寺明)顯微鏡に依る融點測定法(萩谷彬)他十五篇。	▲無機化學・二はアルカリ金屬よりチタン族金屬に至る部分の收めて解説す。	▲分子構造論、分子構造論と量子力学、有機化學と量子力学の共鳴他三篇の論文集。	▲醫大豫科、醫專、藥專向きの教科書として分析化學の概要を記述す。	▲物理學の進歩を平明に述べたもので下巻は場・相對性(二)、量子の二部。	▲發展途上にある分子音響學の系統的紹介をなしたもので、緒言、歴史的事項も他。	▲物理學的次元解析學の根本問題、次元式他九章にて物理學的次元解析學を論述す。	▲物理學の進歩を平明に述べたもので下巻は場・相對性(二)、量子の二部。	▲物理學の進歩を平明に述べたもので下巻は場・相對性(二)、量子の二部。	▲物理學の進歩を平明に述べたもので下巻は場・相對性(二)、量子の二部。	▲物理學の進歩を平明に述べたもので下巻は場・相對性(二)、量子の二部。	▲物理學の進歩を平明に述べたもので下巻は場・相對性(二)、量子の二部。	▲物理學の進歩を平明に述べたもので下巻は場・相對性(二)、量子の二部。

理科學・數學(物理・化學)

大武竹田	水鳥三一郎	春日重樹	田中阿歌	辻村太郎	原田三夫	三浦榮五郎	荒川秀俊	川畑幸夫	宮部直己	荒木俊馬
粒子と波動	量子化學	地質學	湖沼學	山の科學	山の科學	氣象觀測法講話	氣象觀測法講話	氣象觀測法講話	天文學概説	天文學概説
洋南布	洋南布	洋南布	洋南布	洋南布	洋南布	洋南布	洋南布	洋南布	洋南布	洋南布
185	193	110	257	177	422	318	135	202	232	376
二、三〇〇	九、〇〇〇	一、三〇〇	二、〇〇〇	六、五〇〇	二、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	二、〇〇〇	一、〇〇〇	三、五〇〇
岩波書店	岩波書店	鐵道圖書局	同倉書房	岩波書店	朋文堂	地人書館	岩波書店	地人書館	三笠書房	恒星社
月七	月九	月五	月一十	月四	月九	月四	月七	月九	月二十	月一十
▲物理學の基礎としての原子觀上・下、相對性理論、輻射と量子論等他八章にて説く。	▲量子力学の基礎知識を解説す。	▲實業學校教科書向きに、實際に役立つ地質的自然現象に就て記述をなしたもの。	▲湖沼と人生、日本湖沼學の沿革、湖沼研究の思ひ出、湖沼學と海洋學等其他を掲載す。	▲總説、溪谷、山嶺、水河、火山、の五章にて山に關する知識を説述す。	▲一般大衆向きの山の科學を説明したもので地球、山はいかにしてできるか其他。	▲數十年の體験を基と一般大衆向きに氣象觀測の平明な案内をなしたもの。	▲最近に於ける氣象力学の全貌を把握し、次に理論氣象學の理念の動向をも説いたもの。	▲球面三角法、地球、天球座標、惑星の公轉時、氣差、視差、光行差他四章にて説述す。	▲地震に關する科學的知識を平明に解説したもので、地震の強さと大いさ其他。	▲天上の文學と大宇宙の書籍、萬有引力の法則と太陽系の鳥瞰他十八講にて説述す。

理科學・數學(物理・化學・地質學・天文・地文・氣象)

中村左衛門太郎	東亞氣象學	三、八〇	恒星社	月二	▲東亞氣象學の一般を記述したもので、大氣日照と日射、湿度と温度、雲の観測他六章。日誌と一般大衆向きに、暴風雨の現象を根柢から説明したものである。
大谷東平	暴風雨	三、六〇	岩波書店	月九	▲一般大衆向きに、暴風雨の現象を根柢から説明したものである。
竹田新一郎	遊星から恒星へ	二、四〇	恒星社	月六	▲遊星から恒星へ、ヨーハン・ケプレル傳、太陽系の創成他四篇の論議を収録す。
B・d・メイ	細菌	一、四〇	青木書店	月三	▲我々の生活に多くの關聯を持つ細菌の知識を科學的に説いた著書を邦譯す。
谷野武治	細菌の問	三、六〇	岩波書店	月七	▲今日の細菌問題を、メンデル説以後の遺傳學の原則の下に解説したものである。
ハツクドリ	細菌の問題	三、六〇	富山房	月五	▲生物学各部門に亘り一般研究に必要な事項を選定して解説をなしたものである。
拓植秀臣・永野爲武	生物学辭典	三、二〇	富山房	月五	▲自然の中に現象する数多い類例から選んだ不思議な習性を持つ生物の生活史を敘す。
ワスントン著	生物学各論	一、八〇	創元社	月一	▲ウオールデン、ジェンキンス、ワーナーの共著「生物心理学各論」を邦譯す。
小野直通	生物学各論	六、三〇	三省堂	月四	▲細胞學のあらまし、性、遺傳學から見た性の決定の諸研究他六篇を収む。
湯淺明	性の決定	二、五〇	同文館	月二	▲昭和十三年に遂行された京都帝國大學内蒙古學術調査隊の各種報告を纂録す。
木原均編	内蒙古の生物學的調査	二、八〇	養賢堂	月一	▲先づ根本の生物學的基本の原理を明かにし併合外面に表れた文化の問題を検討解説す。
佐藤華夫	文化と生物学	一、〇〇	三笠書房	月一	▲大學及専門學校の参考書として有機化學及生物化學の一般を講述したものである。
皆川豊作	有機生物化學	四、三〇	賢文館	月四	

理科學・數學(天文・地文・氣象・生物學)

大島正滿	魚	三、〇〇	三省堂	月一	▲ハツクスリの論文より、「蟻」と「生物学と社會學」の二篇を譯出したものである。
田中茂穂	魚	一、三〇	創元社	月七	▲魚類の進化史、魚類の形態一般、魚類の生態、魚類の分布、魚類の發生他三章にて説くものである。
素木得一	害蟲・益蟲	五、五〇	大日本圖書株式會社	月一	▲我國に棲息する各種の魚類を網羅分類したもので、鱒類、鯉類、天竺鯛類、鯔類其他。
平山修次郎	甲蟲圖譜	三、〇〇	三省堂	月一	▲大衆の爲に昆蟲の中でも人類に最も關係の深い害蟲・益蟲數千を網羅して説明す。
石井梯	野蟲昆蟲記	一、九〇	三省堂	月八	▲凡て日本領土産の甲蟲類一三三七匹を収めて解説を収めた圖譜。
ブレンチャイ著	動物群像	一、八〇	三笠書房	月二	▲武蔵野の昆蟲に就いて觀察したもので、武蔵野と昆蟲、春の昆蟲生活、紋白蝶其他。
小野田伊久馬	動物原色大圖鑑	二、三〇	誠文堂	月二	▲珍獸奇鳥は勿論凡ゆる動物生活を展開した書で、類人猿、人語を眞似る鳥他十七章。
古賀忠道	動物の生活	二、三〇	三省堂	月三	▲總數六千餘に上る動物を収載して其の名稱性狀、形態、特徴、分布其他を解説す。
上野動物園長	動物の生活	二、三〇	三省堂	月三	▲上野動物園に於ける動物の生活を詳細に觀察記録したものでジラフの觀察、猿心其他。
朴三二	動物分類	二、八〇	三省堂	月七	▲本輯は「海綿動物門」中の「石灰海綿綱」を収めたものである。
高桑良興	動物分類	四、〇〇	三省堂	月四	▲本輯は厚足綱(整形類)チムカデ目を収めて解説したものである。
高桑良興	動物分類	二、八〇	三省堂	月九	▲本輯は厚足綱(整形類)オホムカデ目を収めたものである。

理科學・數學(動物學)

岩崎博士	重三	鑛物學通論	津西菊	布人判	270	四、〇〇	内田老鶴園	月二	▲鑛物形態學、鑛物物理學、鑛物化學の三篇にて鑛物學を論じたもの。
松本敏三	敏三	一次函數・その應用	津西菊	裝入判	234	三、五〇	富山房	月一十	▲複素數、定數項の級數、變數・函數・線形數、微分法、積分法他五章。
高橋啓藏	啓藏	解析幾何及微分積分學	津西菊	布判	380	三、八〇	培風館	月二	▲解析幾何・微分・積分の三つを融合して高次理科、高等工業學校の教科書向きに編纂す
松本敏三	敏三	函數・その表現	津西菊	裝入判	453	五、七〇	富山房	月五	▲函數を主として其他の高等數學の正しき修得を目的として隨筆的に説明したものを。
溝口好忠	好忠	曲線と方程式	津西菊	裝入判	84	一、五〇	式會社	月二	▲高等學校に於ける平面圖學の參考として曲線に關する論理を數學的に説明す。
小倉金之助	金之助	計算法・確率・統計	津西菊	裝入判	171	九、八〇	岩波書店	月十	▲豫備概念、函數尺と函數方眼紙、三變數の計算法他三章にて説述す。
岡谷辰治	辰治	計算法・確率・統計	津西菊	布人判	347	四、八〇	養賢堂	月九	▲近似計算法、確率論、現象指示近似函數、統計の四篇を収めて講義なしたものを。
内田朝祥	朝祥	現場と算術	津西菊	布人判	114	六、七〇	機械友社	月五	▲機械工場に勤いてをる徒弟見習工を對象として青年學校要目に準據せる數學を説く。
吉原鐵夫	鐵夫	工場數學	津西菊	布人判	210	一、五〇	知進社	月一十	▲工場生活に入つて遭遇する幾多の疑問を解くに必要なる數學知識の一斑を記述す。
山崎榮作	榮作	高等算術通論	津西菊	布人判	426	六、三〇	内田老鶴園	月一十	▲高商學生、中等教員檢定受験者、銀行會社社員のために算術の全般的記述をなす。
奥野保	保	高等數學	津西菊	布人判	323	三、五〇	修教社	月十	▲初學者にも理解出来るよう平面並に立體解析幾何學及微積分學の一斑を記述したものを。

岩崎博士	重三	鑛物學通論	津西菊	布人判	270	四、〇〇	内田老鶴園	月二	▲鑛物形態學、鑛物物理學、鑛物化學の三篇にて鑛物學を論じたもの。
黒田長禮	長禮	日本動物分類	津西菊	上菊製判	108	二、八〇	三省堂	月三	▲本輯は魚綱・眞口亞綱・硬骨魚目「堅皮類」を収めて解説をなしたものを。
原志免太郎	志免太郎	日本哺乳類圖説	津西菊	上菊製判	311	一、八〇	三省堂	月八	▲日本に生棲する哺乳動物を原色版にて収め平明な圖説を施したものを。
石澤慈鳥	慈鳥	路傍の昆蟲	津西菊	布人判	216	一、五〇	日本業社	月九	▲螢の本態を通俗的に述べたもので、螢と螢文學、螢の光、源氏螢と平家螢等其他。
牧野富太郎	富太郎	雜草三百種	津西菊	布人判	309	二、八〇	厚生閣	月一十	▲春夏秋冬の昆蟲の卵・幼蟲・繭・蛹・成蟲等の生態寫眞を収めて一般向の指導をなす。
津木孝明	孝明	植物鹽基	津西菊	布人判	318	二、八〇	廣川書店	月二	▲雜草の寫眞標品二百八十餘枚を収め、初心者にも良い標品の作れるやう解説す。
宮本秀雄	秀雄	植物實驗材料の採取と培養	津西菊	布人判	435	五、三〇	養賢堂	月四	▲藥學・有機物化學の研究成果を辿つて植物鹽基の平明な記述をなしたものを。
鈴木梅太郎	梅太郎	植物生理化學	津西菊	裝入判	722	八、五〇	朝倉書店	月二	▲植物實驗材料の用途・栽培・採集・保存等に就いて綜合的に解説なしたものを。
服部靜夫	靜夫	植物病原菌類	津西菊	布判	377	三、九〇	養賢堂	月一	▲植物體の成分と其新陳代謝を闡明したもので、蛋白質、酵素、炭水化合物其他。
佐竹義輔	義輔	植物生活から	津西菊	布判	181	六、五〇	岩波書店	月五	▲總説、實物の觀察、分類、の三篇にて植物病學の基礎的知識を解説す。
牧野富太郎	富太郎	日本植物圖鑑	津西菊	布人判	1212	二、八〇	三省堂	月六	▲植物の生活の諸相を、それに關係する物質に基礎をおいて述べたものを。
			津西菊	布人判	90	二、八〇	三省堂	月六	▲第六冊は「ホシクサ科」を収めて説述したものを。
			津西菊	布人判	323	三、〇〇	北隆館	月十	▲本邦固有の土産植物を網羅し、三千五百品種以上を圖説し解説なしたものを。

越智 治成	森島 太郎	岩田 至康	清原 種英	吉岡 修一郎	小倉 金之助	窪田 忠彦	末又 秀一	今野 三郎	中野 秀五郎	矢野 健太郎	秋山 武太郎
工業高等數學初歩	高等代數學	初等射影幾何學入門	數學史新講	數學のシーズン	日本の數學	微分幾何學	微分積分學	ベク百萬人の數學	リーマン積分よりルベック積分へ	大正市川大學數學部(編) 最近の幾何學の概要ト	わかる微積分
洋四六判	洋四六判	洋四六判	布四六判	布四六判	布三六判	布四六判	布四六判	布四六判	洋四六判	布四六判	布四六判
191	178	222	250	340	440	170	484	281	404	154	155
一、九〇	一、〇〇	三、〇〇	二、〇〇	一、八〇	六、五〇	七、〇〇	三、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
培風館	三省堂	生活社	研究社	賢文館	誠光堂	岩波書店	富山房	日本評論社	研究社	岩波書店	高岡本店
五月	二月	三月	三月	一月	七月	三月	三月	三月	四月	三月	三月
▲工業學校上級生・高工初學生向に高等數學の入門的解説をなしたものである。	▲二項定理、確率、不等式、複素數、代數方程式等九章、附錄導函數他二章。	▲支那數學史を敘述せる李儼の「中國算學史」(一九三七)を全譯したものである。	▲總論、直線上の射影幾何學、平面射影幾何學、計量幾何學の四篇にて講述す。	▲古代・中世、近世の三篇にて數學史を現實社會と關聯せしめて文化史的に敘述す。	▲季節別に收めた著者の第三數學隨筆集で、お年玉のそろばん珠、數の子の話其他。	▲和算の發達や特質を文化史的に究明したもので和算のはじまり、和算の發展其他。	▲東北大にての講義を増補修正したもので空間曲線、曲面論、線叢論、特殊曲面論其他。	▲高校、高等工業學校程度の微分積分學の一般を平易に説いた入門書。	▲下巻は第八章圍まれた世界以下、宗教改革幾何學、算術の社會化其他二章を邦譯す。	▲初歩の微分積分學を辨へる人達にも理解出来るやうルベック積分の平易な解説をなす。	▲リーマン幾何學の概要、最近の微分幾何學の二篇の講演集。

川村 貫治	大井 伊三郎	川村 貫治	稲垣 儀一
明解珠算要訣	全圖解珠算精義	珠算	珠算
洋三五判	洋四六判	洋四六判	洋四六判
335	202	265	286
一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	二、〇〇
春陽堂	船場書店	岡村書店	モダンド社
二月二十	五月	七月	一月十
▲珠算算法の根元を究め之を體系化した書で加法及び減法其他。	▲初學より獨學出来るやう圖解にて珠算一般の平易な解説をなしたものである。	▲歩合の意義、歩合算公式、歩合高を求める算例、歩合を求める算例其他にて述。	▲全巻を十章に分け、各章毎に珠算の理論と基本的技術の練習法を説く。

關 榮吉著 文化社會學概論 價二五〇 送料一四

本間 久雄著 婦人問題十講 價二、五〇 送料一四

本間 久雄著 生活の藝術化 價一、八〇 送料一四

正木 不如丘著 結婚改造 價一、二〇 送料一四

東京堂刊行

技能者試験好参考書

工場數學

吉原 鐵夫 著 (最新刊) (四六判二一〇頁)

¥ 1.50
〒 12

初級用器畫機械製圖教本

吉原 鐵夫 著 (最新刊) (菊判一八八頁)

¥ 1.40
〒 10

旋盤實地工作法

今井 敏雄 著 (重版) (四六判五一二頁)

¥ 1.80
〒 20

最新最便利の實地指導書本書は旋盤作業に關する詳細な知識を短時間で作業を熟練させる方法を詳述しこの方面の能率増進に親好の書。

佐野益太郎著 (菊判裝二二〇頁) 一・八〇 一四

實用材料力學

前崎 鏡一 編 (三五版一〇五〇頁) 三・五〇 一六

機械工業ハンドブック

江川 三男 治著 (二二二四三六八頁) 二・三〇 〇九

採鑛必携

吉原 鐵夫 著 (四六判九六頁) 三・〇〇 二〇

見習う機械師になるまで

吉原 鐵夫 著 (三六判八六頁) 二・三〇 一五

應用工業便覽

山口 巖 著 (四六判三〇八頁) 二・〇〇 二二

日本標準規格金屬材料

に據る判りよ、

五七七

東神保町一ノ四 田區 進知社書店 東京市神田區 番〇九五〇六京東替振 番二九二三田神話電

一八、醫學・衛生

著者	書名	装形	釘體	數頁	定料價	發行所	月行發	内容大意
醫學博士 大矢 全節	醫學家伊太利語獨修	洋四六判	布	378	五、〇〇	大矢家	六月	▲初歩の文法を收めて醫家のために伊太利語の平明な解説をなしたものである。
オカントツイーク著 三浦 尙榮 譯	醫學の倫理	洋四六判	製	178	一、〇〇	出版部	二月	▲巴里醫科大學員外教授オカントツイークの "Humanisme et Médecine" を全譯す。
竹村 猛 兒	往診	洋四六判	製	287	一、四〇	大地社	十一月	▲強請、閉庭夢、暴れる娘、病人歴訪、不具者の家、婆やの靈氣等他の醫家隨筆集。
ホグベーン著 大行 慶雄 譯	飢餓と疾病の征服	洋四六判	製	433	二、五〇	大地社	二月	▲L・ホグベーンの "Science for the citizen" 中より我々の生活に關係あるものを譯出す。
安田 徳太郎	世紀の狂人	洋三六判	製	163	六、五〇	岩波書店	三月	▲ピネルの生涯を中心として十八世紀フランスの社會醫學觀を述べたもの。
醫學博士 永井 潜	新生命論	洋四六判	製	279	一、三〇	春秋社	九月	▲生命と自然科學、生命に關する思想史、生活の理學的性狀他三章にて述ぶ。
岩淵 大 殿	人體三角の發見と其の喜び	洋四六判	製	253	一、七〇	久松社	九月	▲著者の抱ける人體三角の原理を實驗に照合して一般人に分り易く説明したもの。
代田 文 誌	閃光記	洋四六判	製	337	一、八〇	春陽堂	十月	▲鍼灸治療の醫師として、病者を診察し又は見舞ひに行く都度感じた事を綴めたもの。

醫學・衛生 (醫學・醫事一般)

五七七

醫學・衛生（藥物學・藥草・神經病學・精神病・臨牀學・診斷學・治療學）

伊澤 凡人	代用品 藥草の科學	新四六判	322	一、八〇	春陽堂	月十	▲二百五十有餘に及ぶ各種の藥草を網羅し、圖版を收めて利用法を説明す。
高瀬 豐吉	化學者ノ藥 理學	洋函判	323	四、五〇	カニヤ書店	月三	▲化學構造と生理作用の關係に重點を置いて藥理學の一般を記述したるもの。
高良 武久	神經衰弱(神經質)と其治療	並四六判	66	三、〇〇	金原商店	月一	▲神經質症狀の種々、神經質者の性格的素質身體的素質他六章にて其治療を述べ。
古閑 義之	神經衰弱は必ず治る	布函四六判	446	二、五〇	主婦之友社	月四	▲神經質と強迫觀念の正しい解説をして、神經衰弱の治療法を平易に説いたもの。
長濱 繁	本能と神經衰弱及療法	並四六判	390	二、五〇	友文堂	月四	▲若き人々の爲に正しき性知識と、性的神經衰弱の治療法を平易に述べたもの。
里見 三男	グイールス疾患	洋函判	178	二、〇〇	克誠堂	月二	▲グイールス疾患に關する概念的知識を敘したもので、グイールストハ何ゾヤ他二十一章
日本衛生會編	エツクス線醫學の理論と臨牀	布三三判	309	六、五〇	金原商店	月三	▲上卷は法現理論編で診療用エツクス線裝置取締規則に就て(野間正秋)他十二篇
上田 靜夫編	各科救急處置の實際	洋函三三判	530	九、三〇	經診社	月十	▲各科に必要な應急處置法を分擔執筆したもので、腦貧血・失神(佐々貫之)其他。
沖野 節三	診療録ノ書き方	布三三判	143	五、〇〇	金原商店	月三	▲齒科臨牀家に必要な診療録の書き方を和獨對照させて平易に述べたもの。
代田 文誌	鍼灸治療基礎學	洋函三三判	549	七、八〇	春陽堂	月六	▲鍼灸術本來の機構を検討し、經絡經穴の徹底的究明をなし其眞髓を把握せんとす。
辻 寬治	チアイネストークス呼吸	洋函四六判	58	一、六〇	南江堂	月二	▲チアイネストークス呼吸、心臓性喘息、其他にて其相互關係及治療法を記述す。

臨牀學・診斷學・治療學

内科

醫學・衛生（臨牀學・診斷學・治療學・内科）

碓居 龍太	ホルモン療法の理論と實際	洋函判	218	三、八〇	南山堂	月四	▲内分泌腺、ホルモンとは何ぞや、厄年に就て、若返り法、其他にて説述す。
津田 誠次	麻酔の實際	並四六判	51	三、五〇	金原商店	月二	▲全身麻酔法、腰部麻酔法、薦骨部麻酔法又ハ硬膜外麻酔法、局所麻酔法の四章にて述べ
佐々 康平	ヅイタミン及缺乏症大要	並四六判	48	三、五〇	金原商店	月一	▲ヅイタミンA B C D E及其他の常識的解説をなしヅイタミン缺乏症の大要を説ぶ。
志賀 達雄	解説 エツクス線診療必携	洋函三三判	331	二、五〇	科ラヂオ	月九	▲第一編法規並びに解説、第二編エツクス線診療要項の二篇にて説いたもの。
廣瀬 涉	嘔吐下痢	並四六判	54	三、五〇	金原商店	月三	▲緒言、嘔吐下痢の意義と分類、嘔吐下痢を訴へる疾患の概要、嘔吐下痢の療法を三章にて述べ
小宮 悦造	各種貧血と其治療	並四六判	66	三、五〇	金原商店	月一	▲緒言、貧血の一般、貧血の各論、貧血の療法を四章にて貧血の治療法を説く。
稲田 宣男	更年期に於ける循環機能障礙	並四六判	56	三、五〇	金原商店	月三	▲男子更年期障礙、女子更年期障礙、生殖腺機能と自律神經系機能との關係他十一章。
小澤 修造他五氏	最新内科	洋函三三判	586	二、〇〇	吐風堂	月九	▲傳染病(小澤修造)寄生蟲病(吉田貞雄)呼吸器病(大里俊吾)他三篇を収む。
水田 信夫	食餌と其指針	布函三三判	201	四、〇〇	金原商店	月一十	▲糖尿病、腎臟病、高血壓症患者に對する食餌療法を平易に説いたもの。
川島 好兼	圖解内科検査手技	布函三三判	206	一、六〇	金原商店	月二	▲下卷は第七編消化液検査法、第八編尿検査法、第九編糞便検査法他四篇を収む。
岩田 秋之助	内科診斷學	洋函三三判	400	一、三〇	金原商店	月十	▲診斷學、重要な一般症狀、主なる診察術式、上部氣道検査等其他で記述す。
大島 正徳	日本内科全書	並四六判	140	二、八〇	吐風堂	月七	▲第六卷別録は吳建述「自律神經系統」を收めたもの。

醫學・衛生(皮膚科・性病科・耳鼻咽喉科・眼科・齒科・口腔科・家庭療法・健康法・豫防醫學) 五八四

梅室純三編	性病性病性疾患と其の療法	洋三三 布三三	452	七、三〇〇	醫學展望社	月四	▲梅毒、淋疾、軟性下疳、第四性病等に性病を分け臨牀家に必要な諸知識を説く。
村山實	臨牀皮膚泌尿器及性病學講義	布菊 裝判	205	六、〇〇〇	金原商店	月一十	▲臨牀皮膚科學、臨牀泌尿器科學、臨牀性病學の三篇を講述したものである。
久保猪之吉	臨牀耳鼻咽喉科學	洋菊三三 布人判	816	一、三〇〇 三、〇〇〇	南山堂	月一十	▲緒論、局所解剖、禁忌症並に適應症、手術法、後療法、手術成績、結語以上にて説く。
實	口蓋扁桃腺摘出法	並菊 裝判	29圖	一、三〇〇	南山堂	月一十	▲九大名譽教授故久保博士が二十八年間になした臨牀講義を編み訂正したもの。
朱學琳	眼科手術學	布菊 裝判	149	三、五〇〇	金原商店	月五	▲總論、眼瞼手術、結膜手術、涙器手術、角膜手術、虹彩手術學、他六篇にて記述す。
金澤醫學大學眼科學教室同窓會編	中島教授眼科醫牀講義集	布菊 裝判	291	六、〇〇〇	金原商店	月七	▲金澤醫學大にて講述せる講義中から五十篇を選集したもので、外麥粒腫、トラコーマ他。
鹿毛俊吾	日本精神に基づく齒科醫業經營	並四六 裝判	438	二、〇〇〇	鹿毛家	月七	▲日本精神に基づく合理的齒科醫業經營法を説いたもの。
尾持昌次	齒科局所解剖學	洋菊 布判	200	四、五〇〇	南山堂	月六	▲頭頸部局所解剖學の要綱を主にして齒科學生及齒科醫のために外科解剖學を記述す。
平田内藏吉	家庭療法・健康法・豫防醫學	上四六 裝判	388	一、八〇〇	山雅房	月五	▲すこやかに熟睡出来るやう述べたもので、安臥の方法、安臥と療法、安臥と安眠其他。

醫學・衛生(家庭療法・健康法・豫防醫學)

主婦之友社編	胃腸病全治者の體験集	並四六 裝判	150	五、六〇〇	主婦之友社	月九	▲難快な各種の胃腸病を治癒せしめた實例十六篇を集載したものである。
中村幸雄	育兒一寶典	洋四六 布人判	174	一、五〇〇	わかもと本部 榮業と育兒の會	月六	▲妊娠の生理より説き起し、分娩に必要な各種知識と新生兒の育て方を述べ。
眞鍋嘉一郎	温泉・氣候療法の理論と實際	洋菊 布判	433	六、三〇〇	南山堂	月七	▲質量共に世界に冠たる温泉と、多種多様の氣候とを利用せる温泉・氣候療法を説述す。
宮嶋幹之助監修	教養としての家庭醫學	並菊 裝判	316	一、八〇〇	春秋社	月一十	▲結核と家庭生活(高野六郎)恐るべき渡洋傳染病(石田二郎)他十一篇を収む。
松本青楓編	強胃腸法	並四六 裝判	224	一、五〇〇	モナス	月二十	▲胃腸病の治療法をあらゆる角度から検討した書で、食慾の進まぬ人の食事の仕方其他。
式島隆三郎譯	強體健康法	上四六 裝入判	454	二、八〇〇	今題社	月二十	▲著者の體験を基礎として述べた強體健康法の翻譯で、生活の重要性其他。
杉本清治	強腦・強心・強精	並四六 裝判	322	二、〇〇〇	モナス	月一	▲強腦篇、強心強精篇、青春醫學篇の三篇にて若人の醫學と療養法を説明す。
石川誠	結核と闘ふ	上四六 裝入判	504	三、〇〇〇	秋豐園	月二十	▲諸々の角度より結核を論じて其豫防知識を述べた書で、歐洲大戦と結核等五十章。
河村五郎	高速療養	布四六 裝入判	364	二、〇〇〇	日本業社	月二十	▲肺結核の新療法を説いたもので、在來の肺結核療法に就いて他四篇。
新津瑠樹	四十からの健康生活	並四六 裝判	278	一、〇〇〇	教材社	月三	▲四十歳前後の精神的、肉體的に變化の多い人達の爲に説いた健康生活法。
杉本清治	四十からの心身改造法	上四六 裝判	355	二、〇〇〇	白揚社	月三	▲四十歳前後からの心身強健法を説いたもので四十からの人生、人間必ず若返る其他。
ボリス・ソコロフ著	自力健康	洋四六 布人判	284	一、八〇〇	宮越太陽堂	月五	▲三十歳を達した人々のために自力で出来る豫防健康法を説いた著書を邦譯す。
神永文三譯	食物療法	並四六 裝判	302	一、八〇〇	青年書房	月五	▲誰人も直に讀んで直に實行出来る食餌療法理論と實際を説いたもの。附實例。

肥田村金一著述	櫻澤如一	神永文三譯	酒井谷平	姉崎卓郎	小齋藤充彌	緒方富雄	櫻澤如一	中橋幸吉	三澤敬義	櫻澤如一	山縣正明	松川貴八郎	
生は死より強し	戦争に勝つ食物	中年の健康生活	氣血轉地療養	開病記	新しい開病術	病氣の正體	病氣の治る食物	保健施設の理論と實際	本邦に於ける温泉療法	満洲食養讀本	療病求道錄	療養教書	
上四六製入判	上四六製入判	上四六製入判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	
281	238	284	330	253	277	155	266	468	36	166	263	390	
一、〇〇	一、三〇	一、三〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	
大日本健康増進協会	大日本健康増進協会	宮越太陽堂	博文館	霞ヶ關書房	萬里閣	日本放送出版協會	日本業社	南山堂	金原商店	小林清家	岩波書店	青年書房	
月九	月八	月一	月一	月一	月一	月一	月一	月一	月一	月一	月一	月一	
▲良い正しい療法と食事が如何に大切であるか説き、簡易な療法を述べたもの。	▲戦争と命の不健康と食物、栄養の害性、金の経済と命の不健康と幸福其他。	▲三十歳以上の中年者の正しい健康生活を説いたもので、健康と幸福其他。	▲轉地療養に於て温泉と氣候とを合理的に使用するやう問答體にて平易に説述す。	▲サナトリウム入院前の誤れる療養と入院以後の正しい療養を七ヶ年に亘つて記述す。	▲自然良能と醫藥とを適正に併用して、働きながら治る肺結核の療法を述べ、働きの病氣とはどんなものかと言ふ事について通俗的に述べたもの。	▲人間各部の凡ゆる病氣をあげて、一々その正しい食物と手當法を説いたもの。	▲民族衛生問題、體力管理問題、國民體育問題、結核豫防問題他二十章にて記述す。	▲本邦各地温泉の治療的效果を述べ各種温泉物の説明をなしたものである。	▲満洲國に生活する日本人のために正しい食物の結核療法と宗教他二篇。	▲結核療法と宗敎他二篇。	▲國の體操法によつて結核を快癒せしめた、松川氏の體操記。	▲多病羸弱の身を食養療法に精進して遂に快癒せしめた数十年の開病記。	▲肺結核患者として重體となり、それを見事に快癒せしめた杉山・賀川氏の開病記。

醫學・衛生(家庭療法・健康法・豫防醫學)

竹内茂代	吉益脩夫	日下正大	巴陵宣祐	高田義一郎	賀川山豐平	瓦本淑子
家庭看護學	優生學の理論と實際	性禍に準ふる書	結婚生理學	完全なる夫婦	吾が開病	わが開病記
洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判
404	311	186	436	190	158	305
三、八〇	一、五〇	一、五〇	二、五〇	一、二〇	一、三〇	二、〇〇
厚生閣	南江堂	地久堂	三笠書房	樽書房	三省堂	大日本法令出版株式會社
月八	月九	月六	月八	月四	月八	月三
▲三十三年に及ぶ經驗を基として家庭婦人のために看護學の一般を説述す。	▲精神醫學との關係に於て優生學の理論と實際とを説述したるもの。	▲性病の正しき知識をなしたるもの。其豫防法及治療法の平明な指導をなしたるもの。	▲人間の遺傳と環境とについて研究なしたるもので結婚生理學問答、人生の出發點其他。	▲結婚前に於ける豫備知識と結婚後に起る諸問題に就いて醫學的知識を説いたもの。	▲結婚後、環境と人間との關係について研究なしたるもので結婚生理學問答、人生の出發點其他。	▲多病羸弱の身を食養療法に精進して遂に快癒せしめた数十年の開病記。

文學博士 坪内逍遙著
歌舞伎畫證史話
 價三、五〇 送料一四

醫學・衛生(家庭療法・健康法・豫防醫學・性・妊娠・優生學・看護學・産婆學)

成完の業大の前空

日本地名大辭典

全都市町村の現狀調査

内容概観

◇内地は勿論、朝鮮・臺灣・南洋等、全日本の全都市町村の地理と歴史とを記述す。即ち地形・地質・面積人口・交通産業・沿革・社寺・名所舊蹟などを網羅し、正に

市町村別の百科事典

◇市町村のほか、山川・鐵道驛及び古書古文學に現れる古地名を解説し、それぞれ古書・古文學を引用してある。

◇右は石橋五郎博士等全國の權威ある地理歴史の學者六十名其他に依て書かれたるもの、此種の本は未だ曾て世界になく、從來世界一と云はれたりツピンコット地名辭書より十數倍も詳細に書いてある。

全六卷 四六倍大判 全六千頁
 定價九〇圓 内地一・二〇〇 外地二・五〇〇

日本鑛山總覽

編輯顧問 東北帝大教授 渡邊萬次郎博士

◇全國の地質鑛物の分布を解説す ◇内地外地の全鑛山全炭礦の所在地・鑛區・所有者等の一覽表 ◇主要な鑛山炭礦は一々詳細に解説す ◇鑛業關係の法規を記録す ◇鑛山炭礦の基礎知識を解説す

岩手縣教育會編 全市町村個々の郷土誌の綜合

定價 菊判 四六四頁
 内地 一・四〇〇
 外地 一・四九〇

岩手縣郷土誌

翻譯者 醫博 米澤和一 最高權威ある齒校閱者 醫博 竹内松次郎 科細菌學教科書

ギンス 齒科細菌學

定價 菊判 三〇四頁
 内地 一・四〇〇
 外地 一・四九〇

市町村名の讀方及び市町村面積人口密度表

定價 一・八〇圓 内地 一・九一頁 外地 一・四九頁

日本書房

振替東京三一七一〇番

一九、運動・趣味・娛樂

(15-1)

著者	書名	裝形	釘體	數頁	定價	發行所	月行發	内容大意
上野 徳太郎	運動 體力章合格練習法	菊半裁	製	141	六三	三省堂	七月	▲昨年度より實施せられる「體力章檢定」に合格出來得る合理的練習法を述べたもの。
鈴木 惣太郎	野 球・庭 近代野球戰術	洋四六判	布	489	一、四	博文館	一月	▲三十餘年間の知識を基に近代野球技術を指導したもので投手篇、捕手篇、内野手篇、外野手篇の條文と解説をなしたもの。
河野 安通志	野 球 新野球 規則	菊半裁	製	125	六三	博文館	三月	▲質疑應答の實際例を多數收めて新野球規則の條文と解説をなしたもの。
飛田 穂洲	野 球 清談	洋四六判	布	302	一、〇	東海出版社	十月	▲野球生活五十年に亘る球界の元老飛田氏の隨想録で、球道慈風、學生野球論其他。
潮田 朗風	武 術・劍 詩吟と劍舞	洋新四六判	布	264	一、〇	大同出版社	二月	▲詩吟及び劍舞の心得、演舞法を説き乃木希典の「金州城外」他多數の漢詩を収録す。
講談社編	運動・趣味・娛樂 (運動一般・野球・庭球・籠球・武術・劍舞・射撃)	洋新四六判	布	892	五、三〇	講談社	二月	▲全國の武道選手を一堂に會同せしめ演武の天覽を仰ぎ奉つた大會の記録。

運動・趣味・娛樂 (運動一般・野球・庭球・籠球・武術・劍舞・射撃)

運動・趣味・娯樂(釣魚・圍碁・將棋・茶道・華道)

野瀨市郎	フナ釣	リ	洋菊半裁	211	一、〇〇六	黄河書院	月九	▲フナ釣りに就ての諸知識を述べたもの。
------	-----	---	------	-----	-------	------	----	---------------------

雁金準一	置碁秘策圖解	四六半裁	洋布	130	三、五〇	斯文館	月五	▲一目瞭然其利害得失を知了出来るやう圖解にて示したものである。
木谷實	木谷定石カ	洋菊抽	布人珍	154	六、八〇	斯文館	月七	▲置碁定石を第一歩より明快に圖解したもので本輯は置碁の部の上。
橋本字太郎	碁の基礎知識	洋菊	製判	206	一、八〇	三省堂	月九	▲「碁のいろは」から手に取るやうに指導解説せる入門書。
前田陳爾	碁と定石	洋菊	製入判	232	一、四〇	博文館	月二	▲實戦に役立つことを目的として、布石と定石とはめてより説明指導す。

將棋

關根金次郎	棋道半世紀	上四六製入判	308	一、七〇	博文館	月二	▲新青年誌上に十七回に亘つて連載せる關根名人の棋道半世紀を纏めたもの。	
中村熊治	將棋定跡	洋菊	製入判	264	一、〇〇	大同出版社	月七	▲如何したら定跡を活用出来るかと云ふ點に力を注いで研究したもの。
建部和歌夫	將棋入門	洋菊	製入判	420	一、八〇	博文館	月二	▲將棋の第一歩から初段までになる手ほどきをなしたもので將棋の基礎、定跡編其他。
土居市太郎	碁熱血譜	洋菊	製入判	212	一、五〇	博文館	月二	▲金子八段、木村八段、木見八段、金八段其他と土居八段との對戦を収録したもの。

茶道・華道

青草園花香	生花盛花投入十二ヶ月	上四六製判	224	三、〇〇	天泉社	月二十	▲生花、盛花、投入の各種にわたり基礎的にして且つ一般的な知識と技術とを説述す。
-------	------------	-------	-----	------	-----	-----	---

運動・趣味・娯樂(茶道・華道)

會澤芳子	生花茶の湯讀本	洋菊	製入判	168	一、五〇	天泉社	月九	▲生花茶の生け方、茶の湯の立て方、趣味と娯樂の味ひ方、運動競技の仕方等其他收む。
富貴庵旭亭	池の坊生花入門	上四六製判	278	三、〇〇	天泉社	月二十	▲池の坊流生花の要諦を摘録した書で、立花と生花の事ども、生花とその原理其他。	
高原慶三	茶の坊生花挿	上四六製判	238	一、八〇	河原書店	月八	▲茶の坊に關する體系的論述をなしたもので茶の總説、登錄された茶の坊、茶の坊の製作其他。	
木下桂風	茶の花挿抄	上四六製判	201	一、七〇	河原書店	月一十	▲主として教職にある茶人の花挿を纂録したもので、村田珠光、武野紹鷗、千利休其他。	
高橋龍雄	茶の道辭典	洋菊	製入判	252	三、五〇	富山房	月六	▲茶道に關する重要語彙を約三千語選んで平明に解説を施したもの。
千宗守	茶の道妙境	上四六製判	345	三、〇〇	創元社	月十	▲概観茶道、茶道内觀、茶道の精神、茶席概論、點(手前)等其他にて語つたもの。	
重森三玲	茶の道庭園	洋菊	製入判	249	四、五〇	河原書店	月八	▲各地に在續されてゐる名園百二十五庭を選んで明解平易な解説をなしたもの。
西堀一三	茶の道利休	上四六製判	321	二、四〇	河原書店	月一十	▲利休以前の茶道、利休の生涯、利休の死、利休の家族等其他二章にて利久の生涯を述べ。	
佐伯太	茶の道點前	上四六製判	195	一、七〇	河原書店	月二	▲準備、煎茶點前に就いて、運び點前、道具の扱ひ方、淹茶蒸し茶其他にて指導す。	
重森三玲	茶の道研究	上四六製判	119	一、三〇	第一藝文社	月八	▲日本茶道美術史概観、立花構成の史的研究と裝飾價値の發展性他二篇にて述べ。	
西堀一三	茶の道史	新四六製判	255	一、四〇	創元社	月九	▲茶道史概観、茶の傳來、開茶、戰國初期の茶會、創成期の茶道他十一章にて敘す。	
田中喜四郎	茶の道論	上四六製判	466	三、〇〇	十字屋	月八	▲漂ふ雲の如く、果してそれでよいのであらうか、大交響樂等其他にて茶道を説いたもの。	
昇龍齋專之	茶の道生け方	洋菊	製入判	234	一、八〇	泰文館	月二十	▲池の坊生花を主に盛花投入花の一般知識を説いた書で、花道の沿革其他。

運動・趣味・娯楽（茶道・華道）

青雲齋 勇甫 未生流生花入門 四六判 272 三、三〇〇 天泉社 月二十

▲未生流の生花に就て説いた入門書で、當流華器に活方の規矩其他。 五九四

ポール・ブールジエ作
廣瀬哲士譯

死

經典以上

上司小劍

B6判三〇〇頁假綴
定價一、六〇〇送料一〇〇

平凡な死、非凡な死、非々凡な死、死の姿がいろいろの花の咲いて散るが如く、私の前に現はれました。恐ろしく、また美しく、愛すべく、憎むべき死の姿を、ほんとうに指さし示されたやうな気がしました。私にとつてバイブル以上、もろくの經典以上の、或るものを得る本であります。

— 堂 京 東 —

110、婦人・家庭

著者	書名	装形	訂體	數頁	送定	料價	發行所	月行發	内 容	大 意
宮本百合子	明日への精神	並四六判	製	316	一、〇七〇	日實業社	月九	▲三つの女大學、現實の道、異性の間の友情新しい船出等其他を収めた評論隨想集。		
松田解子	女の話題	並四六判	製	341	三、三〇〇	モナス	月九	▲女の話題、文學隨感、學問への思索、生活の四季等に収めた感想評論集。		
虎溪久次	科學的美容法	上四六判	製	187	一、三九〇	高山書院	月十	▲新體制下に於ける美容法について述べたもので、美容の新體制、病氣と美容等其他。		
ハリウッド美容師共著 相島儂子譯	化粧の秘訣	並四六判	製	167	一、二〇〇	鱒書房	月五	▲ハリウッドで色々と研究された「化粧の秘訣」百五十篇を撰んで圖解入りで説明す。		
鳴海碧子	結婚教育	並四六判	製	289	一、一〇〇	時代社	月一十	▲婦人畫報に連載された、鳴海さんの結婚生活に於ける體験と結晶とを纏めたもの。		
醫學博士 青木三千雄監修	結婚常識寶典	洋四六判 布人判	製	934	三、三〇〇	天泉社	月二十	▲結婚に必要な知識及び和洋裁縫、編物、生花、料理等の問題を取扱つたもの。		
西川文子	結婚前後の修養	並四六判	製	215	一、〇〇〇	宮越太陽堂	月八	▲結婚前後の娘さんのために、女性としての心得へや修養を物語つたもの。		
式場隆三郎	處女のこゝろ	並四六判	製	206	一、二〇〇	鱒書房	月一	▲處女の世界、處女の潔癖、結婚前一週間の戀愛と結婚其他にて處女の神祕を説く。		

婦人・家庭（婦人一般）

五九五

斎藤 久子	女性網	四六判	213	一、三〇	白揚社	月一十	▲若い職業婦人の立場から、其生活體驗に基づいて色々の問題を考察したものである。
森 凡平	女性讀本	四六判	205	九〇	秀文閣	月八	▲女性として知らねばならぬ常識を網羅したもので、夫婦生活危機の第一頁其他。
窪川 稻子	女性の言葉	上四六判	283	一、五〇	高山書院	月十	▲最近四五年來に發表せる女性に關する感想評論を集めたもので、戀愛と結婚其他。
シヤルモン 逸郎	情熱の凱歌	四六判	238	九〇	鱒書房	月十	▲戀愛の歡喜と危険を分析し結婚への道徳を打ちたてた小説風のエッセイ集。
中谷 多恵子	進み行く娘達へ	四六判	147	一、〇〇	一元社	月一十	▲社會の荒波を乗切つて進まんとする若き娘達に與へた讀本。
佐藤 信夫	戦争と女性	四六判	305	九、五〇	西村書店	月一十	▲華國より今次事變に至る迄の各時代に活動せる代表的日本女性を列舉して平明に敘述する。
秦 賢助	妻のまごころ	四六判	316	九、五〇	高山書院	月八	▲童嬢の妻、旅順港閉塞隊の華、二十も違ふ人の後妻として嫁ぐ他十四篇の眞心實話集。
アン・マリイ・キリーフ	ナチス女性の生活	四六判	162	一、〇〇	生活社	月二十	▲ドイツ大使夫人の秘書をしてゐられる著者がドイツ婦人の活動を詳細に紹介した書。
宮瀬 睦夫	野口英世の母	四六判	210	九、〇〇	版第一會	月七	▲極貧の中に世界の醫聖を育て上げた、野口しか女の愛と誠實との尊き生涯を述べた。
岸 小百合	母のうたへる	上四六判	276	一、〇〇	富山房	月一十	▲幼き兒を對象とせる数々の物語を集めたもので、鳩の御手紙、お實家へ、寶石等其他。
伊福部 敬子	母の世紀の序	上四六判	281	一、〇〇	萌文社	月六	▲新しい世紀が母の名に於て始まらねばならぬことを述べたもので母性愛と大地二篇。
パール・バック	母の生	上四六判	388	一、〇〇	第一書房	月八	▲自分の母を描いたバック女史の"The Extremities of an American Mother"の翻譯
村岡 花子	母への親展書	四六判	239	九、五〇	教材社	月九	▲精神分析學の大家シユテケルが、切々と母親に訴へた子供の生理と心理の親展書。

式場 隆三郎	人妻の教養	四六判	231	一、二〇	鱒書房	月一十	▲人妻として心得ねばならぬ数々の常識を説いたもので、人妻の心、人妻の生活其他。
生活 社編	婦人の生活	四六判	198	一、〇〇	生活社	月二十	▲三時間で読める服(北田蓮子)ふだん着を美しく(村岡花子)等四十篇を収む。
村岡 花子	母の心随想	四六判	308	一、五〇	時代社	月六	▲母と子の問題、一日一思想、鏡後に思ふ、季節の呼吸等に収めた隨筆集。
大迫 倫子	娘の時代	上四六判	272	一、〇〇	借成社	月五	▲未婚の女性が鋭い觀察を以て世相をついたもので結婚したお友だち、娘とレビユウ他
大迫 倫子	娘の眞實	四六判	272	一、〇〇	借成社	月二十	▲若き女性の理想や主張、希望等を繰りひろげた書で、青春の吐息、若妻の憂愁其他。
長尾 大學	名婦鑑集	上四六判	362	二、三〇	秀文閣	月四	▲古今を通じての名婦貞女、烈婦傑女、三八人を選んで修養の糧としたもの。
山口 さとの	わが愛の日記	四六判	220	一、三〇	金星堂	月一十	▲戦に下半身を失へる傷兵に嫁し、聖愛にまで高められた夫婦生活の記録を發表す。
加藤 悦郎	建設奥さん	四六判	173	六、七〇	文館	月十	▲大阪毎日新聞家庭欄に「家庭建設」といふ標題で連載されたものを集む。
沼畑 金四郎	主婦の科學	四六判	174	一、二〇	鱒書房	月一	▲家庭の婦人にとつて實生活と切り離せない具體的な事柄を選んで解説したもの。
恩賜財團愛育會編	愛育のこころ	四六判	294	一、〇〇	三省堂	月二十	▲愛育に關する保健と教養の問題を収めたもので、出産、新生兒、乳兒の榮養等十六章。
霜田 靜志	子供を良くする導き方	四六判	358	九、五〇	主婦之友社	月三	▲先生のため父母のため、實例を澤山集めて子供の良き導き方を述べたもの。

婦人・家庭(育児・裁縫・手藝・料理)

古瀧澤文子著 武編	子に生きる母の日記	四六判	308	二〇〇	刀江書院	月六	▲生活の暇々に愛児の成長を書き残した瀧澤文子さんの母の日記を發表したもの。
大多和顯 相見母の讀本	母のまごころ	春四六判 洋六判	348	三〇〇	慶應出版社	月二十	▲幼児の日常の生活上で疎にしてはならぬ幾多の事項を述べた書。
秦賢助	優良児を作る	四六判	250	一、三〇六	高山書院	月六	▲我が子を立派に育てあげた母の記録で辯護士に更生した母子物語他十四篇。
谷口雅春	優良児を作る	上四六判	473	一、四〇六	光明思想會	月五	▲美點を讀へ認める力、嫌ひな學科を好きにする法他六章にて優良児の教育法を説く。
杉野繁一編	Dressmaker Pattern Book	並四倍判	43	一、五〇〇	ドレスメーカー 女學院出版部	月六	▲シルクのドレス、下着のつけ方、家庭の團樂を愉しくする着物等其他を収めて指導す。
會澤芳子	裁縫編物獨習讀本	津四六判 布入判	176	一、五〇〇	テンセン社	月二	▲裁縫の縫ひ方裁ち方、編物のあみ方、女流書翰文の味ひ方の三篇にて説明す。
婦女界洋装部編	スタイルの選び方	並四六判	140	七〇六	婦女界社	月十	▲洋裁に最も大切な、スタイルの選び方について説明したもの。
田中千代	創作スタイルブック	和四倍判	36	一、二〇〇	日實本業社	月四	▲現在入手出来る布地で誰にも着られるやう描いた田中女史のデザイン集第一輯。
田中千代	創作スタイルブック	和四倍判	36	一、〇〇〇	日實本業社	月六	▲第二輯は子供にいたづら着(その一)夏のピチウエヤ、ホームドレス其他を収む。
田中千代	創作スタイルブック	和四倍判	36	一、〇〇〇	日實本業社	月十	▲第三輯は、外套、スーツ、子供服、アフターヌーン、國策服等其他を収む。
主婦之友社編	足袋と足袋カヴァーの作り方	並四六判 製入判	4枚	九〇六	主婦之友社	月一十	▲足袋(五文—十二文)と足袋カヴァー(六文半—十文半)の作り方を平明に指導す。

五九八

婦人・家庭(料理・禮式・作法)

須田中徳三晴郎	基本フランス料理	洋四六判	273	一、八〇〇	料理の友社	月七	▲ソリスの部、スープの部、前菜の部、鶏卵の部、魚介の部等他十二部にて説明す。
大日本料理會編	西洋料理と作法	並四六判	117	三〇〇	料理の友社	月二十	▲家庭向フランス料理と作法に就いて述べた書で、スープ類、前菜料理其他。
秋穂敬子	母の文庫(8)の料理	布四六判	290	一、〇〇〇	婦女界社	月六	▲可愛い愛児のために、母が手づから與へやうとする料理の数々を明快に説いたもの。
加藤清司	社交及禮儀作法讀本	洋四六判 布入判	218	一、八〇〇	啓文社	月九	▲我が國民が常識として心得ねばならぬ日常作法を、平易明解に解説したもの。
宮尾弘士編	代現常識作法	洋四六判 布入判	174	一、五〇〇	テンセン社	月二	▲和洋宴會の心得、美容の仕方、服装の心得住宅常識、日用手紙文の五篇にて指導す。

ブルジェ作
新城和一譯

姉妹

B6判二一九〇頁
定價一・五〇送一〇

夫々違つた性格の美しい姉妹の愛が有名な勇士を纏つて、如何に展開されるか、息詰る緊張の場面を鋭い心理解剖を以て描いてゐる。

一 堂 京 東 一

五九九

二、圖書

著者	書名	裝形	釘體	頁數	定料價	發行所	月行發	内容大意
栗田元次編	栗田文庫善本書目	和蘭菊	裝入判	268	三、五	中文館	七月	▲栗田家藏本中書誌學上の善本を主として六百種を選んで纂録し解説を施したるもの。
馬場明男	支那問題文獻辭典	上蘭菊	裝入判	350	三、五	慶應書房	六月	▲昭和の初期から昭和十五年二月頃迄に公刊された著書及翻譯書を網羅解説す。
書物展望社編	書物展望社編	上蘭菊	裝入判	250	三、五	書物展望社	一月	▲國書刊行會の思ひ出(市島春城)豫約出版の嚆矢(石井研堂)他三十三篇を收む。
書物展望社編	書物展望社編	上蘭菊	裝入判	300	三、五	書物展望社	五月	▲慈覺大師の入唐求法巡禮行記(赤堀又次郎)他三十一篇を收めたもの。
東京書籍商組合編	朝鮮舊書考	洋蘭菊	布入判	295	三、五	岩波書店	十一月	▲朝鮮本概観、書籍特に佛書の刊行から見た李朝文化の一面他十四篇の論文集。
東京書籍商組合編	朝鮮舊書考	洋蘭菊	布入判	1561	九、三〇	東京書籍商組合	六月	▲東京書籍商組合員の發行になる重要圖書を網羅して「類別」「著譯者別」に収録す。
石川巖編	藤村書誌	布蘭菊	三三裝入判	187	一〇、三〇	大觀堂	三月	▲明治・大正・昭和の三代に輝ける文豪島崎藤村の書誌を網羅収録したもの。

岡田三郎 長篇小説

巴里

四六判 上製本 定價一圓八十錢
三〇〇頁 送料十錢
好評第六版發賣中

武田麟太郎 文藝評論

小説作法

四六判 上製本 定價一圓二十錢
一五〇頁 送料十錢
最新刊三千部發賣中

ボーワ・カーター著 能澤信吉譯
法學博士 米田實先生序文

アメリカに告ぐ

四六判 輕裝版 定價一圓二十錢
二五〇頁 送料十錢
最新刊好評増刷中

徳田秋聲 短篇小説集

乾いた唇

四六判 美裝版 定價一圓五十錢
二七〇頁 送料十錢
好評第六版發賣中

十返一 文藝評論

時代の作家

四六判 輕裝版 定價一圓五十錢
二七〇頁 送料十錢
好評第五版發賣中

新刊圖書目錄を送呈いたしますから郵便切手(三錢)封入の上お申込み下さい。
皇紀二千六百年を期し、續々と出版報國の企劃を發表いたします。御期待を乞ふ。

丹羽文雄 中篇力作集

母の青春

四六判 美裝版 定價一圓七十錢
三四〇頁 送料十錢
好評第二十版増刷中

長谷川 央 教育手記

教室の子供たち

四六判 輕裝版 定價一圓五十錢
三〇〇頁 送料十錢
好評第六版發賣中

東京市京橋區小田原町二ノ六
明石書房
振替東京一七〇、六八六番
電話築地(55)〇、八五〇番
東京市京橋區入舟町一ノ九
明石書房營業部
電話築地(55)〇、五四四番

兒童書類(少年少女物語)

著者		書名		形態	頁數	定價	發行所	月行
メレデイス著 伊藤貴府譯	少年少女物語	ア ク リ ス の 鱈	上四六 製入六	321	1.50	童話春秋社	月二十	
北川千代	世界名作物語	アン ク ル ・ ト ム 物 語	上四六 製入六	356	1.50	講談社	月二	
的田整	後愛國少年隊	金の星	上四六 製入六	199	1.00	金の星社	月六	
サッヘル女史著 宮原慶一譯	續・愛の一家	中央公論社	上四六 製入六	511	2.00	中央公論社	月十	
加藤武雄	青空の歌	童話春秋社	上四六 製入六	263	1.20	童話春秋社	月五	
小川未明	赤土へ来る子供たち	文昭堂	上九 製入二	233	2.00	文昭堂	月八	
西條八十	荒野の少女	講談社	上四六 製入六	320	1.20	講談社	月四	
三宅房子譯	家なき兒	金の星社	上四六 製入六	265	1.30	金の星社	月二十	
三井信衛譯	家なき娘	上四六 製入六	368	1.30	金の星社	月二十		
野上彌生子	美しき世界	上四六 製入六	385	1.70	中央公論社	月五		
大木博夫譯	海の子ロニイ	上四六 製入六	348	1.30	童話春秋社	月五		
佐々木邦	お隣の英雄	上四六 製入六	265	1.00	講談社	月八		
吉屋信子	乙女手帖	上四六 製入六	220	1.30	日實本業社	月二十		
森本ヤス子	少年少女カレワラ物語	上四六 製入六	304	1.50	教材社	月二十		
T.W.ウイス著 清水暉吉譯	家族ロビンソン	上四六 製入六	395	1.50	朝日新聞社	月七		
西原慶一編	輝く太陽	上四六 製入六	50	.35	修文館	月九		
宮澤賢治	風の又三郎	上四六 製入六	260	2.00	羽田書店	月一		
トルストイ作 中村白葉譯	兄弟輕騎兵	上四六 製入六	369	1.50	主婦之友社	月十		
佐々木邦	兄弟行進曲	上四六 製入六	225	1.20	借成社	月十		
横山夏樹	教室の花	上四六 製入六	383	1.50	文昭堂	月十		
池田宣政	世界名作物語	上四六 製入六	366	1.50	講談社	月二十		

六〇三

二二、兒童書類

學友第一線

購四ヶ月六十錢
購半年九十錢
購一年一圓七十五錢

時局の知識と學習資料

一番安くて有益 雑誌 定價十五錢(送料)

今村大佐題書 標準軍歌集(送料六十錢)

大東亞建設時代の代表的軍歌集(七十餘曲の全歌詞に正確な曲譜つき、巻末附録には、陸軍喇叭譜・海軍喇叭譜・喇叭行進曲集添付)

▽戰友軍歌集(行軍用陣營用特別)

▽寫生資料(すぐ役に立つ便利)

▽興亞軍歌集(送迎用最新軍歌)

▽圖案資料(定價各十)

▽昭和行進名曲集(軍歌國民歌等網羅)

▽略畫と圖案(定價各十)

辭典

歐洲大戰まで取入れた最新版の圖畫辭典、定價五十錢送料六錢

圖畫

歐洲大戰まで取入れた最新版の圖畫辭典、定價五十錢送料六錢

昭和十六年 兒童年鑑 學友年鑑 昭和年鑑

紀元二千六百年、八紘一宇の大詔を體して大東亞の復興、世界新秩序の建設に、一億進軍の新たなる發起を見る。とき、世界第一の理想に燃える少年少女のためにこの年鑑をおくる。定價一圓、送料十二錢。三種共内容同一。

發行所 東京市原町八十六番 野原社 東京市原町八十六番 野原社

児童書類 (童話)

澤田 幹夫	小宮山 正	神野 昌三郎	石森 延男	尾關 岩二	矢野 海彦	島崎 藤村	島崎 藤村	北川 千代	坪田 譲治	蘆谷 蘆村	千葉 省三	前田 晃
童話教室 一年生	童話教室 一年生	世界名作物語 下・ン・キ ホーテ	燕 たち	月の夜 の 五年生	カタカ ツミキノイへ	力 餅	玉 あ ら	ひらがな たすけあひ	善 太 と 三 平	新 選 童 話 六年生	新 選 童 話 四年生	新 選 童 話 三年生
上製入六 244	上製入六 228	上製入六 320	上製入六 267	上製入六 218	上製入六 245	上製入六 303	上製入六 278	上製入六 227	上製入六 332	上製入六 249	上製入六 249	上製入六 255
.90	.90	1.50	1.20	.70	1.00	1.70	1.80	.90	1.30	.90	.90	.90
童話春秋社	童話春秋社	童話春秋社	三省堂	岡田文祥堂	童話春秋社	研究社	新潮社	童話春秋社	童話春秋社	童話春秋社	童話春秋社	童話春秋社
月四	月四	月十	月十	月二十	月八	月一十	月二十	月三	月二	月五	月九	月三
別府太郎	明石緑郎	大坪草二郎	協童話作家 編	協童話作家 編	横本 楠郎	村岡 花子	酒井 朝彦	坪田 譲治	矢留 祐治	梅田 祐一	國府 貢一	阿蘇 三郎
仲 び よ 少 年	オトギバナシ ネズミノ王様	日本の子供たち	日本童話名作選 第四編	日本精華物語	二年生 童話	童話集 二年生	童話 四年生	童話 三年生	童話 六年生	童話 五年生	童話 四年生	童話 三年生
布製入六 390	上製入六 204	上製入六 171	上製入六 480	上製入六 413	上製入六 186	上製入六 238	上製入六 222	上製入六 221	上製入六 227	上製入六 238	上製入六 230	上製入六 228
1.50	.75	1.20	3.50	2.00	.90	.90	1.30	1.30	.90	.90	.90	.90
三友社	宏文堂	柘谷書院	金の星社	金の星社	金の星社	童話春秋社	文昭社	文昭社	童話春秋社	童話春秋社	童話春秋社	童話春秋社
月一	月五	月二十	月三	月十	月八	月四	月一十	月二十	月八	月八	月七	月六

児童書類 (童話)

松野 浩二	石井 桃子	鈴木 三重吉	村岡 花子	金蘭 社編	平方 久直	中野 好夫	片山 稔	奥 榮一	内山 憲尙	編輯 星部	編輯 星部	編輯 星部	編輯 星部
コジキトフクノカミ	熊のプーさん	金の蛇 そのほか	カタカナ童話集	カタカナ グヤヒ 一年生	集話 王の家	王女様と小猫の話	五六年生 少年物語	少年少女世界文庫(16) 海賊の大渦	幼児用 をり紙童話	お話讀本 六年生の巻	お話讀本 五年生の巻	お話讀本 四年生の巻	お話讀本 三年生の巻
並製入六 244	並製入六 226	並製入六 436	上製入六 209	上製入六 218	上製入六 274	並製入六 283	上製入六 246	上製入六 126	上製入六 150	上製入六 190	上製入六 208	上製入六 208	上製入六 208
1.00	1.20	2.60	1.20	1.20	1.50	1.50	1.50	.50	1.20	.85	.85	.85	.85
報國社	岩波書店	富山房	金の星社	金蘭社	文昭社	第一書房	金蘭社	小山書店	文化書房	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社
月二十	月二十	月一十	月七	月五	月八	月二十	月十	月五	月九	月六	月六	月六	月六
奈街 三郎	鈴木 三重吉	豊島 次郎	昭文社編	協童話作家 編	協童話作家 編	大木 博夫	松田 いせ路	小出 正吾	鈴木 三重吉	文化協童話 會	日本 兒童 會	北村 壽夫	北川 千代
白 箱	少女軍 そのほか	少年あゝ無情	小學校先生作童話	銃後童話讀本	銃後童話集	世界の童話 十二の月	話 櫻桃の山	湖水の女 そのほか	湖水の女 そのほか	子供の天下	こつとん爺さん物語	カタカナ コバトノイへ	カタカナ コバトノイへ
上製入六 247	上製入六 434	上製入六 236	上製入六 150	上製入六 301	上製入六 370	上製入六 230	上製入六 246	上製入六 249	上製入六 454	上製入六 270	上製入六 281	上製入六 226	上製入六 226
1.50	2.60	1.50	.90	1.00	3.30	.90	1.00	.90	2.60	1.00	1.50	.90	.90
金蘭社	富山房	金蘭社	昭文社	金の星社	金の星社	童話春秋社	三成社	童話春秋社	富山房	金の星社	岡倉書房	童話春秋社	童話春秋社
月一十	月十	月二	月二	月五	月二	月二	月三	月五	月八	月三	月六	月三	月三

小川 未明	尾關 岩二	渡邊 善房	小川 未明	岡 愛子	足立 高	落合聰三郎			日本兒童劇名作選			清水 甚吾	百田 宗治	福與 英夫	川島 幸一
雪原の少年	夢に見た馬車	夜の明けの戦場	蘭の花	私のピーターパン	笑ひの放送	學級圖書館			第二輯			一年生繪讀本	一年生ツヅリカタ繪本	海のこども	
上四六 製入六	上四六 製入六	上四六 製入六	上四六 製入六	上四六 製入六	上四六 製入六	上製 三二六	上製 三二六	上製 三二六	上製 三二六	上製 三二六	上製 三二六	上製 三二六	上製 三二六	上製 三二六	上製 三二六
277	183	246	294	330	204	358	358	358	358	358	358	358	358	358	358
1.20	.70	1.20	1.50	1.80	.70	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
童話春秋社	岡田文祥堂	清水書房	三友社	中央公論社	教養社	清水書店	清水書店	清水書店	清水書店	清水書店	清水書店	清水書店	清水書店	清水書店	清水書店
一月	二月	二月	三月	三月	三月	八月	八月	八月	八月	八月	八月	八月	八月	八月	八月
教養社編	教養社編	小山内龍	教養社編	教養社編	教養社編	教養社編	教養社編	教養社編	教養社編	教養社編	教養社編	教養社編	教養社編	教養社編	教養社編
遠足と運動會	祭大行列	オ山ノコグマ	學校ハ大スキ	事コドモ親善除	遊子供劇場	鳥獸百花園	遊珍世界周り	動物音樂會	動物ちえくらべ	動物ちえくらべ	動物ちえくらべ	動物ちえくらべ	動物ちえくらべ	動物ちえくらべ	動物ちえくらべ
上四六 製入六	上四六 製入六	上四六 製入六	上四六 製入六	上四六 製入六	上四六 製入六	上四六 製入六	上四六 製入六	上四六 製入六	上四六 製入六	上四六 製入六	上四六 製入六	上四六 製入六	上四六 製入六	上四六 製入六	上四六 製入六
40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
.30	.30	.30	.30	.30	.30	.30	.30	.30	.30	.30	.30	.30	.30	.30	.30
教養社	教養社	博文館	教養社	教養社	教養社	教養社	教養社	教養社	教養社	教養社	教養社	教養社	教養社	教養社	教養社
七月	十月	十月	五月	九月	九月	八月	八月	八月	八月	八月	八月	八月	八月	八月	八月

六〇九

小川 未明	岡村 民	松原 至大	石森 延男	清水暉吉	森村 豊	新元 社編	長沼 依山	協童話作家會	後藤 楢根	濱田 廣介	豊島與志雄	石森 延男
鳩とりんご	オハナシ一年生 ヒヨコノハイキング	ひらがな童話集	ひろがる雪	ピーター少年	ピーターパンと一少女	ビノチオ	日の丸千里	日の丸部隊	光に立つ子	廣介童話名作選	ふるさとの繪	ふるさとの繪
上製 製入六	上製 製入六	上製 製入六	上製 製入六	上製 製入六	上製 製入六	上製 製入六	上製 製入六	上製 製入六	上製 製入六	上製 製入六	上製 製入六	上製 製入六
275	248	196	273	425	372	383	376	251	260	317	279	267
1.80	1.50	1.20	1.20	1.50	1.50	.50	1.30	1.00	1.50	2.50	1.80	1.20
新潮社	教材社	金の星社	三省堂	朝日新聞社	主婦之友社	新元社	童話春秋社	金の星社	四海書房	羽田書店	新潮社	三省堂
二月	二月	二月	五月	五月	二月	二月	五月	五月	九月	五月	五月	十月
江口 漢	日本傳説童話 へうたん船	ほがらか部隊	ぼくらの燈臺	新元社編 ボバ	鈴木三重吉 ぼくらの手紙	教養社編 満洲童話集	柴野民三編 満洲童話集	鮎澤 浩 森の仔鹿	坪田 讓治 森のてじな	小野 浩 森の初雪	仲町 征夫 やうらうらの瀧	奥田 準一 山羊とお皿
上製 製入六	上製 製入六	上製 製入六	上製 製入六	上製 製入六	上製 製入六	上製 製入六	上製 製入六	上製 製入六	上製 製入六	上製 製入六	上製 製入六	上製 製入六
332	207	373	160	428	27	258	229	277	277	247	230	302
1.70	.90	2.00	1.00	.50	2.60	.35	1.50	1.30	1.80	1.00	1.00	1.50
中央公論社	童話春秋社	清水書房	中村書店	新元社	富山房	教養社	金蘭社	大道書房	新潮社	童話春秋社	童話春秋社	第一書房
一月	一月	二月	二月	二月	八月	六月	六月	九月	九月	九月	九月	十月

六〇八

兒童書類(童話・兒童劇・繪本)

兒童書類(童話)

児童書類(歴史物語・偉人物語・地理物語)

飯田 豊二	友納 養徳	友納 養徳	三島 霜川	菊池 知勇	武田 雪夫	野村 愛正	神谷 敏夫	富川 常雄	菊池 寛	太田黒克彦	濱田 壽郎	大木 雄二
少年二千六百年史	少國民の日本史	少國民の日本史	小楠公	兒童啄木集	支那だより	三國志物語	坂本龍馬の生涯	西郷隆盛	支與亡争 羈物語	源平盛衰記	楠木正成の精忠	希望の少年
上製四六 307	布製四六 418	布製四六 413	上製四六 197	洋製四六 214	上製四六 118	上製四六 344	洋製四六 415	洋製四六 385	上製四六 292	洋製四六 341	洋製四六 444	上製四六 237
1.30	2.00	2.00	1.00	1.50	1.00	1.50	2.00	1.30	1.30	1.50	2.00	1.20
金星堂	モナス	モナス	金の星社	文録社	朝日新聞社	講談社	大同館	講談社	文昭社	講談社	大同館	金の星社
月六	月四	月七	月一十	月二十	月五	月五	月三	月十	月三	月十	月六	月八
池田 宣政	池田 宣政	水谷まさる	池田 宣政	木村 莊八	大倉 桃郎	吉田小五郎	池田 大輔	吉川 英治	吉川 英治	矢橋三子雄	白井 勇	三島 霜川
日本國史美談(第二卷)	日本國史美談(第一卷)	日本國史	二宮尊徳	三河の草	中江藤樹	東西ものがたり	ドイツは強い	天兵童子	天兵童子	武田信玄傳	大日本國體物語	大日本國體物語
洋製四六 437	上製四六 464	上製新菊 341	洋製四六 372	洋製四六 330	洋製四六 326	洋製四六 307	上製四六 226	洋製四六 356	上製四六 356	洋製四六 534	上製四六 445	上製四六 193
2.30	2.30	2.50	1.30	3.00	1.30	2.00	1.30	1.30	1.30	2.50	2.40	1.00
借成社	借成社	金の星社	講談社	新生堂	講談社	慶應出版社	莊人社	講談社	講談社	大同館	博文館	金の星社
月四	月二	月十	月三	月十	月二十	月一十	月十	月八	月六	月八	月四	月八

六一三

児童書類(冒險物語・歴史物語・偉人物語・地理物語)

教養社編	橋詰 延壽	海野 十三	南洋 一郎	宮下 正美	南洋 一郎	山中崇太郎	海野 十三	海野 十三	江戸川亂歩	南洋 一郎	霜田史光譯	南洋 一郎
漫畫 猛獸戦争	萬次郎漂流記	魔の極東航路	ベンガル灣の巖牢	二少年の冒険	南海の秘密境	謎の機械化兵團	地底戦車の怪人	大空魔艦	大金塊	大アマゾンの秘密	十五少年漂流記	孤島の秘密
池製四六 40	上製四六 353	上製四六 302	上製四六 288	上製四六 274	上製四六 345	上製四六 384	上製四六 296	洋製四六 318	並製四六 200	上製四六 445	上製四六 269	上製四六 326
.30	1.30	1.40	1.30	1.60	1.40	1.50	1.40	1.50	1.00	1.50	1.30	1.40
教養社	講談社	借成社	壯年社	一元社	借成社	借成社	借成社	借成社	講談社	新誠堂	金の星社	借成社
月二	月六	月一十	月二十	月二十	月五	月四	月二十	月十	月三	月五	月二十	月六
中 貞夫	蘆谷 蘆村	和田 政雄	和田 政雄	中村 時藏	春藤與市郎	芹谷 光久	芹谷 光久	松本 浩記	澤田 謙	伊藤 博文	南洋 一郎	南洋 一郎
キユリー夫人物語	神の國日本	海舟	大村益次郎	大石内蔵助良雄	織田信長傳	偉い人の少年時代	偉い人の少年時代	年少一休禪師の生涯	伊藤 博文	伊藤 博文	密林の王者	密林の王者
上製四六 209	上製新菊 281	洋製四六 324	洋製四六 350	洋製四六 434	洋製四六 500	上製四六 194	上製四六 197	洋製四六 386	洋製四六 368	上製四六 311	上製四六 311	上製四六 311
1.30	2.50	1.30	1.30	2.50	2.50	.85	.85	2.00	1.30	1.40	1.40	1.40
山雅房	文昭社	講談社	講談社	大同館	大同館	金の星社	金の星社	大同館	講談社	借成社	借成社	借成社
月四	月二	月三	月十	月四	月十	月二十	月二十	月一	月二十	月十	月七	月七

六一二

片江田義直	鐵道職員採用試験問題 模範解答集 數學科	四六 356	1.50	青木正	源氏物語新釋	四六 383	2.00	有精堂	二月二十
高橋香村	鐵道職員採用試験問題 模範解答集 數學科	四六 177	.80	吉田賢抗	國漢双用辭典	三六 729	2.80	日本辭書社	二月
國語・漢文・作文參考書	試驗問題答案集	四六 356	1.50	和修	國漢双用辭典	三六 729	2.80	日本辭書社	二月
倉野憲司編	伊勢物語	四六 103	.70	歐文社	國漢文學習指針	三五 148	.30	歐文社	四月
光學館編	うけらが花・鈴屋文集	四六 143	.50	三省堂編	國語重要語句の解釋	四六 179	.50	三省堂	一月
森清晋	必ず出る國文問題	四六 370	1.80	西東社編	國語重要語句の解釋	四六 249	.70	西東社	三月
臺國太郎	華受漢文單語熟語精解	四六 277	.60	美遠治藤	國語重要語句の解釋	四六 249	.70	西東社	三月
塚本勝義	漢文二百題新解	四六 212	.80	石井清澄・守屋武士・杉森正雄	新國語指針	四六 390	2.20	博文館	二月二十
森本和司	漢文入門解釋	四六 452	1.20	松野又五郎	國文解釋	四六 438	2.00	慶文堂	二月二十
塚本哲三	漢文の重要語句	四六 254	1.00	淺尾芳之助	國文單語のあたまた	四六 296	1.20	有精堂	二月二十
山下賤夫	支那制度・漢語解法	四六 191	1.00	塚本哲三	國文の重要語句	四六 125	1.00	有朋堂	一月十
平沼康	擬古文の解釋	四六 311	1.30	塚本哲三	通解土佐日記	四六 98	1.00	有朋堂	九月
岸義秋編	現代文問題選	四六 99	.45	井上正男	通解竹取物語	四六 117	1.00	有朋堂	九月
中等作文指導會編	作文の學習と練習	四六 245	1.00	塚本哲三	通解更級日記	四六 188	1.00	有朋堂	九月
島田退藏編	更級日記	四六 84	.60	塚本哲三	通解東關紀行	四六 125	1.00	有朋堂	九月
江波照編	參考古語辭典	四六 416	1.00	塚本哲三	通解東關紀行	四六 125	1.00	有朋堂	九月
西川良一	女子漢文解釋	四六 447	1.20	塚本哲三	通解東關紀行	四六 125	1.00	有朋堂	九月
森本和司	新古今和歌集	四六 182	.50	笠松彬雄	東關紀行新釋	四六 135	1.50	大同館	一月
光學館編	新國文典解釋	四六 342	1.20	光學館編	唐宋八大家文讀本鈔	四六 221	.50	光學館	九月
森本和司	新國文典解釋	四六 342	1.20	西川良一	日本外史精解	四六 330	1.20	晃文社	五月
指導部編	新撰作文講話	四六 242	1.20	重野篤二郎	日本外史精解	四六 732	2.50	白帝社	十月
竹野長次	新撰作文講話	四六 242	1.20	山海堂	分類漢文重要語精解	四六 293	1.20	山海堂	五月
研究社編	新文類國語漢文問題集	三六 137	.35	中等國語	分類漢文重要語精解	四六 272	.80	湯川弘文社	八月
研究所編	新文類國語漢文問題集	三六 137	.35	吉田賢抗	孟子全釋	四六 571	2.00	歐文社	八月
村上茂之	代數建設と完成	四六 694	2.00	重野篤二郎	孟子全釋	四六 506	1.70	白帝社	十一月

受験參考書(文官・巡查・鐵道・通信受験書・國語・漢文・作文參考書)

村上茂之	代數建設と完成	四六 694	2.00	重野篤二郎	孟子全釋	四六 506	1.70	白帝社	十一月
研究所編	新文類國語漢文問題集	三六 137	.35	吉田賢抗	孟子全釋	四六 571	2.00	歐文社	八月
研究社編	新文類國語漢文問題集	三六 137	.35	中等國語	分類漢文重要語精解	四六 272	.80	湯川弘文社	八月
竹野長次	新撰作文講話	四六 242	1.20	山海堂	分類漢文重要語精解	四六 293	1.20	山海堂	五月
指導部編	新撰作文講話	四六 242	1.20	重野篤二郎	日本外史精解	四六 732	2.50	白帝社	十月
森本和司	新國文典解釋	四六 342	1.20	西川良一	日本外史精解	四六 330	1.20	晃文社	五月
光學館編	新國文典解釋	四六 342	1.20	光學館編	唐宋八大家文讀本鈔	四六 221	.50	光學館	九月
森本和司	女子漢文解釋	四六 447	1.20	笠松彬雄	東關紀行新釋	四六 135	1.50	大同館	一月
西川良一	女子漢文解釋	四六 447	1.20	塚本哲三	通解土佐日記	四六 98	1.00	有朋堂	九月
江波照編	參考古語辭典	四六 416	1.00	塚本哲三	通解東關紀行	四六 125	1.00	有朋堂	九月
島田退藏編	更級日記	四六 84	.60	塚本哲三	通解東關紀行	四六 125	1.00	有朋堂	九月
岸義秋編	現代文問題選	四六 99	.45	井上正男	通解竹取物語	四六 117	1.00	有朋堂	九月
中等作文指導會編	作文の學習と練習	四六 245	1.00	塚本哲三	通解更級日記	四六 188	1.00	有朋堂	九月

受験參考書(國語・漢文・作文參考書)

受験参考書(各國語参考書・其他参考書)

國澤 慶一	西班牙語基礎一五〇〇語	三六 並製	105	.70	大學書林	月二十	普文學會編	法律要覽(12)	三五 並製	351	1.20	清水書店	月一
金澤 一郎	西班牙語研究	四六 洋布	178	1.80	崇文堂	月六	延美教育心理學提要	洋布判	537	4.50	啓文社	月七	
笠井 鎮夫	西班牙語入門	三六 並製	145	.80	三省堂	月五	系統的公民科	洋布判	346	2.80	啓文社	月五	
關口 存男	ドイツ語會話常用句集	三六 並製	59	.30	三修社	月七	口頭試問の要領と 常識試験問題解答集	洋布判	191	1.00	文憲堂	月三	
荒木 茂雄	ドイツ語の輪廓	三六 並製	123	.60	三修社	月七	國體の本義精解	洋布判	207	.80	晃文社	月二十	
P.ノリノ原作 成澤 理平註	奴隷	四六 並製	83	.80	大學書林	月六	財政學模範解答	洋布判	302	1.20	清水書店	月七	
郁文堂編	獨逸語動詞變化表	四六 並製	120	1.00	郁文堂	月六	昭和本ン習字基範	洋布判	25	.30	田長版樂部會	月九	
坂本恒太郎	獨逸語論文研究	四六 洋布	277	1.80	太陽堂	月十	昭和本ン習字基範	洋布判	25	.30	田長版樂部會	月九	
黒塚 壽一	獨逸重要熟語總覽	三六 洋布	351	1.80	太陽堂	月九	昭和本ン習字基範	洋布判	25	.30	田長版樂部會	月九	
莊 直一	獨逸文法詳解	四六 洋布	272	1.80	太陽堂	月九	昭和本ン習字基範	洋布判	25	.30	田長版樂部會	月九	
黒塚 壽一	獨逸解釋の公式と應用	四六 洋布	349	1.80	太陽堂	月四	昭和本ン習字基範	洋布判	25	.30	田長版樂部會	月九	
井上 敬一	日露會話練習帳	三六 並製	123	.70	大學書林	月二十	普文學會編	洋布判	302	1.20	清水書店	月八	

其他參考書

六三〇

大陸戰史

陸軍省報導部編

陸軍畫報社發行

畫と文
縦二〇・五横二二・五
上製挿繪寫眞十數葉
定價二圓・送料一四錢

推薦狀

陸軍省報導部長 馬淵逸雄

當部編輯ノ「大陸戰史、畫と文」ハ支那事變ノ經過ト主要作戰ノ概要ヲ國民一般ニ興味深ク解明スルタメ刊行シタモノデアツテ、從軍ノ體驗ヲ有スル文壇、畫壇ノ一流名士ノ執筆揮毫ヲ煩ハシテ成ツタモノデアアル
希クバ該書ニヨツテ本事變ニ關スル正確ナル綜合的認識ヲ得ルト共ニ聖戰ノ記念文獻トシテ廣ク利用セラレシム

東京堂發賣

伊藤 正一	簿記計算問題精解	四六 並製	347	1.90	嚴松堂	月一十	倫理學概論表解	洋布判	307	2.50	勅語御下賜 記念事業部	月四
野田 晴夫	法律經濟語辭典	四六 並製	218	1.00	法學書院	月四	全國珠算問題集	洋布判	135	.50	珠算研究所	月六

受験参考書(其他参考書)

文庫(教養文庫・世界文庫)

岩田久二雄	高瀬安貞	鈴木大拙	家永三郎	今井仙一	外村完二	北住敏夫	鈴木成高	仁科武光	世界文庫														
蜂の生活	犯罪者の教育	盤柱の不生禪	日本の思想史(9) 否定の論理の發達	フランス哲學の主要問題	ヘルマン・ヘッセ	萬葉の世界	ランケと世界史學	レツシシ	アンドレ・ジイド	或る少女の一生	愛國者(上)												
三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六												
150	176	184	119	187	186	170	174	165	233	180	180												
.50	.50	.50	.50	.50	.50	.50	.50	.50	.60	.50	.50												
弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂												
二月	五月	二月	二月	十月	十月	十月	一月	二月	二月	一月	八月												
イバーニエス作	シヨオ作	シエイク	カロッサ作	スウイフト作	スウイフト作	ガリヴァ旅行記(上)	ガリヴァ旅行記(下)	河野好夫作	シムミット作	川崎芳隆作	カルル・ユイスマン作	カルル・ユイスマン作	田邊貞之助作	菊池榮一作	リルケ作	菊池榮一作	テオドール・トール作	テオドール・トール作	田中泰三作	田中泰三作	深村ラスキニ作	深村ラスキニ作	
愛と死の小説集	悪魔の弟子	大騒ぎ	幼き日	ガリヴァ旅行記(上)	ガリヴァ旅行記(下)	河野好夫の旅行記(上)	河野好夫の旅行記(下)	河野好夫の旅行記(上)	河野好夫の旅行記(下)	河野好夫の旅行記(上)	河野好夫の旅行記(下)	河野好夫の旅行記(上)	河野好夫の旅行記(下)	河野好夫の旅行記(上)	河野好夫の旅行記(下)	河野好夫の旅行記(上)	河野好夫の旅行記(下)	河野好夫の旅行記(上)	河野好夫の旅行記(下)	河野好夫の旅行記(上)	河野好夫の旅行記(下)	河野好夫の旅行記(上)	河野好夫の旅行記(下)
三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六
218	202	194	160	193	224	208	209	189	212	198	182	168	182	198	209	189	212	198	182	168	182	198	209
.60	.60	.50	.50	.50	.60	.50	.60	.50	.50	.50	.50	.50	.50	.60	.50	.50	.50	.50	.50	.50	.50	.50	.60
弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂
九月	九月	二月	九月	一月	八月	三月	三月	五月	二月	三月	七月	三月	七月	三月	十月	五月	二月	三月	七月	三月	三月	三月	三月

六四三

文庫(教養文庫)

前田博	松田道雄	小竹文夫	丹羽正義	加藤順三	實方清	保田與重郎	兼常清佐	市川衛	青木敬齋	中田勇次郎	小堀憲	岡山巖	増田七郎	三品彰英	龜山素光	篠原陽二	金井之忠	新關良三	山本一郎	加藤仁平	上野昭夫	岡崎文彬	植田壽藏	鳥芳夫	金剛巖	
教育科	支那史	支那史	支那史	支那史	支那史	支那史	支那史	支那史	支那史	支那史	支那史	支那史	忠臣蔵	朝鮮史概説	釣魚の政治的教育	唐代の史學思想	ナチス獨逸の演劇	ニイチエ	二宮尊徳と皇道報徳	日本肖像畫	日本庭園	日本美術	人間性の倫理	能面	能面	能面
三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六
150	179	154	177	170	151	165	168	166	177	170	158	174	167	163	187	164	162	168	181	155	166	179	178	185	190	
.50	.50	.50	.50	.50	.50	.50	.50	.50	.50	.50	.50	.50	.50	.50	.50	.50	.50	.50	.50	.50	.50	.50	.50	.50	.50	
弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	
三月	四月	六月	四月	六月	二月	十一月	二月	二月	二月	八月	一月	二月	六月	三月	八月	四月	二月	六月	六月	十一月	七月	三月	六月	五月	六月	

六四二

平岡昇	近代心理論集	三六	206	.50	弘文堂	月六	ドヴィンガー作	白と赤の間(二)	三六	201	.60	弘文堂	月八
齊藤勇	コウルリヂ詩集	三六	203	.50	弘文堂	月一	ドヴィンガー作	白と赤の間(一)	三六	172	.50	弘文堂	月十
大和資雄	ゴールデンボーイ	三六	182	.50	弘文堂	月五	藤本直秀譯	深	三六	187	.50	弘文堂	月一
清水光	皇帝の繪姿	三六	211	.50	弘文堂	月六	永田寛定譯	水車小屋の兄弟	三六	194	.50	弘文堂	月六
藤田五郎	心の問	三六	205	.50	弘文堂	月一	笠井鎮夫譯	西班牙人形綺想曲	三六	179	.50	弘文堂	月九
井上純一郎	作家と讀者	三六	207	.50	弘文堂	月三	フランソワ作	大遺言	三六	216	.50	弘文堂	月二
上田勳	シベリア日記(上)	三六	193	.50	弘文堂	月五	佐藤輝夫譯	秩	三六	218	.60	弘文堂	月二
ドヴィンガー	シベリア日記(下)	三六	240	.50	弘文堂	月六	アルラン作	月世界旅行記	三六	185	.50	弘文堂	月二
ドヴィンガー	シロフシアの若人	三六	194	.50	弘文堂	月二	有永弘人譯	月世界旅行記	三六	185	.50	弘文堂	月二
ハウスマン	自尊と偏見(上)	三六	244	.60	弘文堂	月七	オリエント作	月世界旅行記	三六	167	.50	弘文堂	月二
オーステン	静かな水車屋の物語	三六	220	.50	弘文堂	月一	大澤衛譯	月世界旅行記	三六	256	.50	弘文堂	月一
海老池俊治	静かな水車屋の物語	三六	244	.60	弘文堂	月七	スタンダール作	月世界旅行記	三六	263	.50	弘文堂	月一
ズーデルマン	静かな水車屋の物語	三六	220	.50	弘文堂	月一	佐藤正彰譯	月世界旅行記	三六	263	.50	弘文堂	月一
大畑末吉	静かな水車屋の物語	三六	220	.50	弘文堂	月一	ケララ作	月世界旅行記	三六	178	.50	弘文堂	月二
ヘルマン	静かな水車屋の物語	三六	220	.50	弘文堂	月一	堀内明譯	月世界旅行記	三六	178	.50	弘文堂	月二
満足卓	静かな水車屋の物語	三六	220	.50	弘文堂	月一	隈部逸人譯	月世界旅行記	三六	245	.60	弘文堂	月八
中村白葉	小悪魔(一)	三六	210	.60	弘文堂	月二十	隈部逸人譯	月世界旅行記	三六	245	.60	弘文堂	月八

渡邊格	ヘルデルリンの生涯	三六	216	.50	弘文堂	月一	甲賀三郎	怪奇連判状	三六	374	.70	春陽堂	月九
ヘルマン	マンデル家の物語	三六	179	.50	弘文堂	月七	笹本寅	怪奇連判状	三六	311	.50	春陽堂	月五
松田又七	水の子	三六	333	.80	弘文堂	月二十	子母澤寛	霧の白菊	三六	347	.55	春陽堂	月三
阿部知二	村の出来事	三六	198	.50	弘文堂	月三	奥村五十嵐	勤王美少年記	三六	250	.45	春陽堂	月六
ユージン	裏服の似合ふエレクトラ	三六	215	.50	弘文堂	月五	徳川夢聲	くらがり二十年	三六	286	.50	春陽堂	月六
清野	裏服の似合ふエレクトラ	三六	215	.50	弘文堂	月五	徳川夢聲	くらがり二十年	三六	286	.50	春陽堂	月六
宮本正清	敗れし人々	三六	182	.50	弘文堂	月五	國木田獨歩	號外	三六	305	.60	春陽堂	月八
宮本正清	敗れし人々	三六	182	.50	弘文堂	月五	國木田獨歩	號外	三六	305	.60	春陽堂	月八
櫻井和	幽霊部屋	三六	177	.50	弘文堂	月六	竹田敏彦	女の性	三六	333	.65	春陽堂	月七
櫻井和	幽霊部屋	三六	177	.50	弘文堂	月六	竹田敏彦	女の性	三六	333	.65	春陽堂	月七
井上義正	林檎の木	三六	181	.50	弘文堂	月六	國木田獨歩	女の性	三六	333	.65	春陽堂	月七
井上義正	林檎の木	三六	181	.50	弘文堂	月六	國木田獨歩	女の性	三六	333	.65	春陽堂	月七
石中象治	ロンドン	三六	129	.50	弘文堂	月八	田中貢太郎	旋風	三六	398	.55	春陽堂	月四
石中象治	ロンドン	三六	129	.50	弘文堂	月八	田中貢太郎	旋風	三六	398	.55	春陽堂	月四
田中貢太郎	瓶	三六	374	.70	春陽堂	月十	田中貢太郎	旋風	三六	427	.60	春陽堂	月四
田中貢太郎	瓶	三六	374	.70	春陽堂	月十	田中貢太郎	旋風	三六	427	.60	春陽堂	月四
竹田敏彦	歌姫懺悔	三六	187	.35	春陽堂	月九	湊邦三	鼓風	三六	354	.55	春陽堂	月五
竹田敏彦	歌姫懺悔	三六	187	.35	春陽堂	月九	湊邦三	鼓風	三六	354	.55	春陽堂	月五
サトウハチロー	エンコの六	三六	246	.50	春陽堂	月十	竹田敏彦	貞操の證	三六	394	.55	春陽堂	月四
サトウハチロー	エンコの六	三六	246	.50	春陽堂	月十	竹田敏彦	貞操の證	三六	394	.55	春陽堂	月四

田中貢太郎	潮五郎寺	奥村五十嵐	竹田敏彦	佐々木三木	千葉龜雄	海野十三	笹本寅	木々高太郎	城昌幸	小栗虫太郎	下村悦夫	サトウハチロー
天狗の面	天正女合戦	どん底の花嫁	なすな恋	惱める太陽	日本仇討物語	人間灰	武無限	風水	べらんめえ十萬石	紅殻駱駝の秘密	變幻妖姫賦	僕の東京地圖
並製 菊半 330	並製 菊半 162	並製 菊半 264	並製 菊半 216	並製 菊半 352	並製 菊半 300	並製 菊半 178	並製 菊半 305	並製 菊半 358	並製 菊半 229	並製 菊半 376	並製 菊半 337	並製 菊半 366
.65	.30	.50	.40	.70	.60	.35	.60	.70	.45	.70	.65	.55
春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂
月八	月四	月二十	月二十	月八	月二十	月十	月十	月八	月七	月九	月二十	月五
海五郎寺	木朝女風俗	富山房百科文庫						雄他藤末	永田二龍	日暮正次	猪野喜三郎	
並製 菊半 255	並製 菊半 434	富山房百科文庫						富山房百科文庫(119)	富山房百科文庫(116)	富山房百科文庫(117)	富山房百科文庫(118)	
.45	1.00	富山房百科文庫						富山房百科文庫(119)	富山房百科文庫(116)	富山房百科文庫(117)	富山房百科文庫(118)	
春陽堂	富山房	富山房						富山房	富山房	富山房	富山房	
月三	月十	月十						月十	月十	月十	月十	

文庫(春陽堂文庫・富山房百科文庫・アルス寫眞文庫)

六四六

塚本 閣次	石津 良介	石津 良介	水津 良介	塚本 信男	師岡 安次	石井 敏行	熊谷 辰男	馬場忠三郎	鈴木 八郎	鈴木 八郎	植田 正治	井深 徹				
夏山の寫し方	家庭寫眞の寫し方	顔の研究	構圖の纏め方	四季の子供	寫眞とハイキング	寫眞用語解説	人物寫眞と採光	スキー撮影地案内	接寫の秘訣	タソク現像法	田園の寫し方	夏の撮影				
並製 新四 69	並製 新四 70	並製 新四 68	並製 新四 73	並製 新四 70	並製 新四 72	並製 新四 76	並製 新四 73	並製 新四 96	並製 新四 74	並製 新四 68	並製 新四 64	並製 新四 64				
.50	.50	.50	.50	.50	.50	.50	.50	.50	.50	.50	.50	.50				
アルス	アルス	アルス	アルス	アルス	アルス	アルス	アルス	アルス	アルス	アルス	アルス	アルス				
月六	月六	月九	月九	月二十	月七	月十	月八	月一	月二十	月七	月九	月七				
上條 春雄	長濱 慶三	堀野 正雄	堀野 正雄	貴志 義一	大學書林文庫											
アルス寫眞文庫(11)	アルス寫眞文庫(3)	アルス寫眞文庫(3)	アルス寫眞文庫(3)	アルス寫眞文庫(25)	大學書林文庫											
並製 新四 72	並製 新四 74	並製 新四 69	並製 新四 69	並製 新四 79	大學書林文庫											
.50	.50	.50	.50	.50	大學書林文庫											
アルス	アルス	アルス	アルス	アルス	大學書林											
月六	月五	月六	月六	月二	月四											
小林 保太郎編	工學單語一三〇〇	小口優譯註	山中壽譯註	エッセイ	逸見廣譯註	中川浩譯註	磯部幸一編	中川浩譯註	A・ハース著	新し い力學	醫學單語一〇〇〇	化學から見た生と死	鐘の歌	クラムバムブリー	ゲート 箴言集	
大學書林文庫(11)	大學書林文庫(11)	大學書林文庫(11)	大學書林文庫(11)	大學書林文庫(11)	大學書林文庫(11)	大學書林文庫(11)	大學書林文庫(11)	大學書林文庫(11)	大學書林文庫(11)	大學書林文庫(11)	大學書林文庫(11)	大學書林文庫(11)	大學書林文庫(11)	大學書林文庫(11)	大學書林文庫(11)	大學書林文庫(11)
並製 三六 53	並製 三六 47	並製 三六 53	並製 三六 51	並製 三六 45	並製 三六 73	並製 三六 55	並製 三六 73	並製 三六 55	並製 三六 55	並製 三六 55	並製 三六 55	並製 三六 45	並製 三六 51	並製 三六 53	並製 三六 47	並製 三六 53
.30	.30	.30	.30	.30	.60	.30	.60	.30	.30	.30	.30	.30	.30	.30	.30	.30
大學書林	大學書林	大學書林	大學書林	大學書林	大學書林	大學書林	大學書林	大學書林	大學書林	大學書林	大學書林	大學書林	大學書林	大學書林	大學書林	大學書林
月七	月七	月十	月一	月四	月七	月四	月七	月四	月四	月四	月四	月七	月七	月十	月七	月七

文庫(アルス寫眞文庫・大學書林文庫)

六四七

小笠原長生	大西利夫	小野南橋	偉人叢書(8)	森川曉水	松本たかし	東京三	片山桃史	石塚友二	東鷹女	竹下しづの女	西東三鬼	中村草田男
東郷平八郎	大村益次郎	大村益次郎	偉人叢書(11)	淀	弓	街	北方兵團	百萬葵	向日	颯	旗	永き午前
並製 四六 208 .60	並製 四六 156 .60	並製 四六 167 .60	並製 四六 167 .60	並製 菊半 87 .50	並製 菊半 88 .50	並製 菊半 80 .50	並製 菊半 90 .50	並製 菊半 92 .50	並製 菊半 89 .50	並製 菊半 96 .50	並製 菊半 89 .50	並製 菊半 89 .50
三省書院	三省書院	三省書院	三省書院	三省堂	三省堂	三省堂	三省堂	三省堂	三省堂	三省堂	三省堂	三省堂
月二十	月二十	月二十	月二十	月十	月三	月三	月十	月十	月十	月十	月三	月十
窪川他四氏	齋藤他四氏	北原白秋	佐佐木信綱	高島忠雄	武田勘治	石川勲	赤尾藤市	石村貞吉	蔭山秋穂	蔭山秋穂	宿利重一	小松原眞琴
現代短歌叢書(第四卷)	現代短歌叢書(第三卷)	現代短歌叢書(第二卷)	現代短歌叢書(第一卷)	頤山	吉田松陰	横井小楠	本居宣長	水戸義公と烈公	藤田東湖	乃木將軍	名和長年	名和長年
並製 三六 222 .80	並製 三六 223 .80	並製 三六 232 .80	並製 三六 228 .80	並製 四六 183 .60	並製 四六 211 .60	並製 四六 166 .60	並製 四六 161 .60	並製 四六 173 .60	並製 四六 135 .60	並製 四六 170 .60	並製 四六 193 .60	並製 四六 193 .60
弘文堂	弘文堂	弘文堂	弘文堂	三省書院	三省書院	三省書院	三省書院	三省書院	三省書院	三省書院	三省書院	三省書院
月十	月十	月二十	月七	月四	月一十	月五	月五	月四	月五	月四	月一十	月一十

池内友次郎	皆吉爽雨	星野立子	阿波野青歌	内藤吐天	石橋辰之助	俳苑叢刊	教學局編	教學局編	教學局編	教學局編	教學局編	教學局編
結婚まで	寒林	鎌倉	花下微笑	雨滴聲	家	家	邊の詔勅	歴代の詔勅	頼山陽と日本精神	吉田松陰と留魂録	諸曲と日本精神	山鹿素行の配所殘筆
並製 菊半 91 .50	並製 菊半 88 .50	並製 菊半 89 .50	並製 菊半 88 .50	並製 菊半 89 .50	並製 菊半 86 .50	並製 菊半 86 .50	並製 三五 49 .15	並製 三五 108 .25	並製 三五 190 .25	並製 三五 143 .35	並製 三五 102 .25	並製 三五 104 .20
三省堂	三省堂	三省堂	三省堂	三省堂	三省堂	三省堂	内閣印刷局	内閣印刷局	内閣印刷局	内閣印刷局	内閣印刷局	内閣印刷局
月三	月三	月三	月十	月十	月三	月三	月九	月八	月八	月八	月八	月八
岩田潔	大野林火	加藤楸郎	日野草城	後藤夜半	細谷源二	木津柳芽	中村汀女	長谷川素逝	西島麥南	栗林一石路	石田波郷	五十嵐播水
東風の枝	冬青集	颯眼	青玄	翠黛	鷹中	白抄	春雪	三十三歳	金剛纂	行路	行人	月魄
並製 菊半 88 .50	並製 菊半 87 .50	並製 菊半 87 .50	並製 菊半 90 .50	並製 菊半 90 .50	並製 菊半 90 .50	並製 菊半 88 .50	並製 菊半 90 .50	並製 菊半 87 .50	並製 菊半 88 .50	並製 菊半 86 .50	並製 菊半 89 .50	並製 菊半 85 .50
三省堂	三省堂	三省堂	三省堂	三省堂	三省堂	三省堂	三省堂	三省堂	三省堂	三省堂	三省堂	三省堂
月十	月三	月三	月三	月十	月十	月十	月三	月三	月十	月十	月三	月十

文庫(現代短歌叢書・ドイツ語文庫・新世代叢書・山岳新書・グリオ文庫)

六五二

前田 夕暮 他四氏	現代短歌叢書 第八卷	前製 三六 並製 三六	弘文堂	月八	山崎 謙 次代の理念	新世代叢書(6)	前製 三四 並製 三四	育生社	月一十
五島 他四氏	現代短歌叢書 第九卷	前製 三六 並製 三六	弘文堂	月七	モルシア・ 宮の百年史	新世代叢書(4)	前製 三四 並製 三四	育生社	月一十
前田 多門	新世代叢書(2) アメリカ人の日本把握	前製 三四 並製 三四	育生社	月一十	大佛 次郎 海の子供たち	グリオ文庫(2)	前製 三四 並製 三四	育生社	月一十
山川 菊榮	新世代叢書(3) 女は働いてみる	前製 三四 並製 三四	育生社	月一十	小山 聰 機械化部隊	グリオ文庫(6)	前製 三四 並製 三四	育生社	月一十
川端 福一	新世代叢書(6) シンガポール	前製 三四 並製 三四	育生社	月二十	澤村 勉 上海陸戦隊	グリオ文庫(4)	前製 三四 並製 三四	育生社	月二十
一黒 塚壽	ドイツ語文庫(29) 油脂化学	前製 三五 並製 三五	三修社	月九	坂本光雄編 丹澤の谷歩き	山岳新書(1)	前製 三四 並製 三四	育生社	月二十
内山 保譯註	ドイツ語文庫(15) ドクトル・ファウスト	前製 三六 並製 三六	三修社	月八	岩根常太郎 山岳新書(6)	山岳新書(6)	前製 三四 並製 三四	育生社	月二十
次石 譯川	ドイツ語文庫(23) 原子の人工破壊	前製 三六 並製 三六	三修社	月八	岩科小一郎 山岳新書(3)	山岳新書(3)	前製 三四 並製 三四	育生社	月二十
雄川 譯村	ドイツ語文庫(4) 金星を旅行するとしたら	前製 三五 並製 三五	三修社	月九	宮内敏雄編 奥多摩の澤歩き	山岳新書(4)	前製 三四 並製 三四	育生社	月二十
敏川 譯武	ドイツ語文庫(36) 赤帽子	前製 三五 並製 三五	三修社	月九	早坂 力 米國の工作機械文明	新世代叢書(1)	前製 三四 並製 三四	育生社	月二十
雄川 譯村	ドイツ語文庫(25) 原子の人工破壊	前製 三六 並製 三六	三修社	月九	山岳新書				

文庫(グリオ文庫・開隆文庫・ナチス叢書・高山叢書・人生文庫・世界名詩新書・讀物文庫)

六五三

平井 常次郎	グリオ文庫(1) 新聞記事ができるまで	前製 三四 並製 三四	株式會社	月二	カレンタイ 内山敏譯	高山叢書(4)	前製 三四 並製 三四	高山書院	月二十
小川 格	グリオ文庫(6) 僕らは荒鷲	前製 三四 並製 三四	株式會社	月二	堀 眞琴譯 總力戦と國防經濟	高山叢書(3)	前製 三四 並製 三四	高山書院	月二十
西川 正	開隆文庫 海の叔父様	前製 四六 並製 四六	開隆堂	月六	鈴木 安藏 帝國議會の歴史と本質	高山叢書(2)	前製 三四 並製 三四	高山書院	月二十
身 龍口	開隆文庫 娯樂	前製 四六 並製 四六	開隆堂	月六	吉田 絃二 人生隨筆	人生文庫(7)	前製 三四 並製 三四	人生社	月二十
太 龍	開隆文庫 支那事變	前製 四六 並製 四六	開隆堂	月六	吉田 絃二 人生隨筆	人生文庫(7)	前製 三四 並製 三四	人生社	月二十
神 譯吉	開隆文庫 支那事變	前製 四六 並製 四六	開隆堂	月六	吉田 絃二 人生隨筆	人生文庫(7)	前製 三四 並製 三四	人生社	月二十
郎 譯吉	開隆文庫 支那事變	前製 四六 並製 四六	開隆堂	月六	吉田 絃二 人生隨筆	人生文庫(7)	前製 三四 並製 三四	人生社	月二十
山 譯和	開隆文庫 ダンテイイ或る犬の話	前製 四六 並製 四六	開隆堂	月六	吉田 絃二 人生隨筆	人生文庫(7)	前製 三四 並製 三四	人生社	月二十
男 譯和	開隆文庫 ダンテイイ或る犬の話	前製 四六 並製 四六	開隆堂	月六	吉田 絃二 人生隨筆	人生文庫(7)	前製 三四 並製 三四	人生社	月二十
西谷 彌兵衛	ナチス叢書 ナチスの商業政策	前製 三四 並製 三四	アルス	月一十	深水 美義 貧者の一燈	人生文庫(11)	前製 三四 並製 三四	人生社	月二十
小島 威彦	ナチス叢書 ナチスの世界政策	前製 三四 並製 三四	アルス	月一十	松山悦三譯 世界名詩新書(2)	世界名詩新書(2)	前製 三四 並製 三四	人生社	月二十
白鳥 敏夫	ナチス叢書 日獨伊樞軸論	前製 三四 並製 三四	アルス	月一十	松山悦三譯 世界名詩新書(1)	世界名詩新書(1)	前製 三四 並製 三四	人生社	月二十
末次 信正	ナチス叢書 日本とナチス獨逸	前製 三四 並製 三四	アルス	月一十	博文館編 愛國篇	讀物文庫(2)	前製 三四 並製 三四	博文館	月二十

博文館編 武俠篇 並製 四六 319.70 博文館 月二		東雲文庫 望月 信成 繪巻物の鑑賞 東雲文庫(7) 並製 四六 171.50 寶雲舎 月九		中村 亮平 佛像の鑑賞 東雲文庫(4) 下巻 並製 四六 156.30 寶雲舎 月二		支那語文庫 香坂 順一 華和譯法 支那語文庫(7) 並製 菊半 116.45 出外語學院 月九		香坂 順一 和文華譯法 支那語文庫(6) 並製 菊半 99.40 出外語學院 月九		初級獨逸語文庫 二編 澤 著得 獨逸語熟語集 初級獨逸語文庫 並製 四六 104.50 藝文書院 月一十		二編 澤 著得 獨逸語單語集 初級獨逸語文庫 並製 四六 98.50 藝文書院 月一十		教養講座 尾崎 秀實 抗戰支那の政治經濟情勢 教養講座(1) 並製 四六 64.30 西村書店 月一十		野崎 龍七 時局下經濟はどうか 教養講座(2) 並製 四六 124.60 西村書店 月一十		岩木村 英三 進行してゐるか 教養講座(2) 並製 四六 124.60 西村書店 月一十		大民文庫 アルテマニニ著 下位春吉譯 今日のイタリヤ 大民文庫(2) 並製 菊半 127.50 大民社 月九		中山 優 東亞聯盟への途 大民文庫(1) 並製 菊半 92.30 大民社 月五		機械工文庫 産業技術編 機械工文庫(1) ケガキと圖面の見方 卷一 並製 三五 81.50 産業技術編 月二		産業技術編 機械工文庫(2) センバと實習 卷一 並製 三五 115.60 産業技術編 月二		日本養生文庫 三浦 梅園 養生訓・養生辨 日本養生文庫(1) 並製 菊半 73.60 成史書院 月九		名作文庫 長谷川 伸 旅の鳥鎌太郎他八篇 名作文庫(3) 並製 四六 319.70 博文館 月二		伊那郷土文庫 市村 成人 飯田郷史考 伊那郷土文庫(7) 並製 四六 160.00 山村書院 月一		世界秘境探險叢書 高須 茂譯 アルピニストの心 山岳文庫(6) 並製 新四 138.80 朋文堂 月四		砂田 保 排球人の手記 排球新書(3) 並製 菊半 175.80 體育評論社 月一十	
--	--	---	--	---	--	---	--	---	--	--	--	---	--	---	--	---	--	--	--	---	--	---	--	---	--	---	--	--	--	--	--	---	--	---	--	--	--

文庫 (東雲文庫・支那語文庫・初級獨逸語文庫・教養講座・大民文庫・機械工文庫・日本養生文庫)

六五四

春日 俊吉 中央アジア熱沙行 並製 三五 182.00 博文館 月七		博文館文庫 豊島 翠郷 旅行案内 博文館文庫(25) 並製 菊半 239.50 博文館 月五		山岳文庫 ヴオラアル著 成田 重郎譯 ルノワール 四六判三八〇頁・圖版一七葉 定價一圓八〇錢・送料一〇錢 東京堂 版 月一十		俳球新書 砂田 保 排球人の手記 排球新書(3) 並製 菊半 175.80 體育評論社 月一十	
---	--	--	--	--	--	---	--

高村光太郎氏曰く 大變い譯本をいただいて感謝します。ロダンなどが出て来るので尙更興味ふかく思ひました。ヴォラアルのやうな事情に精通した人でなければ書けない本だと思ひますし、譯もフランスに精通した人でなければ出来ない譯だと感じしました。

文庫 (世界秘境探險叢書・博文館文庫・山岳文庫・排球新書)

六五五

著者	書名	形態	頁数	定価	発行所	発行月	哲		宗		教		
							学	学	学	学	学	学	
野崎 圭介	新井白石言行録	三五	106	.25	三省堂	十月	岩村清四郎	新島襄言行録	三五	111	.25	三省堂	一月
増谷 文雄	孝道	三五	103	.25	三省堂	十月	濱野 修	野口英世言行録	三五	98	.25	三省堂	一月
育報 徳教	皇道第一の報徳生活	菊判	78	.30	報徳教育會	九月	溝口 胸造	八大詔勅謹解	菊判	81	.45	八弘書店	四月
朝比奈宗源	皇民道徳寶典	菊判	27	.25	巖松堂	五月	廣瀬 豊	山鹿素行言行録	三五	104	.25	三省堂	二月
育報 徳教	皇民錬成の原理と方法	菊判	86	.30	報徳教育會	九月	富岡 直方	山岡鐵舟言行録	三五	112	.50	同文館	七月
柄澤 照覺	昭和十六年御壽寶	四六	80	.30	神誠館	九月	廣瀬 豊	山鹿素行言行録	三五	100	.25	三省堂	二月
岡 邦俊	救ひの論理	四六	97	.50	同文館	十月	丹羽 生洲	家庭祭祀	四六	68	.50	大和書房	二月
W.L.シャネー	戦争の哲学	四六	93	.80	大學書林	十一月	丸川仁夫譯	教會と國家	四六	89	.50	新生堂	四月
白根 孝之	パンフレット(哲學・宗教)						社會教育	教會と我等の生活	四六	46	.10	育社協會	九月

パンフレット(哲學・宗教)

六五七

二五 パンフレット

増補改訂版

世界政治地圖

一九四一年版

菊判二四一頁 價三・〇〇送五

ワルター・パール著(千葉秀雄譯) 片面に立體的に描かれた鮮明な地圖と他の片面にそれに対する示唆に富んだ説明とで世界政治経済の基礎的な知識が手にとる様に解る。

戦争記事を読むに恰好の書!

英國を中心とする舊秩序の壊滅に向つて突進し行く新興諸國家(日・獨・伊・ソ聯等)の攻撃態勢など世界の新しい動きがアレンヂされてゐる。

世界政治の基礎知識

價三・二〇 送一・五〇

目まぐるしく變轉する世界政治の基本的動向、複雑な國際關係をジャイナリストとプロフェツサの巧な協働に依り要領よく纏めて上げてゐる。数十葉の地圖と圖表と相俟つて世界情勢を一目瞭然たらしむ。(菊版三七六頁)

石油 戦

四〇〇頁 價一・九〇 送一・五〇

アントン・チシュカ著 山本新助譯 生産と分配の側から石油の政治的力の變遷を究明す、石油から觀た外交秘史。世界權力の手段としての石油争奪戰。

清和書店

東京・神田・小川町二 振替東京八九五八

時代と思想

價一・四〇 送一・四〇 (四六判二五〇頁)

現在には最も思想を必要としてゐる。私達が時代に生きる事の意義は正に歴史の發展の線に沿つて生きることであらねばならぬ。「思想の探求」の書と共に現代日本の思想的現實を示す。

六五六

ニイチエと現代精神 一・五〇

ギリシヤ哲學者列傳 一・三〇

哲學の生れるまで 一・〇〇

文藝學の發展と批判 一・八〇

黒船 前後 一・八〇

高物價を衝く 一・二〇

イタリア政治經濟大觀 一・八〇

英國の觀た日支關係 一・四〇

世界大戰の經濟的諸結果 一・二〇

外國から見た敗戰支那 一・五〇

バルカンの政治經濟 二・〇〇

開戦後の英獨經濟體制 一・八〇

昭森社編	蒲松齡著 矢野龍助譯註	中里介山	中里介山	社會教育 協會編	水藤原楚	中里介山	中里介山	中里介山	中里介山	櫻井信一編	鈴木實	鷹見芝香	鷹見芝香
風	飲み仲	日本百姓道の卷	土を讀むの卷	朝鮮の說話小話	孫過庭書譜	植民地の卷	熟教育の卷	國民皆農論の卷	國民皆農論の卷	國語與國吟詠教本	閨秀百人一首鑑賞	假名名筆抄	假名名筆抄
並製	四六	四六	四六	四六	菊半	四六	四六	四六	四六	菊半	四六	菊半	菊半
30	102	108	125	45	144	104	128	108	86	98	45	51	51
.50	.80	.50	.50	.10	.50	.50	.50	.50	.50	.80	.50	.50	.50
昭森社	大學書林	刊大善行會	刊大善行會	育社協會	三省堂	刊大善行會	刊大善行會	刊大善行會	三省堂	科學研究所	三省堂	三省堂	三省堂
月十	月一十	月四	月三	月十	月三	月一	月一	月四	月一十	月九	月七	月七	月七
松田金重編	平原社編	魚返善雄復	竹田善雄復	平原社編	福岡醇祐	村上第六	藤原楚水	北野邦雄	重松田金	濱田金	中里介山	中里介山	中里介山
和文大學	フランフ語ABC講座	發音四聲速習表	ドイツ語ABC講座	日本語の精神	日本語の常識	九成宮醜泉銘	暗室の設備	和文孟子鈔	和文孟子鈔	和文孟子鈔	リソコルン角度的卷	リソコルン角度的卷	リソコルン角度的卷
並製	新製	三六	三六	四六	四六	四六	四六	三五	三五	三五	四六	四六	四六
84	48	44	39	140	75	46	64	100	105	105	112	112	112
.25	.50	.50	.50	.75	.35	.40	.40	.25	.80	.80	.50	.50	.50
三省堂	平原社	三省堂	平原社	聯洲出版部	平原社	三省堂	光畫莊	三省堂	三省堂	三省堂	東洋政治學	東洋政治學	東洋政治學
月一十	月十	月五	月十	月一十	月一十	月二十	月二十	月二	月一	月一	月十	月十	月十

パンフレット(文學・美術・音樂・演劇・語學)

六五九

竹中玉一	喜三郎	協社會編	大倉精神文	都新聞社編	伏見猛彌	四方實一	社會教育 協會編	瀧本豊之輔	長澤孝潤	北森嘉藏	堀之内巖
女學生の娛樂調査	國民科國史の教授形態	國語の純化	行の教育	御題旨奉體の實例	教育動員計畫の書	教育的統計法概説	革新時に於ける科學教育	神道と禪	女子參禪の秘訣	十字架の主	これでも神代わからんか
並製	四六	四六	新四	四六	四六	菊判	四六	四六	四六	四六	四六
43	86	44	108	131	95	142	45	58	161	96	56
.10	.55	.10	.70	.50	.50	1.20	.10	.30	.80	.60	.60
育社協會	版第	育社協會	三省堂	株明治圖書	世界創造社	西澤書店	育社協會	回光社	中央佛敎社	新生堂	堀之内巖家
月三	月六	月四	月二	月二十	月二	月六	月十	月十	月一	月七	月九
中里介山	鈴木源輔	協社會編	一宮田新	三島吉太郎	協社會編	川上嘉市	獨創力の養成	林操	渡邊幾治郎	塚本勝義	塚本勝義
イワソンの馬鹿の卷	鍊成教育の形態	讀書の方法	明治天皇御製訓	明治天皇御製謹解	北洋の征服	獨創力の養成	獨逸の科學的國防	體育と備育	青少年學徒に賜りたる勅語を拜誦し奉りて	青少年學徒ニ賜ハリタル勅語謹解	青少年學徒ニ賜ハリタル勅語謹解
並製	四六	四六	三六	四六	四六	四六	四六	四六	和製	四六	四六
120	100	44	135	124	44	138	46	45	64	31	31
.50	.65	.10	.40	.50	.10	.80	.10	.10	.40	.12	.12
刊大善行會	版第	育社協會	武帝學國文社	育社協會	育社協會	育社協會	育社協會	育社協會	育社協會	育社協會	育社協會
月三	月一	月四	月七	月十	月四	月二	月六	月八	月四	月三	月五

パンフレット(宗教・教育・文學)

六五八

小倉 虎治	協 會 教育	社 會 教育	松山 悦三	河野 誠三	堀 一郎	歴史 傳 記	パンフレット(歴史・傳記・地理・紀行・政治・社會)
イ ン ド 解 放 へ	教育文化叢書(23)	教育文化叢書(23)	聖 將 東 郷 元 師	神武天皇の御信託と建國の御鴻業	印度 民族 論	印度 民族 論	印度 民族 論
並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六
110	43	65	46	96	92	92	92
.50	.10	.20	.10	.50	.50	.50	.50
世界創造社	育社 協會 教育	ブニツポンス	育社 協會 教育	洗心書房	世界創造社	世界創造社	世界創造社
月二	月一	月六	月一	月一	月一	月一	月一
芝 染 太郎	政 治 ・ 社 會	信 萬 社 華 通	研 究 會 地 理	日 本 地 理	地 理 ・ 紀 行	地 理 ・ 紀 行	地 理 ・ 紀 行
アメリカの正體	政治・社會	大東京ポケット地圖	車窓の日本	山陽九州の巻	車窓の日本	車窓の日本	車窓の日本
並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六
90	147	106	106	106	106	106	106
.50	.35	.80	.80	.80	.80	.80	.80
際興 協會	際興 協會	萬華通信社	研 究 會 地 理	研 究 會 地 理	研 究 會 地 理	研 究 會 地 理	研 究 會 地 理
月二	月一	月一	月二	月二	月二	月二	月二
木村 紀介	強 力 内 閣 は な ぜ 出 來 ぬ	義 田 胸 喜	河 合 教 授 の 公 開 状	音 樂 戦 争	歐 洲 現 勢 と 獨 英 の 將 來	歐 洲 現 勢 と 獨 英 の 將 來	歐 洲 現 勢 と 獨 英 の 將 來
並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六
31	77	71	67	45	44	44	44
.15	.30	.50	.25	.10	.30	.30	.30
清 明 書 院	原 理 日 本 社	世 界 創 造 社	改 造 社	育 社 協 會 教 育	世 界 創 造 社	世 界 創 造 社	世 界 創 造 社
月三	月十	月七	月九	月七	月四	月四	月四

パンフレット(歴史・傳記・地理・紀行・政治・社會)

六六〇

小林 知治	近 衛 内 閣 の 使 命	高 坂 沐 溪	近 衛 公 に 懇 ぶ	中 山 末 三	國 民 に 訴 ぶ	松 原 一 雄	國 際 法 研 究 資 料 と して の 條 約	淺 野 利 三 郎	興 亞 奉 公 日 の 意 義	淺 野 利 三 郎	興 亞 聖 戰 の 目 標	郷 然 圭	皇 道 政 治 論	中 岡 彌 高	皇 國 臣 民 の 責 務	石 川 謙	五 人 組 か ら 隣 組 へ	波 多 野 編	現 下 の 二 大 問 題 を 衝 く	谷 口 雅 春	禁 酒 禁 煙 報 國	
並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六
73	94	57	84	44	70	102	85	91	121	95	72	113	72	95	72	113	72	95	72	113	72	95
.20	.45	.30	.30	.40	.30	.50	1.00	.50	.60	.35	.35	.30	.30	.35	.35	.30	.30	.35	.35	.30	.30	.30
國 防 攻 究 會	出 版 社 育 社	東 亞 教 育 社	南 進 社	東 海 出 版 社	巖 松 堂	現 代 社	現 代 社	皇 學 會	世 界 創 造 社	西 村 書 店	出 版 社 育 社	普 及 會 想	普 及 會 想	普 及 會 想	普 及 會 想	普 及 會 想	普 及 會 想	普 及 會 想	普 及 會 想	普 及 會 想	普 及 會 想	普 及 會 想
月七	月一十	月二十	月六	月十	月一	月三	月七	月三	月二十	月一	月一十	月一十	月一十	月一十	月一十	月一十	月一十	月一十	月一十	月一十	月一十	月一十
徐 宗 謙 著	社 會 教 育	宮 下 雄	開 朝 社 日 新	滿 田 巖 編	義 田 胸 喜	田 所 廣 泰 編	阿 部 賢 一	日 野 賢 太 郎	橋 爪 克 己	汪 兆 銘	淺 野 利 三 郎	三 民 主 義 思 想 發 達 史	三 民 主 義 思 想 發 達 史	三 民 主 義 思 想 發 達 史	三 民 主 義 思 想 發 達 史	三 民 主 義 思 想 發 達 史	三 民 主 義 思 想 發 達 史	三 民 主 義 思 想 發 達 史	三 民 主 義 思 想 發 達 史	三 民 主 義 思 想 發 達 史	三 民 主 義 思 想 發 達 史	三 民 主 義 思 想 發 達 史
並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六	並製 四六
68	45	109	80	138	60	63	46	44	49	43	36	101	101	101	101	101	101	101	101	101	101	
.70	.10	.38	.25	.60	.30	.30	.10	.10	.50	.10	.10	.10	.10	.10	.10	.10	.10	.10	.10	.10	.10	
東 亞 公 論 社	育 社 協 會 教 育	二 松 堂	朝 日 新 聞 社	新 紀 元 社	原 理 日 本 社	生 日 協 會 學	育 社 協 會 教 育	育 社 協 會 教 育	太 淳 社	育 社 協 會 教 育	內 山 書 店	現 代 社	現 代 社	現 代 社	現 代 社	現 代 社	現 代 社	現 代 社	現 代 社	現 代 社	現 代 社	
月四	月十	月十	月九	月二十	月九	月二十	月六	月五	月一	月一	月一	月一	月一	月一	月一	月一	月一	月一	月一	月一	月一	

文庫(政治・社會)

六六一

文庫(政治・社会)

人口問題 研究會編	保科 胤編	長谷川 閑	社會教育 編	森山藤吉郎	淺野利三郎	林桂 圓著 中山志郎譯	森 昌也	山本 一郎譯	劉明 電	小山 貞知
人口問題 講演集 第十三編	戰時下のナチス 國民厚生事業	戰争と藝術	戦争と人口問題	全體主義下の技術道	全體主義統制經濟か 皇道經濟か	ソ聯邦亞細亞政策の基調	孫文主義 國家論	尊皇攘夷論と開國史觀	臺灣米穀政策の檢討	第三組 組織論
並製 四六 64	並製 四六 60	並製 四六 43	並製 四六 43	並製 四六 93	並製 四六 52	並製 四六 90	並製 四六 60	並製 四六 95	並製 四六 120	並製 四六 169
.50	.40	.10	.10	.80	.30	.60	.50	.50	.70	.50
研人口問題 會	日光書院	育社會 會教	育社會 會教	東榮社	東海出版社	東亞研究會	生活社	世界創造社	劉明電家 (有漢書)	滿洲評論社
月九	月十	月一	月一	月八	月八	月七	月五	月四	月一	月一
小林 一三	社會教育 編	協東亞 會聯	協東亞 會聯	小泉 菊枝	アルトハウス 保科 胤編	養田 胸喜	千徳 抄譯	泉 三郎	朝日新聞 編輯	高橋 清哉
電力問題はどうかしたらば うまくゆくか	獨逸の科學的國防	東亞聯盟建設綱領	東亞聯盟建設綱領 改訂版	東亞聯盟と昭和の民	ナチス國民 厚生事業の概観	ナチス思想批判	ナチス闘争の理念	廿世紀人間闘争	日本人の生活と文化	大川周日本二千六百年史 を駁す
並製 四六 54	並製 四六 46	並製 四六 105	並製 四六 127	並製 四六 74	並製 四六 62	並製 四六 67	並製 四六 80	並製 四六 163	並製 四六 108	並製 四六 59
.30	.10	.50	.50	.50	.40	.30	.80	.70	.40	.30
新電氣日々	育社會 會教	盟東亞 會聯	盟東亞 會聯	盟東亞 會聯	日光書院	原理日本社	國協社	世界創造社	中央文化 聯盟	朝日新聞社
月三	月九	月四	月九	月九	月十	月九	月九	月六	月四	月二

三齋 藤 重速	周 佛海	協調會編	家聯盟譯	日本著作	フランツ・ 樓上田々夫譯	赤尾 敏	太平洋問題 研究所編	石原 莞爾	社會教育 編	獨伊文化 研究會編	チシニカ著 歐州事情 研究會譯
改正税法申請手續書式	我が國に於ける家族手當	ロンドンへ!	ヨイロツバの悲劇	減共反ソか反英米か	滿洲建國と支那事變	米國日系市民の問題	フアシズムと労働政策	發明家は封鎖を破る	第三組 組織論	臺灣米穀政策の檢討	大英帝國を支配する 西家族
並製 四六 98	並製 四六 112	並製 四六 94	並製 四六 79	並製 四六 58	並製 四六 146	並製 四六 85	並製 四六 45	並製 四六 82	並製 四六 123	並製 四六 108	並製 四六 169
.80	.50	.50	.80	.20	.60	.20	.10	.80	.50	.50	.50
伊藤書店	協調會	新世紀書房	版日協獨 會出	建國會	世界創造社	出立版命 部館	育社會 會教	嚴松堂	日本時代社	劉明電家 (有漢書)	滿洲評論社
月四	月二	月九	月二十	月八	月六	月五	月一十	月六	月二	月九	月一
渡邊 武史	臨時資金調整法令 昭和十五年九月改訂	七・七禁止令の解説	齊藤榮三郎	報内閣 編情	地方稅制改正關係 法令例規	普及會編	新制規	吉井 魯齋	物價局編	報内閣 編情	報内閣 編情
國民防諜讀本	七・七禁止令の解説	わが國の特別法人稅の話	貨金統制令解説	宗敎團體法の附屬 十五法令及圖解	奢侈品等製造販賣制限 規則並ニ解説	新體制借地借家法	借地借家法	宗敎團體法の附屬 十五法令及圖解	奢侈品等製造販賣制限 規則並ニ解説	會社經理統制令解説	會社經理統制令解説
並製 三六 85	並製 四六 40	並製 四六 70	並製 四六 48	並製 四六 123	並製 四六 126	並製 四六 92	並製 四六 137	並製 四六 65	並製 四六 53	並製 四六 177	並製 四六 158
.50	.30	.80	.40	.20	.35	.70	.85	.15	1.00	.20	.50
二松堂	稅務懇話會	伊藤書店	新協同 組合	內閣印刷局	良書普及會	中央社	二松堂	內閣印刷局	船場書店	內閣印刷局	內閣印刷局
月八	月一十	月四	月七	月七	月二十	月五	月一十	月二十	月九	月七	月二

パンフレット(政治・社会・法律・軍事・交通・通信)

軍事・交通・通信

立木 豊	小兒科と腸胃病 耳鼻咽喉科疾患に就て	四六 並製 58	金原商店	四月
大原清之助	小兒赤痢様疾患の 豫後と療法	四六 並製 43	金原商店	九月
中泉 正徳	消化器病のレントゲン 線集光照射	四六 並製 50	金原商店	四月
内田 三郎	猩紅熱	四六 並製 48	金原商店	八月
内田 三郎	猩紅熱	四六 並製 48	金原商店	八月
千太郎	猩紅熱	四六 並製 68	金原商店	八月
松井 太郎	食道癌の診断に就て	四六 並製 13	金原商店	十月
八木日出雄	新産兒死亡と其の対策	四六 並製 55	金原商店	十月
杉田 直樹	精神病「インシュリン」 衝擊療法	四六 並製 50	金原商店	四月
石田 準美	大腸菌中毒症と其療法	四六 並製 58	金原商店	五月
青木 大勇	丹毒と其の治療の實際	四六 並製 67	金原商店	五月
松井 太郎	直達検査法	四六 並製 34	金原商店	八月
南崎 雄七	乳兒死亡問題と是が対策	四六 並製 60	金原商店	六月
楠 五郎雄	尿の診断と豫後	四六 並製 46	金原商店	七月

パンフレット(醫學・衛生・運動・趣味・娛樂)

六六六

運動・趣味・娛樂

柳家金語樓	金語樓の落語	四六 並製 150	昭和書房	四月
武岡秀三編	醫界花形樂屋ばなし	四六 並製 132	昭和書房	十月
潮越 憲作	攻合とナカカ手	四六 並製 108	日本棋院	十月
私社の手	攻合とナカカ手	三六 並製 156	私の手帖社	四月
大日本料理 研究会編	世界各國食べある記	四六 並製 115	料理之友社	三月
日本陸上競 技聯盟編	體力章檢定合格の早道	四六 並製 94	東文書院	九月
松本 操一	本下産科婦人科圖書 妊婦の疾病と異常妊婦	四六 並製 76	楠山堂	十月
岩田 達	腹部膨満を主訴とする 疾患の療法	四六 並製 34	金原商店	五月
佐藤 重一	扁桃腺肥大症と アデノイド	四六 並製 59	金原商店	五月
白木 正博	胎胞状鬼胎	四六 並製 52	南山堂	七月
久保喜代二	モルヒネ・其療法	四六 並製 49	金原商店	十月
中島 實	流涙を主訴とする眼疾患	四六 並製 51	金原商店	九月

鈴木彦次郎	伸び行く巨歩	四六 並製 144	大バツク社	十月
友田 壯一	排球新書(1) 新戦法	三五 並製 131	體育評論社	九月
大日本料理 研究会編	兒童カロリー辨當	四六 並製 116	料理之友社	三月
大日本料理 研究会編	夏季飲物全集	四六 並製 114	料理之友社	六月
大日本料理 研究会編	家庭西洋料理集	四六 並製 118	料理之友社	三月
大日本料理 研究会編	家庭惣菜日本料理	四六 並製 112	料理之友社	三月
菅 子喜	小形スタイルブック	四六 並製 27	洋手藝社	七月
代 子喜	小形スタイルブック	四六 並製 27	洋手藝社	七月
藤川フク編	小形スタイルブック	四六 並製 42	洋手藝社	九月
大日本料理 研究会編	西洋菓子百種	四六 並製 118	料理之友社	三月
大日本料理 研究会編	節米料理と郷土食	四六 並製 216	料理之友社	十月
婦女界社編	洋裁服飾圖案集	四六 並製 99	婦女界社	十二月

婦人・家庭

パンフレット(運動・趣味・娛樂・婦人・家庭・圖書)

六六七

ルノワール

ヴォアラ著
成田重郎譯
價一・八〇
送一〇

武者小路實篤氏評——ヴォアラのルノワールは同じ人のセザンヌと又ちがった面白味のある本で、僕は喜んで読み、友人にも讀むことをすすめた。ルノワールが自分の過去に就いてろくろく語つてゐるのも面白く、藝術家に就て語つてゐるのも面白い。(以下略)

東京堂

(15-1)

著者	書名	形態	頁數	定價	發行所	月行
内村達三郎	アウグスチヌス懺悔録	四六	528	3.00	春秋社	九月
ウエルクス	生きるの哲学	四六	267	1.50	昭和書房	十月
土屋光司	運命の讀本	四六	438	1.80	光明思想會	八月
谷口雅春	永遠價値の生活學	布製	288	.90	光明思想會	二月
鹿島大賢	知運のお墓の建て方	洋布	153	1.50	白井書店	七月
谷口雅春	慨世血の	洋布	372	.78	光明思想會	九月
渡邊徹	本邦最初の経験的録田鵬の研究	洋布	438	5.50	中興館	七月
ケインズ	経済學の領域及方法	洋布	349	2.00	春秋社	十二月
濱田恒一	経済學の領域及方法	洋布	349	2.00	春秋社	十二月
石丸椿平	結婚の智慧	四六	337	1.00	第一書房	三月
大島豊	現代哲學の發達	上製	403	2.00	山雅房	七月
友清歡眞	古道	四六	388	1.50	山雅房	八月
友清歡眞	古道	四六	367	1.50	山雅房	八月
谷口雅春	幸福	四六	413	.78	光明思想會	十月
野村八良	國學全史	洋布	1580	13.00	有恒堂	二月
塚本哲三	國體の本義	洋布	450	1.50	有朋堂	一月
カライル	サイタア・リザタス	四六	433	2.50	春秋社	五月
柳田泉	シヨールンハウエル	上製	383	2.50	春秋社	五月
佐久間	論文集	四六	342	2.00	人文書院	九月
橋田邦彦	自然	洋布	342	2.00	人文書院	九月
橋田邦彦	自然	洋布	342	2.00	人文書院	九月
下村湖人	自己表現と奉仕	洋布	272	1.50	泰文館	六月
高橋天海	修養一日一訓	洋布	317	1.80	天泉社	十一月

普及版・改訂版・増補版(哲學)

六六九

二六

普及版・改訂版・増補版

旬刊・時局誌

創大正十五年立

月三回發行

會員組織

月三回發行・パンフレット・會員組織で
書店に出さず・會員招待講演會月數回
開催・講演局・速記部・比類なし・會則及見
本御申込次第贈呈・會費一ヶ年金拾圓

東京市日本橋區通一ノ四

東京講演會

電話日本橋(24)八番
振替東京七四八九五番

六六八

中里 介山	淺野 天心著 淺野 晃註	岡倉 天著	永野 芳夫著 アダムス	永野 芳夫著 アダムス	谷口 雅春	帆足 理一郎	石川 湧譯	帆足 理一郎	永島 眞雄	谷島 彦三郎著 ウオイルトン	中崎 辰九郎	神原 信一郎	岩部 鏡
藤樹 先生言行錄	東洋の覺醒	東洋哲學物語	東洋哲學物語	哲學の寶	哲學と人	哲學の寶	哲學の寶	哲學の寶	手相學讀本	釣魚の大意	男兒の三肚	高天原	大學及論語の思想研究
三六 199	四六 95	四六 229	四六 283	四六 271	四六 470	四六 333	四六 344	四六 242	四六 303	四六 173	四六 24	四六 638	四六 638
.90	1.50	1.60	1.60	.90	1.80	2.00	3.00	1.80	2.00	.65	2.50	4.20	
大善齋	聖文閣	アールス	アールス	光明思想會	新生堂	春秋社	新生堂	天泉社	春秋社	伊藤文信堂	同文書院	啓文社	
三月	六月	五月	四月	五月	九月	八月	六月	九月	十月	二月	四月	五月	
山崎 精華	谷口 雅春	安彦 孝次郎	モルガン著 折野 浩太郎譯	品川 義介	大木 陽堂譯	大木 陽堂譯	大木 陽堂譯	松山 悦三	谷口 雅春	谷口 雅春	井澤 誠一郎	石川 湧譯	
百萬人の哲學	百事如	人と入との	人を動かす技術	肚で	葉隠全集	葉隠全集	葉隠全集	人間乃木	人間死んでも死なぬ	日本の世界的佛命	日本名前のつけ方	讀書	
新四 316	四六 286	四六 26	四六 322	四六 233	四六 341	四六 307	四六 329	四六 145	四六 372	四六 246	四六 164	四六 217	
1.30	.90	1.20	1.50	1.30	2.00	2.00	2.00	1.00	.78	.90	1.00	1.30	
潮文閣	光明思想會	壯年社	教材社	大元社	教材社	教材社	教材社	人生社	光明思想會	光明思想會	東榮堂	春秋社	
四月	二月	十二月	八月	十月	十月	八月	六月	十月	十一月	一月	四月	五月	

普及版・改訂版・増補版(哲學)

六七一

谷口 雅春	谷口 雅春	谷口 雅春	石丸 梧平	谷口 雅春	帆足 理一郎	前田 慧雲	鎌田 研一編	谷口 雅春	谷口 雅春	松山 悦三	加藤 咄堂	淺野 彌太郎
生命の實相	生命の實相	生命の實相	生死直十	人生は心で支配せよ	人生の目的	新しい人生	人生の實相	人生必ず勝つ	人生必ず勝つ	新生の書	處世を語る	修養哲學
四六 459	四六 451	四六 437	四六 294	四六 220	四六 446	四六 519	四六 446	四六 344	四六 450	四六 128	四六 270	四六 567
1.80	1.80	1.80	1.50	2.20	1.80	1.50	1.30	.78	1.30	1.00	1.20	2.20
光明思想會	光明思想會	光明思想會	人生創造社	光明思想會	新生堂	潮文閣	第一書房	光明思想會	光明思想會	人生社	潮文閣	天泉社
四月	二月	一月	十一月	十一月	四月	三月	二月	十一月	三月	十一月	三月	十一月
石丸 梧平	安部 光榎	大槻 憲二	高橋 史光	倉田 百三	石丸 梧平	龜田 壹弘	村松 正俊譯	谷口 雅春	谷口 雅春	谷口 雅春	谷口 雅春	谷口 雅春
創造哲學概論	ソクラテス研究	精神分析概論	聖將遺訓	青春の息の真	青春の息の真	姓名學常識讀本	西洋哲學物語	生命の實相	生命の實相	生命の實相	生命の實相	生命の實相
四六 452	四六 656	四六 173	四六 305	四六 326	四六 268	四六 250	四六 462	四六 835	四六 845	四六 862	四六 471	四六 465
1.80	1.80	1.20	2.80	1.80	1.40	1.00	1.80	3.00	3.00	3.00	1.80	1.80
人生創造社	建設社	東京精神研究所	日本公論社	大東出版社	人生創造社	天泉社	アールス	光明思想會	光明思想會	光明思想會	光明思想會	光明思想會
十一月	一月	十二月	十二月	四月	六月	八月	三月	五月	二月	一月	十月	八月

普及版・改訂版・増補版(哲學)

六七〇

鈴木 大拙	大久保 道舟	境野 黄洋	蜷野 藍川	本莊 可宗	椎尾 辨匠	釋 宗演	谷口 雅春	倉田 百三	友松 圓諦	鈴木 大拙
禪學入門	道元禪師全集	日本佛教發達概観	日蓮聖人の法華經色讀史	念佛生活の論理的根據	百萬人の宗教	百萬人の宗教	辨道聽き書	法然と親鸞の信仰	法句經	無心といふこと
四六 211	洋布判 722	四六 152	四六 653	四六 228	新四 375	新四 374	布判 284	四六 505	四六 335	四六 346
大東出版社	春秋社	大東出版社	大阪屋號	大東出版社	潮文閣	潮文閣	光明思想會	大東出版社	借成社	大東出版社
月一十	月二十	月一	月一十	月一	月四	月四	月四	月一	月二	月六
上村 哲彌	井上助太郎	西 晋一郎	小野 久	三戸 監田修貞	三戸 監田修貞	三戸 監田修貞	桑原 理助	神崎 清	田制 佐重	佐々木秀一
親たるの道	新教育史綱	教育勅語衍義	近世系統的的教育史提要	修身及公民科指導講座 第一卷	修身及公民科指導講座 第二卷	修身及公民科指導講座 第三卷	初學年理科指導の要領	女學校ものがたり	女子青年期の心理と教育	小學五年生の家庭教師
四六 403	洋布判 346	和装判 140	洋布判 765	洋布判 153	洋布判 153	洋布判 154	洋布判 336	洋布判 282	洋布判 255	洋布判 800
日本兩親會	啓文社	賢文館	啓文社	中 文 館	中 文 館	中 文 館	啓文社	東海出版社	啓文社	新誠光文社
月一十	月六	月八	月十	月六	月六	月九	月四	月四	月四	月四

普及版・改訂版・増補版(宗教・教育)

六七三

加藤 一夫	新明堂編	山縣 初男	大槻 憲二	龍野 定一	谷口 雅春	上田庄三郎	杉浦 幸平	柳田 泉	舟山 同鐵	本莊 可宗	南江 堂編	標準名づけ
我等何を爲すべきか	老子の新研究	戀愛性慾の心理とその分析處置法	歴史御詔勅謹解	樂園壽還	吉田松陰	明治天皇御製と皇國精神	自由論・功利論	武士	不惑の人生	フイヒ	五テ	讀本
四六 433	四六 636	四六 238	洋布判 561	洋布判 233	布判 378	洋布判 250	四六 356	四六 226	上製 366	四六 251	四六 173	四六 173
春秋社	新明堂	大阪屋號	東京精神分析會	皇道顯揚會	普光明思想會	啓文社	藤井書店	春秋社	大東出版社	千倉書房	南江堂	婦女界社
月七	月二十	月六	月二十	月七	月一	月一	月三	月七	月六	月二	月五	月二十
後藤 大用	倉田 百三	倉田 百三	倉田 百三	谷口 雅春	小倉 鏗爾	河野 省三	鶴藤 幾太	宇井 伯壽	木村 泰賢	内村達三郎	加藤 咄堂	維摩經講
禪學新講話	絶體的生活	靜思	親覺	新佛教の發見	神道の話	神道學序説	宗教は將來何うなるか?	根本佛教概観	解脱への道	基督のまねび	維摩經講	講話
洋布判 203	上製 580	四六 324	四六 273	四六 552	布判 338	洋布判 220	四六 353	四六 182	四六 388	上製 390	洋布判 518	洋布判 518
天泉社	大東出版社	大東出版社	大東出版社	普光明思想會	錦正社	井田書店	宗教教育會	大東出版社	大東出版社	春秋社	大東出版社	大東出版社
月九	月三	月十	月九	月四	月十	月二十	月十	月一	月二	月五	月六	月六

普及版・改訂版・増補版(哲學・宗教)

六七二

久保田 清	杉本 善治郎	石森 延男	林 勇記	熊野 隆治	豊島 志雄	ドライサア 著	田中 純譯	ウツドハウス 著	同 成志譯	小島 ひさ子	近江 帆三	式場 隆三郎	ウツドハウス 著	乾信 一郎譯	イ ア リ
週刊 尋一の學級經營	資料 地理學教授精義	綴方への道	日本家事教育及教授法	みかえりの塔	アメリカの悲劇	愛犬學	愛情無	青空ホテル	赤門綺	天晴れジューブス	イ ア リ	イ ア リ	イ ア リ	イ ア リ	イ ア リ
四六 258	洋布 562	洋布 430	洋布 365	洋布 334	四六 380	四六 295	四六 243	四六 439	四六 379	四六 297	四六 580	四六 580	四六 580	四六 580	四六 580
1.50	3.80	1.80	2.80	1.80	1.50	1.30	1.30	1.30	1.50	1.30	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
版第 協一 會出	啓文 社	修文 館	啓文 社	春陽 堂	三笠書房	東成 社	三和書房	アトリエ社	山雅 房	東成 社	洛陽書院	洛陽書院	洛陽書院	洛陽書院	洛陽書院
月五	月四	月十	月十	月二十	月十	月八	月八	月十	月三	月十	月七	月七	月七	月七	月七
ドウーゼ 著	佐佐木 弘綱 著	山中 崇太郎	上田 庄三郎	邑樂 慎一	横光 利一	徳川 夢聲	山岡 莊八	横光 利一	和田 博	佐藤 光貞	武田 祐吉	水原 秋櫻子	水原 秋櫻子	水原 秋櫻子	水原 秋櫻子
生ける寶冠	伊勢物語	偉人二	傷める	歐州紀行	啞にされた音盤	からゆき軍歌	家族會	家	家	海	海	海	海	海	海
四六 290	洋布 309	洋布 379	洋布 302	洋布 191	四六 378	四六 396	四六 378	四六 378	四六 378	四六 378	四六 378	四六 378	四六 378	四六 378	四六 378
.80	2.00	1.50	1.80	1.00	1.30	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.80	1.80	1.80	1.80	1.80
博文 館	人文書院	東洋 堂	啓文 社	山雅 房	アトリエ社	博文 館	博文 館	博文 館	博文 館	博文 館	博文 館	博文 館	博文 館	博文 館	博文 館
月五	月八	月七	月六	月七	月六	月二	月二	月二	月二	月二	月二	月二	月二	月二	月二

普及版・改訂版・増補版(教育・文學)

六七四

横光 利一	火野 葦平	尾崎 紅葉	菅 竹浦	延原 謙譯	丸山 義二	鷺尾 雨工	昇 曙夢	筑紫 二郎	水野 廣徳	黒豹 介譯	ウツドハウス 著	同 成志譯	窪田 空穂	
考へる	廣東進軍	京人	近世狂歌	クラブのキング	鉄	劍豪物	ゴリキイの生涯と藝術	航空部	此	戀の禁	戀の禁	戀人海を渡る	西行法	
四六 319	四六 237	三三 205	四六 578	四六 306	四六 203	四六 320	四六 229	四六 220	四六 674	四六 300	四六 297	四六 297	四六 297	
1.50	1.00	.90	3.80	.80	1.50	1.50	1.4	1.20	2.80	1.30	1.30	1.30	1.30	
創元 社	新潮 社	テンセン社	日新書院	博文 館	教材 社	春秋 社	青樹 社	潮文 閣	潮文 閣	東成 社	東成 社	東成 社	厚生 閣	
月七	月四	月四	月十	月三	月十	月五	月八	月九	月五	月九	月十	月十	月三	
松山 悦三	川手 秀一	渡川 玄耳	レマルク 著	柳田 泉譯	橋 文七	ホバアト 著	麻上俊夫 譯	神田 爾山	神田 爾山	竹内てるよ	北房 雄	横光 利一	谷崎潤一郎	研究會編
西郷	財迷	三體古事	三人の仲	支那文學史	支那文學史	支那文學史	支那文學史	次郎長外傳	次郎長外傳	清水次郎長傳	清水次郎長傳	清水次郎長傳	清水次郎長傳	清水次郎長傳
四六 121	四六 300	四六 477	四六 644	四六 206	四六 466	四六 466	四六 466	四六 456	四六 373	四六 456	四六 161	四六 693	四六 552	四六 140
1.00	1.50	2.50	1.00	1.80	1.80	1.80	1.80	.90	.90	.90	.85	1.50	1.00	1.30
人生 社	謙光 社	新誠 光社	春秋 社	天泉 社	三笠書房	博文 館	博文 館	博文 館	博文 館	博文 館	第一書房	潮文 閣	創元 社	伊藤書店
月十	月二十	月九	月二	月八	月五	月一	月一	月一	月一	月一	月七	月五	月七	月八

普及版・改訂版・増補版(文學)

六七五

丸山 義二	田園交響	天の夕顔	寺の花	鐵瓶上京	鐵假面	徒然草新編	珍説忠臣蔵	父の禮帽	小さき者の力	短編集	王子を生む男	
田園交響	天の夕顔	寺の花	鐵瓶上京	鐵假面	徒然草新編	珍説忠臣蔵	父の禮帽	小さき者の力	短編集	王子を生む男	王子を生む男	
四六 243	四六 309	四六 174	四六 346	四六 266	四六 400	四六 619	四六 679	四六 412	四六 366	四六 232	四六 381	四六 270
1.80	1.20	1.30	1.50	1.50	1.30	1.50	5.50	1.30	1.30	1.20	1.70	1.30
日本公論社	第一書房	報國社	創元社	伊藤書店	アトリエ社	明文館	福村書店	アトリエ社	アトリエ社	學藝社	創元社	東成社
月七	月一	月十	月八	月九	月四	月一十	月六	月一	月六	月一	月一十	月七
安藤 信	李如雲	別院 他二氏	内山賢次譯	内山賢次譯	安岡 正篤	高村光太郎	村上 浪六	小杉 放庵	伊馬 鶴平	寺島 柁史	横光 利一	八住利雄譯
二木松少年隊	難民行	奮戰	動物	動物	童 心 殘	詩集 道	當世五人	唐詩及唐詩	東洋平和	怒	時計	トルストイ最後の日記
四六 274	四六 325	四六 709	四六 468	四六 500	四六 465	四六 314	四六 640	四六 508	四六 414	四六 531	四六 369	四六 507
1.80	1.50	2.80	2.50	2.50	2.30	2.80	1.50	3.50	1.30	1.80	1.60	2.80
厚生閣	教材社	潮文閣	白揚社	白揚社	刀江書院	山雅房	明文館	書物展望社	アトリエ社	日本公論社	創元社	栗田書店
月二十	月八	月五	月五	月三	月二	月一十	月五	月三	月三	月五	月九	月三

普及版・改訂版・増補版(文學)

六七七

加藤朝鳥譯	山中峯太郎	中山 正男	ウツドハウス	堀 秀彦	サトウハチロー	阪本 勝堂	佐々木 邦	伊東銳太郎	双雅房編	鈴木 敏也	高濱虚子編	生田 花世
祖	狼 日 第五列	戰 争 其他	專用 心の配	青春の準備	青春の音	生活の發見	世路第一歩	スパイの秘密	新装 (きもの隨筆)	新修國文學史	訂新 歳時記	純 後 純
四六 566	四六 236	四六 729	四六 312	四六 255	四六 427	四六 380	四六 318	四六 286	四六 358	四六 671	四六 805	四六 388
1.80	1.30	2.80	1.30	1.50	1.50	1.60	1.30	1.50	2.00	3.50	3.70	1.50
三笠書房	同盟出版社	潮文閣	東成社	教材社	アトリエ社	創元社	アトリエ社	日本公論社	双雅房	中文館	三省堂	道文書院
月二十	月八	月五	月七	月七	月七	月八	月七	月六	月二	月五	月三	月二十
大原 外光	野崎 小蟹	中里 介山	中里 介山	中里 介山	中里 介山	中里 介山	中里 介山	石川 達三	山田 愛劍	坂本 勝堂	波多野完治	加藤朝鳥譯
啄木の思想と生涯	代表名句集	大 著	大 著	大 著	大 著	大 著	大 著	大地と共に生き	尊	續生活の發見	創作心理學	祖
四六 241	四六 211	四六 434	四六 424	四六 657	四六 523	四六 503	四六 511	四六 230	四六 689	四六 370	四六 470	四六 545
1.50	1.80	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.20	2.50	1.60	2.80	1.80
弘文社	天泉社	刊行 會社	刊行 會社	刊行 會社	刊行 會社	刊行 會社	刊行 會社	青梧堂	潮文閣	創元社	巖松堂	三笠書房
月七	月八	月六	月五	月四	月三	月二	月一	月九	月三	月八	月一十	月二十

普及版・改訂版・増補版(文學)

六七六

小倉卯之助	森山 啓	江馬 修	子母澤 寛	佐野保太郎	藤井 寛	川田 順	宮澤 賢治	宮澤 賢治	宮澤 賢治	宮澤 賢治	乾信一郎	安武 磯喜	江馬 修	谷本 治
暴風の	北窓ひら	山の民第二部	松村金太郎	註萬葉集	註萬葉集	源實朝	宮澤賢治全集	宮澤賢治全集	宮澤賢治全集	無敵相談	無敵相談	青年名詩選	山の	山上憶良・山部赤人
四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六
282	345	332	409	793	793	350	554	482	547	314	227	340	150	
1.50	1.60	1.80	1.50	3.20	3.20	1.80	3.50	3.20	3.50	1.30	.70	2.10	1.80	
小倉中佐	教材社	飛騨學會古	博文館	福村書店	厚生閣	厚生閣	十字屋書店	十字屋書店	十字屋書店	東成社	健文社	飛騨學會古	厚生閣	
月二十	月十	月六	月八	月五	月四	月一	月十	月四	月二十	月八	月五	月六	月六	
鷲尾 雨工	鷲尾 雨工	鷲尾 雨工	川田 順	相馬 秀英	辻森 秀英	山田 愛劍	山田 潤	山田 潤	山田 潤	モオリア著	モオリア著	福田 清人	中山 正男	中山 正男
吉野朝	吉野朝	吉野朝	吉野朝	吉野朝	吉野朝	吉野朝	吉野朝	吉野朝	吉野朝	若き娘	若き娘	若き娘	若き娘	若き娘
四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六
386	446	403	340	751	751	713	485	285	348	381	353	694	313	
1.50	1.50	1.50	.78	1.80	1.80	2.50	3.00	1.30	1.50	1.50	1.50	2.80	1.50	
春秋社	春秋社	春秋社	第一書房	厚生閣	厚生閣	潮文閣	砂子屋書店	東成社	三笠書房	三笠書房	第一書房	潮文閣	潮文閣	
月一	月二	月八	月二十	月七	月三	月六	月二十	月七	月七	月七	月七	月五	月九	

普及版・改訂版・増補版(文學)

六七九

佐藤 一三	櫻井 忠温	龜井勝一郎	子母澤 寛	棟田 博	水原秋櫻子	吉田 冬葉	加藤 敏郎	猪熊敬一	眞船 豊	森田 たま	小此木禮助	廣津 和郎
日本和歌史	肉	人間教育	はればれ坊主	背	俳句の作り方と味ひ方	俳句の作り方と味ひ方	俳句の作り方と味ひ方	俳句の作り方と味ひ方	俳句の作り方と味ひ方	花	花嫁	母は護る
四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六
310	577	328	361	312	384	297	184	707	284	267	350	369
2.20	2.80	2.00	1.50	1.80	2.00	1.50	.90	2.80	1.60	1.40	1.30	1.60
天泉社	潮文閣	三笠書房	博文館	新小説社	交蘭社	交蘭社	交蘭社	交蘭社	交蘭社	竹村書店	アトリエ社	三笠書房
月一十	月五	月七	月八	月二十	月六	月八	月五	月五	月八	月一	月五	月二十
黒約介	中村草田男	澤田 謙	北村 小松	中本たか子	泰 賢助	乾信一郎	百萬人の行進	白 虎	白 虎	白 虎	白 虎	白 虎
火の	日の出の子	日の出の子	日の出の子	日の出の子	日の出の子	日の出の子	日の出の子	日の出の子	日の出の子	日の出の子	日の出の子	日の出の子
四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六
281	218	499	413	189	264	366	834	385	455	345	811	226
1.30	1.80	2.20	1.30	1.00	1.30	1.30	2.50	2.60	1.50	1.80	1.80	1.80
東成社	龍星閣	青年書房	アトリエ社	六藝社	潮文閣	アトリエ社	三學書房	朱雀書林	博文館	厚生閣	小峰書店	厚生閣
月一十	月三	月八	月二	月五	月一	月四	月八	月二十	月六	月五	月六	月二十

普及版・改訂版・増補版(文學)

六七八

高橋 親城	高橋 福雄	藤原 豊	吉田 監修	實藤 惠秀	鈴木 信次郎	小串 任編	小串 任編	次郎 山編	藤原 豊	栗津 清達	藤原 豊
現代書翰文寶典	警句と名言	軍人手紙文	入文机上辞典	漢文から時文へ	完全佛蘭西語	活用ロシヤ語	活用ロシヤ語	送假名字典	ABCから會話まで	ABCから會話まで	慰問の手紙
洋布四六 506	洋布四六 198	洋布三五 261	洋布三五 232	洋布四六 201	洋布四六 356	洋布四六 447	洋布四六 330	洋布三五 188	洋布四六 294	洋布四六 225	洋布三五 269
2.20	1.20	.90	.70	1.80	1.80	2.00	1.80	.70	1.20	1.20	.90
天泉社	桑文社	天泉社	潮文閣	三修社	太陽堂	哈爾濱堂	哈爾濱堂	東榮堂	天泉社	潮文閣	天泉社
月十	月一十	月九	月一	月六	月一	月五	月五	月四	月七	月七	月九
千代田	松村 寛	松平 俊夫	松平 俊夫	松平 俊夫	高橋 盛男	片岡 彦一郎	佐藤 通次編	佐藤 通次編	上野 光次郎	正富 謹治	六人社編
新編	新聞英語の読み方	新文章	新文章	新文章	商業英語通信文の例と練習	小獨逸文	女子慰問文	初等獨逸文	初年生の支那語	祝賀弔祭文章	字引
洋布四六 527	洋布三六 443	洋布四六 174	洋布四六 150	洋布四六 160	洋布四六 815	洋布四六 106	洋布三五 293	洋布四六 278	洋布四六 301	洋布四六 327	洋布寸珍 510
2.50	2.00	1.50	1.50	1.50	4.00	1.00	1.20	1.80	1.80	1.50	.50
栗田書店	タイム社	潮文閣	潮文閣	潮文閣	太陽堂	南江堂	テンセン社	南江堂	太陽堂	三笠書房	六人社
月四	月五	月九	月九	月九	月七	月一十	月三	月五	月五	月七	月十

普及版・改訂版・増補版(語學)

六八一

磯 伊之助	上田 恭輔	波多野 乾一	淺野 邦夫編	森口 多里編	野崎 誠近	田村 しげる	淺野 邦夫編	北川 鐵夫	石井 柏亭	曾宮 吾郎	大江 賢次
新作洋畫	支那陶磁の諸考	支那劇大観	最近カメラ講義	ゴヂツク彫刻	吉祥圖案解題	簡易作曲法	映畫用語辭典	油繪の實技	油繪・水彩畫・素描の描き方	美術・音樂・演劇	我らの友
洋布四六 10	洋布四六 384	洋布四六 428	洋布四六 132	洋布四六 106	洋布四六 708	洋布四六 190	洋布四六 205	洋布四六 144	洋布四六 164	洋布四六 156	洋布四六 420
2.00	3.50	4.80	1.30	2.00	12.00	1.80	1.30	1.00	1.90	1.50	1.30
アトリエ社	大東出版	大東出版	平原社	アトリエ社	平凡社	新興音楽社	第一藝文社	アトリエ社	アトリエ社	弘文堂	春陽堂
月三	月十	月十	月一	月三	月六	月二十	月二	月一十	月八	月二十	月一
1 シンフォニー	藤本 三編	大和 喜榮	樺島 勝一	宮田 東峰編	宮田 東峰	小泉 久雄	原田 道寛	清水 孝教	原田 道寛	黒田 重太郎	岡田 三郎助
私の愛唱	良寛道	用器畫	ペン畫の描き方	ハーモニカ名曲全集	ハーモニカ獨習	日本刀の近代的研究	日本刀私談	刀劍實證鑑定法	大日本刀劍史	素描・色彩の研究	新作洋畫
洋布四六 173	洋布四六 109	洋布四六 276	洋布四六 101	洋布四六 249	洋布四六 149	洋布四六 388	洋布四六 373	洋布四六 561	洋布四六 648	洋布四六 254	洋布四六 371
.40	2.50	2.50	1.40	.80	.35	12.00	1.60	5.00	10.00	3.30	1.70
アトリエ社	アトリエ社	國民教育會	弘文社	新興音楽社	新興音楽社	小泉家	春秋社	太陽堂	春秋社	崇文堂	平原社
月三	月六	月一十	月九	月二十	月二十	月三	月五	月六	月六	月十	月一

普及版・改訂版・増補版(文學・美術・音樂・演劇)

六八〇

加藤 謙	三郎 倉山	奈良 一雄	厚生 開編	厚生 開編	厚生 開編	堀井 仁	南江 堂編	上村 清延	村田 正太	木田 重三郎	小倉 進平	編輯所
僕の英語辭典	日滿支會話	日本現代文章講座	日本現代文章講座	日本現代文章講座	日支會話五十日	獨逸文法教科書	獨逸語獨修	手紙上達秘訣	朝鮮語學	新明解英和辭典	新明解英和辭典	三省堂
洋布 292	洋布 898	洋布 257	洋布 408	洋布 403	洋布 432	洋布 174	洋布 1308	洋布 202	洋布 623	洋布 242	洋布 718	洋布 800
1.80	1.50	2.00	2.00	2.00	2.00	.50	5.00	1.80	5.00	1.00	7.50	1.90
日昭館	日昭館	尙文堂	厚生閣	厚生閣	厚生閣	大阪屋號	南江堂	南江堂	吐鳳堂	大同出版社	刀江書院	三省堂
三月	五月	五月	七月	八月	八月	六月	二月	四月	四月	一月	八月	五月
市村其三郎	原田光三郎	挾間 祐行	山崎 一芳	風間 卓	協會教育編輯	白柳 秀湖	荒 鴛 母	金田一京助	大西 雅雄	除村吉太郎	外村史郎編	外村史郎編
佐久良東雄先生遺墨	兒島 惟 謙	此の久原房之助	久原房之助	近世中華民族史	勤 王 文	維新革命前夜物語	アイヌの研究	朗 讀	ロシア語第一歩	ロシア語第一歩	ロシア語辭典	ロシア語辭典
洋布 271	洋布 272	洋布 298	洋布 354	洋布 369	洋布 628	洋布 467	洋布 316	洋布 478	洋布 295	洋布 138	洋布 302	洋布 302
1.50	1.50	1.20	2.50	3.00	2.20	1.80	2.00	1.00	2.50	1.50	2.50	2.50
出版部	刷外式會社	山海堂	東海出版社	叢文閣	育社協會	千倉書房	日本公論社	八洲書房	修文館	白水社	栗田書店	栗田書店
三月	九月	十一月	三月	一月	二月	一月	七月	十一月	五月	三月	四月	四月

普及版・改訂版・増補版(語學・歴史・傳記)

六八二

松下 奎太郎	星 健之介	後藤 末雄	清原 貞雄	北川三郎著	北川三郎著	ウエルズ著	ウエルズ著	鈴木 俊	日 本 社	論 社	永松 淺造	大川 周明	高橋 梵仙	松山 悦三
支那傳説集	支那文化の源と	支那四千年史	日本上代國民の精神生活	世界文化史大系(一)	世界文化史大系(二)	世界文化史大系(三)	世界文化史大系(四)	世界文化史大系(五)	綜合二千六百年史	大科學者傳	西住戰車長	日本二千六百年史	日本年中行事講話	人生新書(1)
洋布 337	洋布 356	洋布 350	洋布 382	洋布 866	洋布 1151	洋布 866	洋布 382	洋布 350	洋布 351	洋布 285	洋布 244	洋布 337	洋布 464	洋布 348
1.80	2.00	.78	3.50	7.00	7.00	7.00	3.50	2.00	.80	1.50	1.30	.78	2.50	1.80
刊行會	刊行會	刊行會	刊行會	刊行會	刊行會	刊行會	刊行會	刊行會	刊行會	刊行會	刊行會	刊行會	刊行會	刊行會
八月	八月	八月	八月	八月	八月	八月	八月	八月	八月	八月	八月	八月	八月	八月
松山 悦三	澤田 謙	白柳 秀湖	白柳 秀湖	白柳 秀湖	白柳 秀湖	白柳 秀湖	白柳 秀湖	白柳 秀湖	白柳 秀湖	白柳 秀湖	白柳 秀湖	白柳 秀湖	白柳 秀湖	白柳 秀湖
人間ムツソリニ	ヒツトラ	民族史	民族史	民族史	民族史	民族史	民族史	民族史	民族史	民族史	民族史	民族史	民族史	民族史
洋布 185	洋布 438	洋布 390	洋布 366	洋布 420	洋布 441	洋布 420	洋布 441	洋布 420	洋布 441	洋布 420	洋布 441	洋布 420	洋布 441	洋布 420
1.20	1.50	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70
人生社	講談社	千倉書房	千倉書房	千倉書房	千倉書房	千倉書房	千倉書房	千倉書房	千倉書房	千倉書房	千倉書房	千倉書房	千倉書房	千倉書房
十月	十月	十月	十月	十月	十月	十月	十月	十月	十月	十月	十月	十月	十月	十月

普及版・改訂版・増補版(歴史・傳記)

六八三

永田善三郎	若木 禮譯	ルイス著	高橋武英著	クラウツキ著	伊東銳太郎	田中 正明	創元社編	創元社編	創元社編	大村幸夫著	池崎 忠孝	西川光二郎	創元社編
大権内閣	屬領統治	ソ聯の秘密室	前議會の後記	戰時外交秘話	聖	政治軍事篇(一)	政治軍事篇(二)	政治軍事篇(三)	成功の法則	新支那	社會奉仕の仕方	社會奉仕の仕方	社會奉仕の仕方
再版	再版	再版	再版	再版	再版	再版	再版	再版	再版	再版	再版	再版	再版
46	214	258	165	311	347	434	524	457	302	274	376	412	412
1.00	2.00	1.60	.70	1.80	1.80	2.00	2.00	2.00	1.50	1.00	1.50	2.00	2.00
啓立憲	叢文閣	人文閣	教文館	日本公論社	平凡社	創元社	創元社	創元社	教材社	明治書房	春陽堂	創元社	創元社
月八	月十	月六	月六	月七	月十	月十	月十	月十	月九	月八	月一	月十	月十
山根 菊子	谷口 雅春	關根 康喜	大橋爲次郎	加川 哲二	田中 澤二	大原社會問題研究所	外務省編	三上正毅	足立 六藏	伊東銳太郎	村上昭博	中野 正剛	中野 正剛
光りは東方より	驚進日本の心と力	廢品回収及更生品普及	日本の方	日本國家主義の發展	日本改造の具體案	チス獨逸の經濟的發展	ナチス及ファシストの國家觀	獨逸の統制政策	東洋は血の息ひがする	ドイッ	ドイッ	魂を吐	魂を吐
再版	再版	再版	再版	再版	再版	再版	再版	再版	再版	再版	再版	再版	再版
46	331	203	119	543	197	173	118	322	396	254	323	312	312
1.50	.78	.80	.60	2.80	1.20	2.30	1.00	2.50	1.50	1.80	1.70	.90	.90
世日界本	普光明思想會	成史書院	新小説社	慶應書房	養正時評社	栗田書店	際日會	今題社	湖文閣	日本公論社	富山房	振東社	振東社
月二十	月九	月四	月七	月九	月二十	月九	月一十	月十	月三	月七	月七	月二十	月二十

普及版・改訂版・増補版(政治・社會)

六八六

奥野 健一	大岡健一郎	桑田 修	加藤 直士	藤岡 淳吉	三好武二譯	森崎 善一	頭本 元貞	高田 保馬	大村幸夫譯	フランセス
株式會社	株式會社	株式會社	株式會社	株式會社	株式會社	株式會社	株式會社	株式會社	株式會社	株式會社
改訂四版	改訂四版	改訂四版	改訂四版	改訂四版	改訂四版	改訂四版	改訂四版	改訂四版	改訂四版	改訂四版
536	679	610	313	138	625	238	150	333	290	290
5.00	5.50	3.80	1.50	.60	3.80	1.20	1.00	2.20	1.50	1.50
巖松堂	巖松堂	テンセン社	東洋經濟社	新興亞社	借成社	千峰書房	ヘラルド社	千倉書房	教材社	教材社
月五	月十	月二	月九	月二十	月四	月八	月三	月三	月九	月九
長場 正利	遊佐 慶夫	柳川勝二著	政府纂輯	編輯部編	尾山萬次郎	熊谷 憲一	清水 玄	馬屋原成男	牧野 英一	小泉 英一
商法	商法	商法	宗教團體法	國家總動員法	現行書式大全	健康保險法	健康保險法	經濟統制法令	刑事訴訟法	刑法
改訂五版	改訂五版	改訂五版	改訂五版	改訂五版	改訂五版	改訂五版	改訂五版	改訂五版	改訂五版	改訂五版
310	216	131	198	313	464	732	792	284	226	657
3.00	1.10	1.00	1.00	2.70	2.80	3.80	5.80	1.80	5.50	3.00
巖松堂	巖松堂	巖松堂	中央社	有斐閣	日本評論社	テンセン社	巖松堂	日本評論社	久野書店	有斐閣
月一	月四	月五	月三	月四	月三	月六	月一	月二十	月七	月十

普及版・改訂版・増補版(政治・社會・法律)

六八七

長尾 義三	勝 正憲	木村 孫八郎	小汀 利得	安兵衛 衛	北澤 新次郎	山崎 靖純	山崎 覺次郎	勝田 貞次	海軍 研究所	郡司 信雄
金 融 要 論	企 業 と 租 税	株 式 の 基 礎 智 識	株 式 と 相 場 の 知 識	株 式 會 社 の 常 識	各 國 統 制 經 濟 の 研 究	外 國 爲 替 讀 本	貨 幣 銀 行 問 題	イ ン フ レ ー シ ョ ン 來 り な ば	ポ ケ ッ ト 海 軍 年 鑑	拳 闘 年 鑑
洋布 裝入判 258	洋布 裝入判 328	洋布 裝入判 372	洋布 裝入判 291	洋布 裝入判 317	洋布 裝入判 485	洋布 裝入判 395	洋布 裝入判 653	洋布 裝入判 248	洋布 裝入判 151	洋布 裝入判 103
2.30	1.80	2.30	1.50	1.20	4.20	2.20	6.50	1.60	3.00	1.00
叢 文 閣	千 倉 書 房	一 元 社	天 泉 社	千 倉 書 房	千 倉 書 房	出 立 命 部 館	有 斐 閣	春 秋 社	海 軍 研 究 所	ガ セ ッ ト 社
月 五	月 十	月 四	月 八	月 四	月 六	月 六	月 三	月 二	月 六	月 二
湖 見 三 郎	小 川 郷 三 郎	伊 藤 好 道 譯	郡 菊 之 助	川 端 巖	小 池 金 之 助	森 文 三 郎	太 田 正 孝	創 元 社 編	創 元 社 編	創 元 社 編
財 政 學	國 防 經 濟 論	工 場 經 營 統 計	工 業 組 合 經 營 論	工 業 組 合 解 說	經 濟 統 計 再 版 論	經 濟 戰 の 構 成	經 濟 産 業 篇 (三)	經 濟 産 業 篇 (二)	經 濟 産 業 篇 (一)	經 濟 學 研 究 の 基 礎
洋布 裝入判 638	洋布 裝入判 370	洋布 裝入判 376	洋布 裝入判 379	洋布 裝入判 581	洋布 裝入判 143	洋布 裝入判 260	洋布 裝入判 454	洋布 裝入判 409	洋布 裝入判 491	洋布 裝入判 719
4.80	2.30	1.80	3.20	4.80	2.00	1.30	2.00	2.00	2.00	2.50
有 斐 閣	萬 里 閣	千 倉 書 房	森 山 書 店	出 昭 和 圖 書 部	叢 文 閣	東 海 出 版 社	創 元 社	創 元 社	創 元 社	千 倉 書 房
月 六	月 一	月 三	月 三	月 六	月 二	月 三	月 十	月 十	月 十	月 四

普及版・改訂版・増補版(統計・年鑑・要覽・名簿・財政・經濟)

六八九

末川 博編	協滿 會 編	竹内 甲子三郎	柿沼 三郎	尾山 萬次郎	三浦 義道	三浦 義道	黒川 眞前	勝柳 修昌	富谷 金太郎	谷口 壽太郎	勝 正憲編	桑田 修	尾山 萬次郎	尾山 萬次郎
法 全	滿洲 帝 國 法	法 令 要 義	法 規 書 式 總 覽	日 本 強 制 執 行 總 論	日 本 強 制 執 行 總 論	日 本 強 制 執 行 總 論	日 本 強 制 執 行 總 論	日 本 強 制 執 行 總 論	日 本 強 制 執 行 總 論	日 本 強 制 執 行 總 論	日 本 強 制 執 行 總 論	日 本 強 制 執 行 總 論	日 本 強 制 執 行 總 論	日 本 強 制 執 行 總 論
洋布 裝入判 1573	洋布 裝入判 667	洋布 裝入判 655	洋布 裝入判 935	洋布 裝入判 425	洋布 裝入判 226	洋布 裝入判 823	洋布 裝入判 195	洋布 裝入判 1213	洋布 裝入判 227	洋布 裝入判 218	洋布 裝入判 218	洋布 裝入判 218	洋布 裝入判 218	洋布 裝入判 437
2.40	3.80	5.00	4.80	1.80	1.80	.78	.55	8.00	2.00	1.80	1.50	1.50	1.50	1.50
岩 波 書 店	法 滿 洲 會 社	南 山 堂	天 泉 社	巖 松 堂	巖 松 堂	中 文 館	文 精 社	平 凡 社	テ ン セ ン 社	天 泉 社	天 泉 社	天 泉 社	天 泉 社	天 泉 社
月 三	月 十	月 八	月 十	月 七	月 八	月 八	月 二	月 十	月 八	月 二	月 十	月 七	月 十	月 七
鳥 田 孝 一	佐 賀 亦 男	中 川 守 之 郎	矢 橋 三 子 雄	貫 洞 守 良	津 田 孝 夫	北 村 小 松 編	筑 波 美 夫	水 谷 博	三 上 卯 之 介	繪 と 文 の 現 地 だ よ り	軍 事 ・ 交 通	軍 事 ・ 交 通	軍 事 ・ 交 通	軍 事 ・ 交 通
陸 運 問 題 研 究	飛 行 機 構 造	世 界 十 大 戰 争 を 観 る	自 動 車 の 實 際 知 識	自 動 車 精 解	自 動 車 精 解	自 動 車 精 解	自 動 車 精 解	自 動 車 精 解	自 動 車 精 解	自 動 車 精 解	自 動 車 精 解	自 動 車 精 解	自 動 車 精 解	自 動 車 精 解
洋布 裝入判 466	洋布 裝入判 348	洋布 裝入判 317	洋布 裝入判 620	洋布 裝入判 108	洋布 裝入判 559	洋布 裝入判 271	洋布 裝入判 287	洋布 裝入判 92	洋布 裝入判 192	洋布 裝入判 1243	洋布 裝入判 911	洋布 裝入判 911	洋布 裝入判 911	洋布 裝入判 911
4.80	3.50	3.50	2.20	.60	2.70	1.40	2.30	1.00	1.30	4.20	2.00	2.00	2.00	2.00
式 九 會 社	丸 井 書 店	丸 井 書 店	潮 文 閣	青 自 年 動 車 社	天 泉 社	東 海 出 版 社	知 進 社	平 原 社	出 軍 用 圖 書 社	巖 松 堂	平 凡 社	平 凡 社	平 凡 社	平 凡 社
月 九	月 十	月 十	月 三	月 十	月 十	月 十	月 六	月 三	月 十	月 五	月 三	月 三	月 三	月 三

普及版・改訂版・増補版(法律・軍事・交通)

六八八

普及版・改訂版・増補版(商業・工業)

三島 徳七	前田 松韻	酒井 重蔵	野口 尙一	丹羽 重光	日本機械學會編輯	多賀 節重	永雄 節重	杉江 重誠	津田 次作	小久保 次郎	小菅 敏郎	齊藤榮三郎
金屬材料	近世住宅	機械工作實務(3) 鉗工作業及フライス削り作業	機械學・機械力學	機械學	機械工学便覧	起重機・鐵道車輛	起重機	改訂版	新編 物常識	改訂版 アルミニウムの性質及び用途	貨借對照表分析論	戰時中小商業者の生きる道
洋布判六 234	洋布判六 374	菊判 92	洋布判六 266	洋布判六 325	洋布判六 2287	洋布判六 146	洋布判六 367	洋布判六 472	洋布判六 352	洋布判六 264	洋布判六 250	洋布判六 467
3.50	3.50	1.20	3.50	3.00	11.00	3.50	4.50	4.50	5.50	2.50	2.50	2.50
アルス	吉田工務部	有象堂	アルス	式善社	日機株式會社	アルス	共立社	杉山書店	内田老鶴園	高陽書院	伊藤書店	伊藤書店
月三	月二	月一十	月一十	月七	月七	月一十	月六	月一	月九	月九	月四	月四
酒井 重蔵	沖原他二氏	三枝 彦雄	森山藤吉郎	小川芳太郎	黒田 吉郎	山崎 長節	小林 久平	小野 鑑正	山本 他二氏	北川 茂春	酒井 重蔵	藤原銀次郎
製圖及び測定器具	水力學・水車・唧筒	新電	新合成樹脂の研究	蒸氣機關・船用機	實用無線	實地測量	酸性白土	材料力學	交流理論・光電管・X線	光學硝子の精密加工	工業日本精神	工業日本精神
上製 114	洋布判六 318	洋布判六 305	洋布判六 188	洋布判六 380	洋布判六 770	洋布判六 454	洋布判六 451	洋布判六 590	洋布判六 264	洋布判六 320	洋布判六 100	洋布判六 312
1.20	3.50	5.00	6.80	4.00	4.80	3.80	6.00	8.50	3.50	4.50	1.20	1.00
有象堂	アルス	内田老鶴園	東榮社	アルス	日機株式會社	中央工學會	式善社	式善社	アルス	河出書房	有象堂	日本評論社
月一十	月五	月二十	月一十	月二	月八	月一十	月六	月四	月六	月一十	月一十	月三

普及版・改訂版・増補版(財政・經濟・商業)

立田 信夫	白崎恒太編	白柳 秀湖	小島 精一	深井 英五	大野 信夫	大野 信夫	小島 精一	永住道雄譯	前馬 治一	藤原銀次郎	横田 春吉	太田 哲三
日本産業組合論	日本國勢圖	日本經濟革命史	ナチス統制經濟讀本	戰時統制經濟新講	戰時統制經濟新講	戰時統制經濟新講	世界經濟の常識	世界經濟恐慌史	商業經濟學入門	事業學・人間學	資源支那大觀	財務諸表準則解説
洋布判六 352	洋布判六 450	洋布判六 566	洋布判六 300	洋布判六 442	洋布判六 405	洋布判六 375	洋布判六 325	洋布判六 206	洋布判六 433	洋布判六 283	洋布判六 128	洋布判六 396
2.80	2.00	2.20	2.00	4.50	3.20	3.00	1.20	2.50	2.20	1.40	2.80	3.00
叢文閣	國勢社	千倉書房	千倉書房	千倉書房	一元社	一元社	千倉書房	慶應書房	千倉書房	問今社	東亞經濟研究所	高陽書院
月二	月十	月二	月十	月六	月五	月一	月二十	月一十	月一	月五	月一十	月九
門多 榮男	平野 常治	齊藤榮三郎	尾山萬次郎	有田 二郎	根岸 正一	新田 金司	伊藤鐵之助	佐藤 孝一	黒澤 清會	山口 茂	松崎敏太郎	松崎敏太郎
新商業組識論	新商業組識論	商業	重役株主用書式大全	廣告心理學	銀行簿記	銀行經營論	社會設立案內	會計學教材	會計學	流通經濟の貨幣的機構	滿洲產業經濟論	滿洲產業經濟論
洋布判六 167	洋布判六 264	洋布判六 467	洋布判六 425	洋布判六 386	洋布判六 291	洋布判六 344	洋布判六 1192	洋布判六 107	洋布判六 665	洋布判六 455	洋布判六 405	洋布判六 380
1.70	2.60	2.50	3.00	2.20	2.50	1.80	9.80	1.30	5.50	4.00	3.80	3.80
天泉社	時潮社	伊藤書店	天泉社	天泉社	叢文閣	千倉書房	松山房	巖松堂	千倉書房	巖松堂	叢文閣	叢文閣
月八	月三	月七	月十	月一十	月四	月六	月七	月四	月六	月一十	月三	月三

石本己四雄	松島種美	阿部良夫	近藤方章	緒方龍章	内藤多喜夫 松野俊雄	理科					中山文一	大島甚三郎	印貞植	静田均	柳田國男	谷本總次郎	谷本保夫	中村光義
科學への道	科學の教室	科學雜誌	化學實驗操作	化學實驗操作	英文化學讀本	理科					蔬菜栽培要訣	竹林の仕立て方	朝鮮の農業機構	日本農業經濟論	日本農民史	蜜蜂の飼ひ方	山羊の飼ひ方	
四六 253 1.30	四六 424 2.00	四六 177 1.30	三三 449 7.00	三三 145 1.30	四六 145 1.30						四六 211 1.20	四六 220 2.20	三三 350 3.50	三三 458 3.80	三三 186 1.20	三三 173 1.20	三三 397 2.50	
柁谷書院	忠誠館	岩波書店	南江堂	南江堂	南江堂						泰文館	天泉社	白揚社	嵐松堂	刀江書院	泰文館	春陽堂	
月三	月五	月八	月十	月五							月九	月八	月四	月六	月二	月十	月二十	
近藤耕藏	石本己四雄	山本一清	渡邊敏夫	山崎榮作	近藤 鷲	山崎榮作	竹内 潔	田所哲太郎	中村左衛門	村內三郎	山本一清	村上忠敬	吉田九一	高橋廣治	伊藤兆司	高橋廣治	高橋廣治	高橋廣治
新家庭物理提	學人學	觀測機械と天文臺	高等經濟數學	高等代數學	高等物理學	高等物理學	高等物理學	高等物理學	高等物理學	高等物理學	高等物理學	高等物理學	高等物理學	高等物理學	高等物理學	高等物理學	高等物理學	高等物理學
四六 327 3.00	四六 198 1.20	三三 272 2.30	三三 298 4.50	三三 433 4.80	三三 432 6.50	三三 679 4.00	三三 432 4.00	三三 519 5.00	三三 157 2.50	三三 580 9.00	三三 108 1.20	三三 300 3.80	三三 103 1.00	三三 404 2.50	三三 255 3.00	三三 328 1.00	三三 103 1.00	三三 510 5.50
啓文社	柁谷書院	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣
月九	月四	月十	月六	月七	月六	月二十	月四	月八	月六	月四	月五	月四	月十	月五	月十	月十	月十	月六

普及版・改訂版・増補版(農業・理科學・數學)

六九三

大賀 惠二	上田 輝雄	山北藤一郎	岡本 赴	大橋 房徳	磯野達一郎	庄司 務	高橋 幸太郎	大賀 幸太郎	瓜生 康一	平井富三郎	酒井 重蔵	瀨藤 象二	萩口 良太	及川 正徳	送電・配電・屋内配電
傳熱理論・工業熱力学	電氣機械構成學	電氣機關車の作り方	電氣熔接總論	同期機械・變壓器・同期發電機	變電所・電動力應用	標準工業分析	鐵鋼統制	鐵鋼統制	鐵筋コンクリート計算法	手仕上作業及び旋盤作業	直流及交流・整流子機	長期戦と物産	送電・配電・屋内配電	送電・配電・屋内配電	送電・配電・屋内配電
四六 292 3.50	四六 425 8.50	四六 312 1.50	四六 142 1.30	四六 343 4.00	四六 300 3.00	四六 300 3.00	四六 274 1.60	四六 274 1.60	四六 329 2.80	四六 93 1.20	四六 324 3.50	四六 224 1.80	四六 434 4.00	四六 434 4.00	
アールス	アールス	アールス	アールス	アールス	アールス	アールス	アールス	アールス	アールス	アールス	アールス	アールス	アールス	アールス	
月八	月六	月七	月二	月十	月五	月三	月七	月七	月十	月十	月十	月七	月九	月九	
岩槻 信治	新美 信太	大石 俊雄	松田 秀雄	吉村 九一	高橋 廣治	伊藤 兆司	高橋 廣治	高橋 廣治	西田 竹治	磯野達一郎	保岡 勝也	國友 孝編	國友 孝編	國友 孝編	
家畜内科学	草苜栽培の實際	軍犬之眞價	實用農産製造法	植民地農業	植民地農業	植民地農業	植民地農業	植民地農業	我家の知識	我家の知識	我家の知識	我家の知識	我家の知識	我家の知識	
四六 561 7.00	四六 114 1.00	四六 510 5.50	四六 103 1.00	三三 328 1.00	三三 255 3.00	三三 328 1.00	三三 103 1.00	三三 510 5.50	三三 538 3.80	三三 385 4.00	三三 188 2.20	三三 168 1.50	三三 168 1.50		
賢文館	南江堂	泰文館	泰文館	泰文館	泰文館	泰文館	泰文館	泰文館	須原屋	アールス	鈴木書店	第一書院	第一書院	第一書院	
月二十	月五	月七	月六	月十	月十	月十	月十	月十	月十	月八	月五	月九	月九	月九	

普及版・改訂版・増補版(工業・農業)

六九二

西成市監修 伊藤元畫	西成市監修 伊藤元畫	加川哲夫編	佐藤清	大野章三	皆見省吾	野村瑞城	山本一郎編	山本一郎編	朝日奈泰彦 他三氏	坂本恒雄建	坂本恒雄建	吉入澤修
標準人體解剖圖 再版第二表	標準人體解剖圖 再版第一表	標準醫學辭典 增補十一版	色病理解習圖譜 增補六版	病理學 訂正六版	皮膚病徵 改訂二版	皮膚白癩と夜船閑話 五十版	分鏡り馬い日本藥劑要義 新訂版	分鏡り馬い日本藥劑要義 改訂二版	訂正日本藥局方註解 改訂六版	內科 改訂七版	內科 改訂七版	改訂六版 第三卷
洋布三三 509	洋布三三 509	洋布三三 1016	洋布三三 206	洋布三三 599	洋布三三 694	洋布三三 194	洋布三三 187	洋布三三 187	洋布三三 1502	洋布三三 818	洋布三三 792	洋布三三 629
8.00	8.00	7.00	6.50	8.00	18.00	1.50	1.20	1.20	20.00	12.00	12.00	8.00
南江堂	南江堂	南山堂	南江堂	南江堂	南山堂	人文書院	東秀堂	東秀堂	南江堂	南山堂	南山堂	南山堂
二月	二月	一月	五月	九月	七月	九月	六月	七月	七月	四月	二月	二月
笠原道夫	郷見太郎	筒井八百珠 筒井德光訂	筒井八百珠	宮澤孝	小林芳人	森島庫太	杉井善雄	秀太郎・編木初夫 片島正命・川畑	前田和三郎	小南又一郎	安藤畫一	安藤畫一
臨牀小兒科 增訂五版	臨牀検査技術 增訂二版	臨牀醫學 增訂四十二版	臨牀醫學 增訂四十二版	豫診問答 第三版	藥理學實習講義 增訂三版	藥物 改訂二十二版	藥品檢査 改訂二版	新藥種商受驗全書 增訂六版	前田整形外科 增訂三版	用法醫學 第二版	婦人科 增訂六版	婦人科 增訂七版
洋布三三 509	洋布三三 156	洋布三三 1086	洋布三三 1082	洋布三三 208	洋布三三 279	洋布三三 631	洋布三三 84	洋布三三 1077	洋布三三 638	洋布三三 280	洋布三三 378	洋布三三 397
3.00	2.00	7.50	7.50	1.50	3.50	9.00	2.20	4.50	12.00	3.00	10.00	9.00
克誠堂	克誠堂	南江堂	南江堂	南江堂	南江堂	南江堂	南江堂	南江堂	南江堂	南江堂	吐鳳堂	吐鳳堂
二月	三月	十一月	三月	七月	五月	五月	十月	十月	十月	四月	三月	九月

普及版・改訂版・増補版(醫學・衛生)

六九七

加藤元一	山下順一郎著 朝比奈孝雄訂	藤井暢三	上林豊明	佐々康平	下平文柳	浦西良治	一進改訂篤	星川長之助	市原硬	益井翁	三浦倍榮	山本康裕
生	生	生化學實驗法 訂正二版	皮膚科 改訂七版	腎臟疾患之病理及療法 訂正八版	人體の解剖及生理 訂正七版	訂正人體解剖實習 訂正九版	新撰解剖學 第二卷 改訂九版	新看護婦試験問題答案集 第二版	新醫學化學提要 第二版	診斷と治療 八十版	神經病診斷治療學 二版	小兒科の檢討 第五版
洋布三三 509	洋布三三 539	洋布三三 324	洋布三三 235	洋布三三 636	洋布三三 332	洋布三三 318	洋布三三 640	洋布三三 362	洋布三三 309	洋布三三 690	洋布三三 296	洋布三三 220
8.00	6.50	7.00	3.50	7.00	1.80	6.00	11.00	1.50	5.00	2.80	4.00	2.30
南江堂	南江堂	南山堂	南江堂	南江堂	吐鳳堂	南江堂	南江堂	金原商店	金原商店	學藝社	鳳鳴堂	南江堂
四月	十月	六月	十月	十一月	六月	十一月	九月	九月	三月	九月	六月	十月
島瀧隆三	式場隆三郎	小林九一編 寺島文二郎訂	眞保紀一	オー・デー! ズ	山本康裕	緒方章	緒方章	丸井清泰	北村直躬	加藤元一	加藤元一	加藤元一
鳥瀧外科學 改訂四版	天才の發見 普及版	調劑術講義 改訂二十四版	注射藥調製法 增訂二版	正しい性教育 改訂版	續小兒科の檢討 第二版	臟器藥品化學 講義 第五版	臟器藥品化學 上卷 第五版	精神病 二學	明生 五學	生 改訂十三版	生 卷學	生 改訂十二版
洋布三三 609	洋布三三 467	洋布三三 415	洋布三三 514	洋布三三 496	洋布三三 247	洋布三三 569	洋布三三 367	洋布三三 619	洋布三三 379	洋布三三 585	洋布三三 585	洋布三三 509
11.00	1.70	5.00	7.00	2.00	2.50	5.00	7.00	8.00	6.00	8.00	8.00	8.00
南江堂	山雅房	南江堂	南山堂	教文館	南江堂	南江堂	南江堂	金原商店	金原商店	南江堂	南江堂	南江堂
四月	九月	四月	三月	四月	十月	六月	十月	四月	四月	九月	一月	九月

普及版・改訂版・増補版(醫學・衛生)

六九六

土居市太郎	野崎小蟹	兩角政人	高橋義雄	富永堅吾	萩原四郎	和田實	藤井尙久	樋口助弘	清水直太郎	谷村忠保	中川嘉志馬	上條秀介
將棋實戰	趣味のつり	最近のスケイティング	茶道讀本	學生劍道の粹	映畫浪曲傑作集	圍碁定石	Mittel und präparate zurinjektion. 第三版	レントゲン手技	白木・清水・レントゲン量算(6)	臨牀皮膚科	臨牀斷學	臨牀斷學
洋布四六 208	洋布四六 424	洋布四六 314	洋布四六 276	洋布四六 321	洋布四六 220	洋布四六 235	洋布四六 203	洋布四六 326	洋布四六 165	洋布四六 400	洋布四六 449	洋布四六 450
1.50	1.20	1.50	1.50	1.90	.80	1.00	2.70	6.50	3.50	4.50	4.50	4.50
博文館	清教社	朋文堂	出版部	慶文堂	新興香社	大同出版社	金原商店	金原商店	南江堂	克誠堂	克誠堂	克誠堂
月七	月二	月二十	月九	月二	月二十	月八	月二	月八	月七	月二	月一十	月一十
友主社編之	小島六郎	野口源三郎	吉井重雄	研究會編	東京博	水谷博	東京小學校	平部	道木編著	土居市太郎	土居市太郎	土居市太郎
生花と茶の湯	わかり易いスキ1術	陸上競技指導法	の初めに麻雀の早わかり	テニス上達法	釣場案内解説地圖	水泳讀本	スキ1とスケ1ト	神刀流劍舞道圖解	將棋嵌手讀本	將棋實戰	將棋實戰	將棋實戰
洋布四六 350	洋布三六 253	洋布四六 358	洋布四六 161	洋布四六 408	洋布四六 202	洋布四六 83	洋布四六 108	洋布四六 116	洋布四六 338	洋布四六 240	洋布四六 240	洋布四六 240
1.30	1.00	3.00	1.80	1.50	1.00	.35	.40	1.00	2.00	1.50	1.50	1.50
主婦之友社	明文堂	中文館	東榮堂	泰文館	平原社	小學出版社	平原社	慶文堂	博文館	博文館	博文館	博文館
月六	月一	月十	月四	月一	月五	月七	月一	月五	月七	月七	月六	月六

普及版・改訂版・増補版(醫學・衛生・運動・趣味・娛樂・婦人・家庭)

高信映水	霜田靜志	小平久馬	川崎市	友主社編之	造賀常一	友主社編之	友主社編之	友主社編之	友主社編之	友主社編之	友主社編之	會澤芳子	中島壽夫
母の力	母の力	日本婚禮式	漬物のつけかた	實用手藝と染色	訂改高等家事物理學	毛編とレ1	家庭經營	お惣菜	お作法と美容	お容料	榮養料理讀本	榮養料理讀本	榮養料理讀本
洋布四六 458	洋布四六 327	洋布四六 287	洋布四六 160	洋布四六 350	洋布四六 397	洋布四六 350	洋布四六 382	洋布四六 382	洋布四六 350	洋布四六 382	洋布四六 180	洋布四六 345	洋布四六 345
2.50	1.50	1.80	1.00	1.30	3.50	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30	1.50	1.00	1.00
厚生閣	刀江書院	泰文館	泰文館	主婦之友社	培風館	主婦之友社	主婦之友社	主婦之友社	主婦之友社	主婦之友社	天泉社	天泉社	天泉社
月六	月三	月二	月九	月六	月十	月六	月六	月六	月六	月六	月九	月一十	月一十
友主社編之	史籍解題	簡明十進分類表並索引	和服裁縫	和服裁縫	和服裁縫	洋食と支那料理	洋食と支那料理	洋食と支那料理	洋食と支那料理	洋食と支那料理	婦人の世渡り秘訣千ヶ條	婦人の世渡り秘訣千ヶ條	婦人の世渡り秘訣千ヶ條
洋布四六 764	洋布四六 64	洋布四六 64	洋布四六 382	洋布四六 382	洋布四六 446	洋布四六 382	洋布四六 382	洋布四六 489	洋布四六 638	洋布四六 382	洋布四六 638	洋布四六 382	洋布四六 382
10.00	2.60	2.60	1.30	1.30	2.20	1.30	1.30	4.00	1.20	1.30	1.20	1.30	1.30
平凡社	業圖書會事	業圖書會事	主婦之友社	主婦之友社	天泉社	主婦之友社	主婦之友社	主婦之友社	主婦之友社	主婦之友社	主婦之友社	主婦之友社	主婦之友社
月五	月二十	月二十	月六	月六	月八	月六	月六	月六	月六	月六	月十	月六	月六

普及版・改訂版・増補版(婦人・家庭・圖書)

日記類

園藝日記(布四六判)	一、〇〇一
キングダイアリー(布三五判)	六五〇三
學生ダイアリー(布四六判)	八〇一〇
小學生日記(布四六判)	五〇一〇
國民出版社	
常用日記(布四六判)	一、三〇一
同(布三五判)	五〇〇六
同(布三五判)	五〇〇六
同(布三五判)	四〇〇六
同(布四六判)	七〇〇九
同(布四六判)	五〇〇九
同(布四六判)	六〇一四
自由常用日記(布四六判)	七五〇九
同(布三五判)	六〇〇六
常用時の日記(布四六判)	一、五〇一
同(布四六判)	七五〇一
同(布四六判)	三〇〇六

同(地四六判)	元〇六
同(1號) (布四六判)	三三〇六
同(2號) (布四六判)	四〇〇六
自由懐中日記(布三五判)	四〇〇六
同(布三五判)	六〇〇六
農家常用日記(布四六判)	七〇一四
軍隊日記(布四六判)	六〇〇九
學生日記(布四六判)	七五〇一
女學生日記(布四六判)	七五〇一
小學生日記(布四六判)	五〇一〇
修養心の日記(布四六判)	七五〇一
新婚人日記(布四六判)	五五〇一
主婦家計日記(布四六判)	七五〇一
金銭出納帳(布四六判)	三〇〇六
同(布三五判)	一五〇六
赤ちゃん日記(布四六判)	一五〇一
愛児の歴史(布四六判)	三、五〇三
我が家の光(布四六判)	一〇、〇〇三

想出のまゝ(布四六判)	一、二〇一
筆のまゝに(布四六判)	一、三〇一
つれづれ草(布四六判)	九〇一
新常用日記(布四六判)	一、〇〇一
同(布四六判)	一、五〇一
連三ヶ年常用日記(布四六判)	一、九〇一
連五ヶ年常用日記(布四六判)	一、九〇一
連十ヶ年常用日記(布四六判)	一、三〇一
日記ひかり(布四六判)	四〇一
三省堂	
常用日記(布四六判)	一、三〇一
同(布四六判)	七〇一
同(布四六判)	六〇一
ポケット常用日記(布四六判)	一、〇〇一
自由日記(布四六判)	二、〇〇一
同(布四六判)	一、三〇一
同(布四六判)	一、三〇一

日記類

隨想(布四六判)	一、二〇一
ポケット日記(布三五判)	五〇〇六
新學生日記(布四六判)	六〇一〇
小學生日記(布四六判)	四五〇九
新女日記(布四六判)	九〇一〇
つれづれ日記(布四六判)	九〇一〇
吾児の生立(布四六判)	一、〇〇一
鐵道時報局	
鐵道日記(布三五判)	一、四〇一
電氣日記(布三五判)	一、四〇一
機械日記(布三五判)	一、四〇一
土木日記(布三五判)	一、四〇一
建築日記(布三五判)	一、四〇一
鐵山日記(布三五判)	一、四〇一
化學日記(布三五判)	一、四〇一
自動車日記(布三五判)	一、四〇一
ビジネス・ダイアリー(布三五判)	一、四〇一

右の特製分は二圓八十錢、特製用中味分のみは一圓。	
ライオン齒磨本舗	
ライオン常用日記(布四六判)	一、〇〇一
同(布四六判)	七〇一
ライオン・ダイアリー(布四六判)	四〇〇六
日本評論社	
新日記(布四六判)	一、三〇一
同(布四六判)	一、三〇一
建設社	
日記(布四六判)	一、三〇一
同(布四六判)	六〇一
同(布四六判)	六〇一
同(布四六判)	六〇一
建設社	一、〇〇一
同(布四六判)	一、〇〇一
同(布四六判)	一、〇〇一
同(布四六判)	一、〇〇一

創作(布四六判)	一、〇〇一
我が生活(布四六判)	一、五〇一
教育資料株式会社	
一日心の日記(布四六判)	一、三〇一
一週心の日記(布四六判)	六五〇九
寶文館	
その日その日(布四六判)	一、〇〇一
令女日記(布四六判)	一、〇〇一
春秋社	
軍隊日記(布四六判)	七〇〇九
健康日記(布四六判)	九〇〇九
婦人之友社	
主婦日記(布四六判)	七五〇一
家計當座帖(布四六判)	三三〇六

家計簿(昭和刊) 五二〇
 研究社
 英文日記(洋四六判) 五二〇
 主婦之友社
 家庭生活日記(布四六判) 一、三〇〇
 第一書房
 カメラ日記(布三五判) 一、〇〇六
 修養園
 向上日記(布四六判) 五二四
 弘文社
 ニコノ日記(布四六判) 一、〇〇一

グリコ株式会社
 グリコ日記(布四六判) 三〇九
 婦女界社
 家庭用貯蓄家計簿(上刊) 八五〇
 改造社
 俳句日記(布四六判) 一、三〇一
 朝日新聞社
 朝日婦人日記(布四六判) 一、三〇一
 朝日ヤケツト日記(布三五判) 五〇六
 アサヒナメラ日記(布三五判) 一、〇〇〇
 朝日日記(洋四六判) 五二四
 釣日記(布三五判) 一、〇〇六
 メンソレータム本舗

家庭日記(洋四六判) 二六〇六
 泰東閣
 最新家計簿(上刊) 五二二
 朋文堂
 スキー日記(洋四六判) 五〇六
 日本兵書出版株式会社
 〇軍人新日記(洋三五判) 五〇六

◆! 著名の讚絶評好りよ君諸者格合◆

〔版十五百二訂増〕 著生先郎五勝野石 〔版十六百二訂増〕

受験幾何のあたま

全お事参獎るかるるせと受
 を求は受賞にかも兩は勢るし
 朗め申驗に書見は受書弊を
 せのす準よと各驗の堂以は
 ら上ま備つて且受諸君はも
 ん試の要も多又驗君はも
 事ありか明全難よ如光驗
 を難りはか陸國誌り何榮生
 切關ま良で續各上如にす
 認たせの書あり中何類す
 いたの選まされに歡に所
 したの迷すつより輩れし
 ますは如つり輩れし
 ず準は何の指のあ
 〇備印にあ
 〇萬刻ある

受験代數のあたま

本試書はあらゆる基礎問題の外に
 入試問題の萃を集めて仕
 的学習法に立脚して仕
 着眼点の指し解法を
 たのみに解法を
 全問の解答を
 別冊に便する
 對照の便なる
 而も最近の新機軸たる
 鋭角の三角函数の
 細部を極めたる
 集りて購読するものれば
 べきと共購読するものれば
 〇



四六判上製 紙數六三四頁 定價金貳圓 送料拾四錢
 四六判上製 紙數六三〇頁 定價金貳圓 送料拾四錢

◀ 送料拾五圓定價 四六判上製 頁八六四 ▶

東京神田區保町一丁目 振替東京六九四九番 有精堂出版部 (内見本圖) (書録日呈)

中等初年級用 高等受験用 好評

漢文 考へ方と解き方	國文 考へ方と解き方	幾何 考へ方と解き方	くいは代 考へ方と解き方	新精 英 考へ方と解き方	漢文 考へ方と解き方	國文 考へ方と解き方	新精 作 考へ方と解き方	百萬圓の 微分積分への敵前上陸
哲塚 三本	哲塚 三本	良藤 藏森	父藤 子森	三野 郎原	哲塚 三本	哲塚 三本	哲塚 三本	良藤 藏森
漢文の正しい学び方を教へた名著である。漢文は初歩の出発が一番大切だ。	國文の正しい学び方をやさしく説いたもの。本書を學んでおけば後はラクだ。	初等平面幾何學に楕圓、双曲線、拋物線の二次曲線までを加へ、面白く書かれた幾何學の童話桃太郎だ。	代數の基礎根柢を分りやすく書いたもので本書を讀めば誰でも代數がすきになる。	英語學習の根柢事項を系統的に説述し、應用方面としての文脈の考察に力を注ぎ、代表的な慣用語句を添へた快著。	漢文の根柢事項を徹底的に説明し、それと精選された例題並に解を添へてある。	豊富な例題を集め、それと根柢事項との照應を明確にした斯界第一の權威書。	受験のための作文指導書として此より以上のものは見當らない。作文で好い點をとり安心して合格したい人は讀め。	數學思想の涵養普及に盡すこと、實に三十年の長きに亘る先生が、講義、著述、講演に挺身した豊富な體験と、圓熟透徹の思想を以て、科學日本建設の大念願の下、時局下日本の國策に應へて微分積分の大衆化を圖つた國民必讀の書。
〇、一、〇、二、九〇	〇、一、〇、二、九〇	〇、一、〇、二、九〇	〇、一、〇、二、九〇	〇、一、〇、二、九〇	〇、一、〇、二、九〇	〇、一、〇、二、九〇	〇、一、〇、二、九〇	〇、一、〇、〇、九

日本科學の建設は考へ方叢書より

高數大衆化 高等受験數學書

初等 微分 考へ方と解き方	初等 積分 考へ方と解き方	初等 微分 考へ方と解き方	初等 微分 考へ方と解き方	初等 微分 考へ方と解き方	要說 三角 考へ方と解き方	要說 幾何 考へ方と解き方	精說 幾何 考へ方と解き方	要說 代數 考へ方と解き方	精說 代數 考へ方と解き方
良藤 夫森	良藤 夫森	良藤 夫森	良藤 夫森	良藤 夫森	子藤 共著	子藤 共著	子藤 共著	子藤 共著	子藤 共著
初等微分學の導函數を勉強した人ならば積分學を學ばないでも直ちに微分方程式が分る様に平易明快化し實際化した書式。	日常生活圏内から親しみ多い實例を捉らて之を導函數の導函數大衆化の名著。高等數學へ進ませる高數大衆化の名著。	今日の中等教育が眞面目に叫ばれてゐる。今日、中等教育が眞面目に叫ばれてゐる。今日、中等教育が眞面目に叫ばれてゐる。今日、中等教育が眞面目に叫ばれてゐる。	野を平明簡易に解きあかした理想的先驅的な叢書である。今や、解析幾何、微積分の中等教育化が眞面目に叫ばれてゐる。今日、中等教育が眞面目に叫ばれてゐる。今日、中等教育が眞面目に叫ばれてゐる。	高等學校學生の研究用、大學入試の準備書。文檢參考書として、高等數學の三分野を平明簡易に解きあかした理想的先驅的な叢書である。今や、解析幾何、微積分の中等教育化が眞面目に叫ばれてゐる。今日、中等教育が眞面目に叫ばれてゐる。今日、中等教育が眞面目に叫ばれてゐる。	代數、幾何の力だけでラクに分るやうに書いてあるやさしい本だ。この程度の三角をやつて置かぬと安心出來ない。	代數幾何融合問題に力點を置き、眞に正しい意味での兩者の調和統一を完全に具現したる名著。精説は懇切周到で要説は端的に核心を約説す。内容は同一なるも要説は解を省いて獨學に資す。	代數幾何融合問題に力點を置き、眞に正しい意味での兩者の調和統一を完全に具現したる名著。精説は懇切周到で要説は端的に核心を約説す。内容は同一なるも要説は解を省いて獨學に資す。	著者父子が三十年の史的經驗と若々しい情熱とが渾然一和してなされた名著、初版以來四十數萬冊の賣行を示してゐる。斯界第一の權威書、昭和現代の代表的問題	著者父子が三十年の史的經驗と若々しい情熱とが渾然一和してなされた名著、初版以來四十數萬冊の賣行を示してゐる。斯界第一の權威書、昭和現代の代表的問題
〇、一、〇、二、九〇	〇、一、〇、二、九〇	〇、一、〇、二、九〇	〇、一、〇、二、九〇	〇、一、〇、二、九〇	〇、〇、〇、八、六〇	〇、〇、〇、八、六〇	〇、〇、〇、八、六〇	〇、一、〇、二、九〇	〇、一、〇、二、九〇

東京・神田・一ツ橋 考へ方研究社
振替東京三六六一〇

電擊的能率の上向

西理學士 鐵之輔著	若理學士 桑光雄著	大上茂喬著	大上茂喬著
有機化學演習	改訂物理學演習	改訂微分學演習	改訂積分學演習
二・七〇	下上 二・三〇 三・三〇 四・五〇	下上 二・三〇 四・三〇	四・三〇

野田兵一著	高橋啓藏著	越智治成著	稻次靜一著	北澤種一著	島本靜夫著	大上茂喬著	若桑光雄著	佐藤常三著	越智治成著	大上茂喬著	大上茂喬著	若桑光雄著
産業組合の話	幾何學精解	代數學狙ひ所	算術の本質と指導の根柢	作業教育の本質	算術教育原論	歐米數學教授參觀記	中等物理學演習	三角法徹底的研究	幾何學徹底的研究	代數學徹底的研究	式階英文和譯徹底的研究	立體幾何學
一・〇〇	一・五〇	下上 一・五〇 二・三〇	一・五〇	二・〇〇	四・〇〇	一・五〇	一・五〇	一・四〇	一・六〇	一・六〇	一・七〇	下上 三・五〇 五・〇〇

社 明 文 區川石小市京東 〇一ノ二端道水 六九一〇七一京東替振 九五三五探大話電 楠 龜 間 楠

著名の版出念記年百六千二元紀

文學博士 佐佐木信綱編	文學博士 佐佐木信綱編	文學博士 佐佐木信綱編	文學博士 佐佐木信綱編	文學博士 佐佐木信綱編	文學博士 佐佐木信綱編
日本歌謡大系	藤原定家歌集	西行全集	八代列聖御集	崇徳天皇古今歌集	古事記
各判 布裝 千・二一	菊判 布裝 五・三〇	菊判 布裝 八・五〇	菊判 布裝 二・七〇	菊判 布裝 二・五〇	菊判 布裝 三・四〇
多年學界體壇の書で中古以降明治期に至る歌謡の代表的なものを選び、時代順に歌謡資料を大成し、これを大観するに遺憾なきものとしたものである。國文學・日本文學史・文學評論史研究の諸士その他日本文化研究諸士にこり得る資料である。	定家即自筆の「拾遺草」がその後裔冷泉伯朝家に伝蔵され、その存在すら知られなかつたが、今年即ち七百年祭を記念して同家爲臣先生によつて編纂された「定家集」の全説を知り得る。	西行法師入寂七百五十年、斯界の權威佐佐木博士を初め、四氏多年の研究を始めて発表されたもので、前編には佐佐木博士の總説を始め、後編には兩宮歌合連集抄等百數十種をおさむ。	從來未だ發表されなかつた宮内省圖書寮蔵の奈良天皇、光孝天皇、宇多天皇、醍醐天皇、朱雀天皇、村上皇、冷泉天皇、圓融天皇、應永天皇の御集とその研究で、國文學史上は勿論、國史學上極めて重要な文獻である。	崇徳天皇御本古今集は先年學界に紹介せられ研究者を驚喜せしめたものである。本書はその全内容を初めて忠實に精刻解説したもので、諸文獻所載逸文の校註、詳細なる研究正確なる索引をも加へてゐる。	萬葉の小林榮子女史が、古事記、日本書紀、萬葉集の外風土記等の中から代表作といふべきものを選び、女史獨特の親切な解説と口譯を加ふ。上代歌謡を研究鑑賞するに類好のものと信ず。

社 明 文 區川石小市京東 〇一ノ二端道水 六九一〇七一京東替振 九五三五探大話電 楠 龜 間 楠

呈贈録目書圖 書圖判評の社界女婦

小説 希世の書

好評忽ち八版

現実の激しきにも希望を失はず人生の苦しきにも愛の純粋は損はれない。作者の純潔性と激しい胸うちたれぬ者は、母の秘密の子として生れた人間性の深さと秘密に求めたものがあきびしい反省と高潔な精神を以て希望に邁進する態度には深く自らを顧みられるものがある。これは青春

北町一郎著・井口文秀装幀 四六判二六〇頁 二圓三〇銭

北町一郎著・水澤決 装幀 四六判三〇〇頁 二圓五〇銭

小説 東京探偵局
 近頃簇出するスパイ小説の中で群を抜いて評判のよい代表作選集!! 意匠外な構成と雄大なスケールを駆使して作者は東京在住の外人スパイの生感を描いた。

鹿つめらしくジメジメとした小説の多い近頃、胸がスツトとする痛快な傑作集だ!! 逞しき愛情のスタイルを描く青純な魅力!!

熊崎健翁著・開運の礎 最新姓名学

本書は姓名判断の決定版!! 百發百中恐ろしいほどの中、七篇二百數十項目。實例姓名百數十發表。名付應用辭典付命名改名自由。

名につけ方委員編 普及版 五十七銭(送十銭)

標準名づけ讀本

かわい赤ちゃんの名前をどうつけるか? 近衛公爵を會長とする國語協會がやさしい立派な名前をつけるように温い親心で書いた本です。

七一五

東 京 市 麹 町 區 三 丁 目 四 段 九 番 一 号 女 界 社 電 話 九 段 四 一 七 一 番 振 替 東 京 二 九 三 七 番

前長岡高等工業學校教授 相澤勲著 工業管理學 定價 4.80 送料 .12	大阪府立西野田職工學校教授 櫻口基吉著 建築構造力學 定價 1.80 送料 .14
大阪府立今宮職工學校長 相澤勲著 工場管理要項 定價 1.00 送料 .10	東京帝國大學技師 奥田芳男著 建築計畫 定價 2.50 送料 .14
金澤工業學校長 深澤巖市著 建築電氣設備 定價 2.00 送料 .14	元東京高等工業學校助教授 吉田全三著 建築材料 定價 2.00 送料 .14
東京府立資料工業學校教授 野々山俊一著 實用機械力學 定價 1.40 送料 .10	元東京高等工業學校助教授 吉田全三著 西洋建築構造 定價 1.80 送料 .14
高砂電機社技師 柳町政之助共著 建築設備 定價 2.00 送料 .14	東京高等工業學校助教授 吉田全三著 建築設計製圖 定價 2.50 送料 .14
東京府立工務學校教授 新倉伸藏著 內燃機關 定價 1.10 送料 .10	東京府立工務學校教授 坂田秀太郎著 塗工材料及塗仕上法 定價 1.50 送料 .14
東京工業大學教授工博 山田良之助著 金屬材料 定價 2.00 送料 .14	元東京府立資料工業學校講師 中西由造著 和洋左官の知識並彫刻手引 定價 1.80 送料 .14
長岡高等工業學校教授 津田吉文著 實用電氣計器 定價 1.40 送料 .14	元東京高等工業學校助教授 吉田全三著 建築仕様見積 定價 2.50 送料 .14
長岡高等工業學校教授 津田吉文著 實用電氣測定 定價 1.40 送料 .14	東京高等工業學校助教授 佐久間田之助著 日本建築工作法 定價 2.20 送料 .14
長岡高等工業學校教授 津田吉文著 最新電氣磁氣測定法 定上 2.50 價下 3.00 送料各 .14	東京工業大學教授 小林政一共著 東京府會館課長 天羽 馨共著 建築施工法 定價 2.50 送料 .14
東京府立資料工業學校教授 副島一之著 初等電氣理論 定價 1.50 送料 .14	東京高等工業學校助教授 佐久間田之助著 實用規矩術 (さしがね つかひ) 定價 2.00 送料 .14
東京府立化學工業學校教授 工學士 野崎曾廣著 理論有機化學 定價 2.00 送料 .14	東京工業大學教授工博 前田松韻著 近世住宅 定價 3.50 送料 .22
東京府立化學工業學校教授 工學士 野崎曾廣著 定性分析化學 定價 2.00 送料 .14	東京工業大學教授工博 前田松韻著 住宅の考究 定價 2.00 送料 .14
元東京帝國大學技師 須藤眞金著 建築沿革史 定價 2.00 送料 .14	元南滿工專工業實務主事 副岡庄一郎共著 南滿工業專門校講師 幸 勉共著 日滿支建築並設備工事用語 對譯 定價 2.00 送料 .14
東京市麹町區富士町 一丁目十二番地	吉田工務所出版部 電話九段(33) 1203 番 振替東京九五五九番

七一四

文部大臣 橋田邦彦閣下
 帝國教育會 永田秀次郎先生
 東京女子高等師範校長 村下壽一先生
 東京新聞社 編

文部大臣・各等入選 人物教育及母性教育

(刊新最)
 文部大臣賞・各等入選
 勅語御趣旨奉體の實例

四價六
 六價五
 〇六
 定價 ¥ 1.50

紀元二千六百年 記念事業、懸賞論文と懸賞作文の優秀篇！
 教育勅語發五十年
 審査委員
 文部省普通學務局長 中野善三郎閣下
 帝國教育會會長 永田秀次郎先生
 東京市教育局長 皆川治廣先生
 東京文理科大學長 河原春作先生
 東京女高師校長 下村壽一先生
 東京高師教授 佐々木敏秀先生
 都新聞社理事文學博士 伊原敏郎先生

滿蒙開拓義勇軍概要

滿蒙開拓幹部訓練所 副所長 陸軍少將 水野真樹閣下
 滿蒙開拓青少年義勇軍 訓練所 學事課 課長 清水久直著
 滿蒙開拓青少年義勇軍の木質並に内原訓練所の全貌は本書によつて明かなり！

四價六
 六價二
 〇〇一

東京・京橋 明治圖書株式會社
 電話(築地)三五五〇
 振替(東京)八一五三一

セオドル・アベル原著 小池四郎譯
ヒトラーとその運動
 定價一圓五〇錢 送料一〇錢

東横電鐵社長 五島慶太著
ホケッツト菜根譚
 定價一圓五〇錢 送料一〇錢

日本工業俱樂部調查課著
政治下 獨逸資本主義の變貌
 定價二圓八〇錢 送料一四錢

徳川義親著
日常禮法の心得
 定價一圓七〇錢 送料一〇錢

勝田貞次著
日本全體主義經濟の性格
 定價一圓七〇錢 送料一四錢

吉田苞竹著
書道讀本
 定價二圓三〇錢 送料一四錢

松田甚次郎著
村塾建設の記 (文部省推薦書)
 定價一圓五〇錢 送料一〇錢

藤原銀次郎著
實業人の氣持
 定價一圓五〇錢 送料一〇錢

成瀬次著
戦ふ日本刀
 定價一圓七〇錢 送料一〇錢

振替東京 三二六番
實業之日本社

アローモ・レドンア

フランス 戦線

四一・送 〇五・一

行刊 堂觀大 京東

七
二

アローモ・レドンア

フランス 敗れたら

〇一・送 〇三・一

行刊 堂觀大 京東

七
〇

文學博士 關根正直著
加藤貞次郎著

有職故實辭典

四六判洋裝
紙數九百三十八頁
全壹冊
定價金四圓五拾錢
送料金廿二錢

重裝束圖解

四六判洋裝全一冊
定價金一圓八十錢
送料金十四錢

文學博士 關根正直著

本書は朝廷。武家の公事、儀式、官制、容儀、服飾、殿舎、調度、甲冑、武器及び歳事、娛樂、武技、交通機關等に亘つて故實語を網羅し之に詳細明確なる説明を附したるものにて而も從來の辭書は浩瀚なるが故に其の津梁を知り難き煩を避け、簡明平易にして要を盡せるは著者苦心の存する所なり。且つ四百有餘の圖畫を挿入して参考に供し、又故實語には讀解多くして、甚だしきは「定考」を逆にかウヂヤウと讀み「女王祿」の文字、施樂院の施字を讀ますして、ワウロク、ヤクキンと唱ふる類あれば、卷末に字畫索引を附し、總て讀方不明の者と雖も、極めて其檢出を容易ならしめたる點、懇切周到といふべし。今や肇國二千六百餘歳を數へ、我尊嚴無比なる國體精神を認識するに目覺めたる國民は古典の檢討に意を注ぐ者著しく、從つて本書の使命も又重きを加へたりといふべし。苟も國史國文を讀む者及び學校教員は勿論爲政者も一般國民も、是非本書を書架に備ふることに必要を忘るゝことなかれ。(全訂新版)

本書は中古の公卿宮女の衣裳より、近古武人の服裝に至るまで、公服、私服、略服を一々圖畫についで説明し、加ふるに太古より現代に及ぶ服裝制度の沿革を、「服制通史」と題して添加したり。これに因り古今を通じて儀裝公服の變遷を一目瞭然たらしめたるものなり。

東京 橋本 日京東 所行發
振替 五二一六三一 社會式株版出本日大 座銀京東一
一七三二 店書平林 式株會 目丁二橋服吳

元東洋大 中島德藏著 價三・五〇
學學長 送 一四

論語の組織的研究

千載徳教の經典「論語」を實證的知識を基礎とし精細な文獻考證に憑據して組織あらしめた著者独自の新研究
東大教授 高田眞治著 價三・五〇
文學博士 送 一四

支那思想と現代

東亞共榮圈確立を希求する愛國的思想を以て儒道の根本義を説き來るべき新支那に無限の希望を繋ぐ珠玉篇
農學博士 素木得一著 價五・五〇
送 二〇

害虫・益虫

多角な人間生活に織込まれた蟲の世界を識り有害有益の判定と分類を完成した科學日本の趣味と賞益の凱歌

★書圖選特評好★

- | | | |
|---------------------|---------|----------------------|
| 共總瑞見鸞博農
著等 岡松研理 | 學化品食 | 頁〇〇三判菊 四一送 〇八・二價〔刊新〕 |
| 編社字十赤本日
副印紙ト一ア判菊 | 顧回の本日生衛 | 頁〇〇三判菊 四一送 〇〇・三價〔刊新〕 |
| 著智玄藤加博文 | 義精道神 | 頁〇二四判菊 四一送 〇〇・三價 |
| 著吉厚本森博法 | 濟經費消 | 頁〇五三判六四 四一送 〇三・二價 |
| 著一潜松久博文 | 神精の學文本日 | 頁〇九二判六四 〇一送 〇〇・一價 |
| 著助之善辻博文 | 神精本日は室皇 | 頁〇三三判六四 〇一送 〇〇・一價 |

東大名譽教授 辻善之助編 價四圓 送一四
文學博士 菊判五
布組總
布上製

最新刊 大日本年表

悠久二千六百年間の國史進展の事歴を一巻に收載したる。その當り、當代隨一の諸博士が絕對權威を以て編りし。その家表を添付し、資料の發賣に至りし。

東京 振替 五二一六三一 社會式株版出本日大 座銀京東一
五二一六三一

空軍戰略

陸軍航空本部 北川清一譯著
空中 忽四六判美本
戰鬪篇 版三 送價一・七〇
送 一・四〇

日文東洋精神概説 久保田 肇著 送價三・〇〇
送 一・四〇

滿支東洋精神概説 久保田 肇著 送價三・二〇
送 一・四〇

世界に響く日本語 久保田 肇著 送價一・二〇
送 〇・〇〇

新ローマ字綴方解説 菊澤季生著 送價一・〇〇
送 〇・〇〇

子どもの道徳觀 霜田靜志譯 送價四・〇〇
送 三・二〇

匠房、雜話 工學博士 佐藤功一著 送價二・〇〇
送 一・四〇

月刊綴り方俱樂部 北原白秋 編輯 送價〇・四〇

書取勉強辭典 千葉存雄 編輯 送價〇・二〇

綴り方勉強辭典 千葉存雄 編輯 送價〇・二〇

假名遣法解説 國語科學會 送價〇・三〇

句讀法解説 國語科學會 送價〇・三〇

送假名法解説 國語科學會 送價〇・三〇

現代語法解説 國語科學會 送價〇・三〇

用字用語辭典 鳴海連著 送價一・五〇

東方問題論

興亞日本の勢力が亞細亞大陸から英蘇を驅逐せんとするとき、歐羅巴の風雲も亦急をう
げ、大英帝國の立場はいよいよ苦境に立ち、ソ聯また孤立状態におかれねばならなくな
つた。本書は支那並に亞細亞を中心として英蘇の角逐から日支の關係に及ぶ現今の東方
東京朝日新聞社 嘉治隆一著 四六判美本 送價一・九〇
東亞問題調査會 送 一・四〇

問題に就いて、その多角多岐
な相貌のまゝに、大英帝國、ソ
聯、支那の各の立場を中心と
して論じた興味深々たる近來
の名著である。(内田 巖著)

東京宛書房 二ノ二町番六區町麴東京
香四二五六二東京替振
香九三七四段九話電

賣るにも買ふにも

凡ての古書の御用は

先づ一誠堂へ!!



店支 三目丁一町保神田神京東
店本 七目丁一町保神田神京東

一誠堂書店 會合社名

番〇五七・五七田神話電
番壹八貳五貳京東替振

三省堂優良辭書選

石川林四郎編纂

最新 **コンサイス英和典**

携帶判 一一八四頁 定價三・〇〇 送料〇九

英語界をリードする最新版。多年斯界の人氣を獨占せる舊版を、權威石川教授が新たに編纂し直され、世界音聲學の權威ヂョウウンズ教授が發音指導されたもの。英米の新聞雜誌、原書の閱讀に不可欠の英語である。

石川林四郎編纂

最新 **コンサイス和英典**

携帶判 九一〇頁 定價三・〇〇 送料〇九

コンサイス英和と共に英語學界に君臨する和英。一語一句適語を施し、嚴密たるカレント・イングリッシュを用ひ、語の案出に至便、譯語の比較應用も自在である。戦時下の新語を網羅した最新版の御愛用を望む。

山岸光宣編纂

コンサイス獨和典

携帶判 一一六八頁 定價三・九〇 送料〇九

内容の豊富、専門語辭書としての正譯、發音の明示、携帶の至便、特に印刷の鮮明は吾が辭書界に清新の氣を寓したるものとして各方面の絶賛に迎へられてゐる。信頼すべき唯一の獨和。日常の御活用を俟つ。

丸山順太郎編纂

コンサイス佛和典

携帶判 一〇五〇頁 定價四・六〇 送料〇九

語数は在來の大辭典を凌駕し、しかも新語俗語、各部門の専門語を斷然豊富に収録し、不規則動詞變化形を見出しに掲げ、全語彙の發音を萬國音標文字で明示した。佛語界の最高に立つ權威版である。

三省堂優良辭書選

文學博士 金澤庄三郎編纂

廣 **辭林** 新訂 携帶版

四六判 二〇〇〇頁 特價三・九〇 送料三三

多年學界、教育界に絶大の信頼を博して來たもので、國語辭典としての使命達成と實際活用の爲編者の學的良好心は毎頁に顯如たるものあり、譯語精解、解説明快挿圖豊富、印刷鮮麗、内容充實の決定版である。

文學博士 金澤庄三郎編纂

小 **辭林**

携帶判 一〇〇〇頁 定價二・三〇 送料〇六

机上用の廣辭林に對し携帶用辭林として著されたもの専ら日常の活用に資する目的を以て新時代の用語並びに外來語を及ぶ限り収録した。最も現代人に適應せる引き良い分りよい小國語辭典である。總インディア紙

文學博士 吉澤義則編纂

用字用語必携 増補版

携帶判 三八四頁 定價〇・六〇 送料〇六

假名遣、送假名、同訓異義、漢字正俗、文法、字訓等用語上の難問を即座に解決する寶典である。附録の新舊對照新小學國語讀本使用漢字解説は卷十二迄を全部収録してゐる。事務家は勿論教員諸賢の必携書。

三省堂編輯所編纂

類語活用必携 附書翰 文便覽

携帶判 三四六頁 定價〇・七〇 送料〇六

表現すべき思想がはつきりしてゐながら妥當な語の發見に窮した時、易しい和語から簡明な漢語を、普通語から特殊な語、敬語、謙辭等を導き出す必要のある時即座に役に立つ寶典。書翰文便覽を附録す。

鈴木三重吉先生譯

菊判美裝函入 色刷挿畫多數 定價二圓八拾錢 送料十四錢

家なき兒上

小山勝清先生著

四六判美裝函入 色刷挿畫多數 定價壹圓四拾錢 送料拾四錢

彦一頓智ばなし

上澤謙二先生著

四六判美裝函入 色刷挿畫多數 定價壹圓二十錢 送料十四錢

力を合はせて

高野正巳先生著

四六判美裝函入 色刷挿畫多數 定價一圓四十錢 送料十四錢

義經記

七三二

傑れた少年物語として世界的に有名な家なき兒は我國に於ても何種類か刊行されて居るが、完全なる翻譯は未だ無いので鈴木三重吉先生が學生の事業として其完譯を志されたもので原作の調子のとれた香氣高いのと同様な出来栄えでこの書は家なき兒の決定版とも稱すべきものであります。

肥後の國八代の町に、彦一と呼ぶ少年があつて、むかしの一休和尚や曾呂利にも優つた、奇想天外のさまざまの頓智を以て、到る所に人を助け、世を利したかずかずの滑稽話、讀んで面白いばかりでなく、考へれば考へるほど、無限の趣味と利益を得られませう。

少年少女の読後の實話を二十七集めたものです、私達は今日本の國力を強め、さうして東洋の平和、ひいては世界の平和を新しく打建ると云ふ同じ目的に向つて進まねばなりません。子供は子供なりに読後の守りがあります。その活きた見本がこゝに集めたお話であります。

本社發行の日本名作物語の一つであります。義經記は源義經の傳説を一代記風に集めたもので日本の古典の中の一つで永くかはらぬ日本民族の理想や精神が盛られてゐます。義經は誰かが愛敬してゐる典型的な武將ですが、その物語の中には主君をどこまでも守つてゆく、忠義な家來たちとの美しい主従の情愛が描かれてあります。

前田 晁先生譯

四六判美裝函入 色刷挿畫多數 定價一圓五十錢 送料十四錢

ロビンソン漂流記

大木惇夫先生譯

四六判美裝函入 色刷挿畫多數 定價一圓二十錢 送料十四錢

ピノチオ

坪田讓治先生著

四六判美裝函入 色刷挿畫多數 定價一圓三十錢 送料十四錢

善太と三平

北川千代先生著

四六判美裝函入 色刷挿畫多數 定價金九十錢 送料十四錢

山上の旗

文推 省書

これはイギリスの少年は一人としてこの物語を讀まして成長した者はないと云はれる程有名なお話です。そしてその感化によつて海を越えて遠く出て行くことを物の數ともしなくなりヨーロッパの海國になつたといはれます。わが日本はアジアの海國です、日本の少年たちもこの物語に親しみまます。海國に發展しようではありませんか。

人形を取扱つた面白い物語として教育的であり藝術的であり、世界第一の定評あるもの、今大木先生の流麗な筆によつて譯出せられました。日伊國交親善の折りから日本少年の必讀書に推すべきものであります。

童話が子供の成長の糧である時、正しい子供の將來が期待されます。眞の子供の姿を描き出して、然も面白くて、あくまでも眞面目で、兒童の文學として著者獨特の藝術の香り高いものであります。

四年生を中心として、其前後の學年の兒童にも面白いと思ふお話を集められました。

子供の讀物に救ひの無いのはいけないといふので、どのお話も最後は明るくと心がけられたお話であります

七三三

東京市日本橋區 通三丁目五番地

童話春秋社

電話日本橋二一五三番 電話東京九一九番

東京市日本橋區 通三丁目五番地

童話春秋社

電話日本橋二一五三番 電話東京九一九番

らか究研の向日國祖は史歷本日

著者	書名	定價	送料	内容大意
宮崎中學校長 文學士 日高重孝	日向の研究 卷一 神話時代	一、〇〇	一、二四	神代より神武天皇御東遷までの最精彩の書
宮崎高等農林學校教授 農學博士 日野巖	國史日向郷土史年表	上二、五〇 並一、二〇〇	一、二〇 賣切	祖國日向の全貌を表にしたる精表
香港日本人小學校長 川添重廣	日向郷土の光	六〇	〇、〇八	最も簡易なる日向歴史書
鈴木健一郎	日向の傳説	九〇	一、二四	日向の代表的傳説から世にかくれたる傳説に至るまで二百七十三話を收む
宮崎高等農學校 八教授分擔	日向の自然と生物	一、五〇	一、二四	日向の史蹟、日向の特殊動物、植物等通俗的十論文を收む
日向郷土會 代表者 日野巖	靈峰霧島山	二、〇〇	一、二四	靈峯霧島山を餘す所なく研究したる大文獻
同	青島	七〇	一、二〇	日向の名勝青島に關する全貌を盡す
同	日向郷土讀本	九〇	一、二四	
同	佐土原、妻、西都原	七〇	一、二〇	祖國日向の名勝史蹟地の内西都原佐土原、妻に關する文獻集録
同	日向路めぐり	上七、七〇 並五、〇〇	〇、〇六 〇、〇九	宮崎縣内に杖をひく者の必携書
文學士 今井秀一	人生と修養	一、〇〇	一、二〇	人生の眞實相を捉へ永遠の誕生に更生せんとする道を懇切に教ゆ
安藤兼次郎	道徳と宗教	一、五〇	一、二〇	
文學士 日高重孝	傳説の日向と宮崎名所	三、三五	〇、〇三	

目書圖故すまり居へ揃取等圖地部本謀參内縣・書集繪勝名
ふ乞を込申添お錢三券千は録

宮崎市橋通三丁目 宮崎私書局第六十號
宮崎縣私書局通三丁目 宮崎私書局第六十號
宮崎縣私書局通三丁目 宮崎私書局第六十號
宮崎縣私書局通三丁目 宮崎私書局第六十號

華語增補版

大字典

編共家大兩外士博夫忠島飯・士博之正田岡・士博年萬田上

漢和字典界の覇者

本書は其收載の博大なる、其内容の充實せる、其形式の整備せる、其索引の簡易完全なる、在來のあらゆる字典に卓絶し、實に漢和字典界の一新紀元を劃せるもの、一たび本書を取りて其内容を檢する時は、何人も其が在來の辭書と比較を絶するに驚かれん。

今や日支事變の進展に伴ひ、大陸に對する皇國の使命は俄に重大性を加ふるに至りしと共に、支那時文の學習は一日も忽諸に附し難き時代となりぬ。因つて今回新たに支那時文字典九十餘頁、一萬五千語を卷末に増補し、大方の要求に對處したるは、本書に取り、錦上更に花を添ふるものと云ふべし。

定價金四圓五十錢

送料内地 二十匹錢

新時代對應の寶典

東京 丸の内三ノ六 株式會社 啓成社
電話 丸の内二八六六
東京 丸の内三ノ六 株式會社 啓成社
電話 丸の内二八六六

新世代叢書

- 1 米國の工作機械文明 早坂 力
- 2 アメリカ人の日本把握 前田多門
- 3 女は働いてゐる 山川菊榮
- 4 寫眞百年史 ルシア・モホリ
- 5 シンガポール 川端福一
- 6 次代の理念 山崎 謙
- 7 フランスより還る 小松 清
- 8 アジアにおけるヨーロッパ フクロレド
- 9 北太平洋 小 松 清
- 10 世紀の人々 ア・ド・ワイルド
- 11 ドイツの造形文化 伊 佐 秀 雄
- 12 地政治學入門 佐藤武夫
- 13 造形の理論 柳 亮
- 14 革新の理念 津久井龍雄

各冊
價
〇〇・八〇
〇〇・六〇

航空技術叢書

- 航空機 宮本晃男編著 呈 内容 見本
- 1 ライト・サイクロン航空發動機取扱解説 菊判三〇頁・挿入寫眞圖版二〇圖餘・定價二・八〇〇・二〇
- 2 ダグラス式DC-3型旅客機取扱解説 菊判二〇頁・折込圖元葉・挿入寫眞圖六圖價四・八〇〇・三
- 3 ロッキード式14型高速輸送機取扱解説 菊判三四頁・挿入寫眞圖版八〇圖餘・價三・六〇〇・二〇
- 4 フォッカー式ユニバーサル型輸送機取扱解説 菊判二〇頁・挿入寫眞圖版五圖餘・價二・三〇〇・一〇
- 5 中島式AT型双發輸送機取扱解説 A判三〇頁・挿入寫眞圖版一〇〇圖餘・價四・〇〇〇・二〇
- 6 三菱式MC20型輸送機取扱解説 三菱式MC20型輸送機取扱解説
- 7 飛行機試驗法解説 飛行機試驗法解説
- 8 航空機用計器取扱解説 航空機用計器取扱解説
- 9 飛行機操縦法解説 飛行機操縦法解説
- 10 落下傘取扱解説 落下傘取扱解説

七三八

五七五〇三一京東替振 一七六〇(25)田神話電 東 市 神 田 區 〇 二 の 三 町 錦

社生育

- 松井佳一著 四六洋裝寫眞一八〇葉入六一四頁
メキシコ風土誌 價四・八〇
- A・ラドラー著・藤澤保太郎譯 四六洋裝二〇八頁入二〇六頁
世界政治・經濟精圖 價一・二〇
- G・F・ハドソン著・藤澤保太郎譯 A5判三三圖入一三〇頁
東亞政治地圖 價三・五〇
- G・H・コール著・八木澤善次譯 菊判洋裝八三三頁
計畫經濟の原理 價三・六〇
- ロンドン王立問題研究所編著・岡田宗司譯 A5判四〇〇頁
英帝國の政略と戰略 價三・二〇
- 湯良禮著・中山英美三譯 菊判洋裝三〇〇頁
支那社會の組織と展望 價三・二〇
- A・M・コネツ著・高山洋吉譯 四六洋裝二八〇頁
支那軍事史 價一・六〇
- 石井教道著 四六判クローム裝四一〇頁
法然上人の日本的宗教 價二・五〇

- 村田喜一著 菊判洋裝八七四頁入四三〇頁
牛乳の加工と其の化學 價四・八〇
- 渡邊文太郎著・千石與太郎譯 四六判上裝三二〇頁
農業再編成と統制法規 價一・七〇
- 山崎延吉著 四六判洋裝美本二八〇頁
農民生活論 價一・八〇
- 稻村隆一著 三六判洋裝五六〇頁葉引付
日本農業必携 價二・五〇
- 岩本熊吉著 四六判洋裝三〇〇餘圖入三三四頁
雜草園の造り方 價二・〇〇
- 田尻隼人著 四六判洋裝美本一八〇頁
日向御進發 價一・〇〇
- 神道研究會謹輯 四六判洋裝美本二八〇頁
神々の誕生 價一・五〇
- 祭神物語 價一・五〇
- 河崎なつ他七人編 四六判八五二段組三七〇頁
現代婦人百科 價一・六〇

七三九

五七五〇三一京東替振 一七六〇(25)田神話電 東 市 神 田 區 〇 二 の 三 町 錦

社生育

新刊並重版

改訂 増補	最新電氣磁氣學 (新版)	東京工業大學教授 理學博士 山本 勇 著	A五判 三〇二頁	定價三・五〇 送料 一・一五
最新	無線工學	理學博士 山本 勇 著 工學士 關 英男	A五判 二〇二頁	定價二・〇〇 送料 一・一五
	高壓電氣論 工原學	北海道帝國大學教授 工學博士 鳥山四男 著	A五判 一五三頁	定價一・三〇 送料 一・一〇
	電氣器機設計原論 磁路の計算法	元濱松高工教授 中島友正 著	A五判 一五四頁	定價一・二〇 送料 一・一五
新編	實用電氣機械 (前編)	元濱松高工教授 中島友正 著	A五判 二八八頁	定價二・〇〇 送料 一・一五
新編	實用電氣機械 (後編)	元濱松高工教授 中島友正 著	A五判 二六八頁	定價一・九〇 送料 一・一五
改訂 増補	新編 實用電氣磁氣	元濱松高工教授 中島友正 著	A五判 二八〇頁	定價一・八〇 送料 一・一五
	電氣工事人便覽	電氣之友社編	新四六判 二〇〇頁	定價 三・五〇 送料 〇・六〇
	電氣工學術語解説	工學博士 尾本義一 著 工學士 本城 巖	A五判 二百餘頁	定價二・七〇 送料 一・一五
	電氣事業法 並 施行規則	電氣之友社編	表 一七〇頁	定價 五・五〇 送料 〇・六〇
	電氣化學工業	東京工業大學教授 理學博士 武井 武 著	菊判並製 一四七頁	定價一・七〇 送料 一・一〇

大阪北區合資會社 電氣之友社 東京市京橋區銀座
堂島中ノ四〇 八丁目一番地(新橋際)
電話北一九〇六 電話銀座二五二五
振替大阪一〇六九五 振替東京二〇二三

七四〇

樂聖傳記叢書

この樂聖傳記叢書は決して單なる樂聖の傳記のみが述べられてゐるのではない。傳記は更に立體的に樂聖の生活を探りそれによつて生れた作品を音樂的立場から研究したものであつて、從來の此種の書の多くが文學的考證に走る嫌ひがあつたのに反し、本叢書はあくまで音樂的研究を基としたものである。而も簡明直截美しい行文を以てしたる點は好個の音樂的讀物なり。

ベーターヴェン	グアンサンテン	グア	小松耕輔 著	一・八〇
ヴァーグナー	小松耕輔 著	一・八〇		
モーツァルト	小松耕輔 著	一・八〇		
ドビュッシ	小松耕輔 著	一・八〇		
ショパ	小松耕輔 著	一・八〇		
近刊	「バツハ」「ハイドン」「シューベルト」「シューマン」			

詳解 樂語辭典

島崎赤太郎監修 價二・八〇

西洋音樂史綱要

小松耕輔 著 價一・八〇

標準洋樂語彙

大日本音樂協會編 價一・八〇

音樂鑑賞圖譜

音樂史篇 小川澤一朗編 價四・八〇

模範音樂通論

橋下總一著 價三・〇〇

樂器大圖鑑

西洋篇 黒澤隆朝編 價八・五〇

昭和十六年音樂年鑑

大日本音樂協會編纂 價一・三〇

樂界及舞踊界唯一の音樂年鑑！最新正確なる人名録、各音樂學校、軍隊、放送局の機構、昨年度の斯界の展望、つまり樂界の百科辭典である 價一・三〇

發行

東京市芝區
松本町四四區

共益商社書店

振替東京
一五八〇番

七四一

萬葉集總釋

著者 藤

編一齋藤淺吉 武田祐吉 全十二卷
 日本文學の金字塔たる萬葉集の、現代萬葉學界の最高權威の協力の下に爲された唯一完璧な全釋書
 譯文・語釋・批評鑑賞の全般に亘り、振假名付原文と年表索引を完備せる昭和學界の定本である。
 最初の萬葉集の総合的全譯完成す！學の價値と藝術性と普及性との一致せる國民常備の名著！

源氏物語總釋

著者 執

世界的な文學として日本人たるもの信譽に足るべき源氏物語の現代語全釋書である。執筆者は王朝文學・國語教育の權威者として、從來の卑俗なる源氏物語觀念を打破して、全家庭の必讀書とした。
 嚴正なる學の價値と藝術的氣品の再現に卓越せる古典現代化の模範！「もの哀れ」の精神を心ゆくまで味讀せられよ。

澤本久孝	佐々木信綱	今藤清吉	齋藤高折	春田久松	新田通久	吉田義則	武田則吉
澤本久孝	佐々木信綱	今藤清吉	齋藤高折	春田久松	新田通久	吉田義則	武田則吉
澤本久孝	佐々木信綱	今藤清吉	齋藤高折	春田久松	新田通久	吉田義則	武田則吉

本日全書

日本文化の普及的討議の場。體裁の清らかなる。筆致の新鮮な。充實の内容。見よ！

純古時代思想	奈良時代思想	平安時代思想	鎌倉時代思想	室町時代思想	近世思想	現代思想	現代思想
河野清三	西尾勝也	石村陽太郎	魚尾三郎	伊東三郎	中村光太郎	清水博太郎	三枝博太郎
河野清三	西尾勝也	石村陽太郎	魚尾三郎	伊東三郎	中村光太郎	清水博太郎	三枝博太郎

東京市中區野田一丁目二〇番地 樂浪書院 電話 七四〇〇八

文部省前教育官 孫田秀春 共著
 法學博士 原房孝 共著
 東京高等師範學校教授

國體の本義解説大成

推薦の辭

文部省社會教育官

長

屋喜一

菊判總布裝
 七百頁美本
 定價金四圓八拾錢
 送料廿二錢

最新刊・好評・重版 來出

教學刷新に着手されてから既に數年になります。又昨今は新體制が現下の急務となつて参りました。即ち我が大日本は今やその本然の姿に歸りその本領を發揮して、東亞の天地のみならず、廣く全世界を光被しつゝあるのがであります。而して、皇運を扶翼し奉り此の高遠なる大使命を達成する大國民の錬成の爲に本年度より國民學校制が實施されるにいたりました。處で、是等一切の刷新はすべて世界無比なる我が國體に淵源しなければならぬことは申す迄もないことでありました。それ故にこそ文部省では昭和十二年三月「國體の本義」を編纂頒布して、「國體を明徴にし、國民精神を涵養振作」し來つたのであります。然るに國民各層殊に教學に直接從事する人々の間にすら此の「國體の本義」の研究が不充分であり不徹底であり、又研究の困難を訴へる人も多く接するの甚だ遺憾であります。此處に大いに感ずる處あり、斯界の權威たる前教育局長勅任教育官博士孫田秀春先生並に東京高等師範學校教授原房孝先生御協力の下に「國體の本義解説大成」を公にされたことは眞に意義深いことと存じます。本書は巷間流布の解釋書とは全くその類を異にし兩先生が、光輝ある紀元二千六百年奉祝の爲に、蘊蓄を傾け心血を注いで學問奉公の誠を致されたものであり、此の點衷心より敬意を表すると共に、大明堂主人出版報國の熱意によつて此の記念事業完成に努力されたるを聞き大いに愉快に思ふものであります。之れ故に責任を以て本書を世に推薦する所以であります。

東京市中區野田一丁目二〇番地 樂浪書院 電話 七四〇〇八

神宮皇學館 近藤 奎著

二

菊判紙數千八百頁
クロス極美裝幀

定價 十八圓

(内地送料)
四十五錢

七四五

支那學藝大辭彙

支那學術の全般に涉つて解説したる辭書は今日まで日支兩國共に絶無であつた。近時東洋學術の盛運に際會し、茲に初めて斯の著を得たり。洵に本書は著者が十幾年間の心血を凝ぎて完成せられたる空前の大著にして、其の内容極めて浩瀚に亘り、支那上代より現代に至る文學・哲學・經史・音韻・言語・文字・文法・書誌・金石・考古・美術・宗教・法制・天文・曆數・其の他諸般の學術に涉りて、術語・人物・文獻・各種の資料を網羅し、親切丁寧なる解説を與へて居る。

(一)考據の精確、(二)解題の豊富、(三)索引の詳備、眞に間然する所無く、尙ほ(四)系譜・傳統・年表等幾多の研究資料を附録す。井上・市村・服部・安井・瀧川・宇野・鹽谷・小柳の諸博士が絶讃推獎せらるゝ所以である。

|| 好評嘖嘖たり || ◆ 内容見本 | 御申込次第
送呈す

著創の望待界學

東町寺路小廣・都京 部版出館命立 目丁二西座銀・京東
四四九六二版大替振 二六三五七京東替振

建文館刊行講座種目

東京市牛込區拂方町四
電話牛込四三三八七
振替東京八五七〇番

◎編輯 田中寬一
師範大學 修身倫理 全十二卷
【刊行中】 會費毎月二圓三十錢

◎編輯 田中寬一
師範大學 教育・心理 全十三卷
【刊行中】 會費毎月二圓三十錢

◎編輯 田中寬一・阿部八代太郎
師範大學 數學教育 全十二卷
【刊行中】 會費毎月一圓八十錢

◎編輯 田中寬一・保科孝一
師範大學 國語教育 全十三卷
【刊行中】 會費毎月一圓八十錢

◎編輯 田中寬一・土井不彥
師範大學 理科教育 全十四卷
【刊行中】 會費毎月二圓

◎編輯 田中寬一・寺澤嚴男
師範大學 體育 全十二卷
【刊行中】 會費毎月二圓

◎編輯 田中寬一・寺澤嚴男
正體操教授要目解説 全六卷
【全卷取揃】 各卷 二圓五十錢

◎監輯 田中寬一
青年學校講座 (普通學科篇) 全十卷
【刊行中】 會費毎月二圓十錢

◎顧問 友枝高彦
教育者のための 獨逸語講座 全六卷
【全卷取揃】 會費毎月一圓

◎編輯 柴田桂太・谷津直秀・永井澄
生物學實驗法講座 全七卷
植物學關係 全七卷
動物學關係 全七卷
生物學一航 全五卷
【全卷取揃】 會費各科毎月二圓八十錢

◎編輯 田中寬一・中山久四郎・有高巖
師範大學 歷史教育 全十二卷
【刊行中】 會費毎月二圓五十錢

七四五

大判

登張信一郎著 價拾圓 送料・四六倍判 五七千七百頁
 超重爆機の偉力を備へた辭書
 四六倍判千七百頁の堂々たる偉容は、書齋を歴し、内容の明晰さは流石定評に背かぬ獨特の大活字を優美に配列驅使し、自然に而も正確に記憶出来るやうに細心の努力を盡した。

大獨日辭典

普及版

學生諸君が絶讚の普及版！
 細緻にして明瞭！尅大千七百頁の巨冊が僅か五圓餘で諸君一生の伴侶となる、學生諸君の絶讚も當然です、獨和は登張の標語が明治大正昭和の三代に亘つて喧傳せられし永遠の名著です、而も内容は時代に應じた若さです。

特 價 五・三〇 送料・四六倍判 三三三 千七百頁

！書考參學語るあ評定

- | | | | | |
|----------|--------------------|----------------|------------------|------------|
| 贈新
目録 | 東京日本橋茅場町一 振替東京二三八番 | 〇八・二價特
三三 千 | 一矢賀芳博文
作 村藤博文 | 典辭式新 改修 |
| | | 〇八・三價定
一二 千 | 著吉丙澤岩 | 日文亞西露 -レグボ |
| | | 〇七・一價定
五一 千 | 著 郎次田橫
治信部阿 | 話會露滿日 |
| | | 〇三・二價定
五一 千 | 著 定善 辻大
島 | 譯獨文和 式制添 |
| | | 〇五・四價定
三三 千 | 著之祐道圓 | 典字大書草 字原速 |

大倉書店

七四六

法律年鑑

法學博士 高窪喜八郎監修 法律評論社編

每年一回發行

四六判背革六號密植

第一卷	價九圓五十錢	第九卷	價九圓五十錢
第二卷	價八圓五十錢	第十卷	價九圓
第三卷	價十二圓	第十一卷	價八圓
第四卷	價十一圓	第十二卷	價九圓五十錢
第五卷	價九圓	第十三卷	價十一圓
第六卷	價九圓	第十四卷	價十一圓
第七卷	價九圓	第十五卷	價十一圓
第八卷	價九圓		

送斜各一冊 内地卅六錢 外地七十五錢

各最近一個年間雜誌及新聞紙上に發表せられたる學說●判例●決議●訓令●著書●雜誌●諸統計●新法令●裁判所職員●在野法曹●學校職員等法律に關する事項及純學理に涉るもの並補助科學に屬する事項を彙録し之を民商刑以下十部門に分ち精密なる目次及イロハ索引を附したるを以て最近一個年間の法律學說判例を一目して知り得べき良書なり。

高窪博士監修 法律評論社編
 法律學說判例要旨集

自第壹卷 至第四卷

刑論 價拾四圓 定價拾四圓
 送斜内地五十七錢 送斜壹圓拾七錢 外地八十八錢

法學博士 高窪喜八郎編
 法律學說判例總覽 (正編) 民法商法 全廿冊 價百五圓六十錢 送斜七圓廿錢

法律學說判例總覽 (續編) 民法七冊 既刊 價百拾四圓 送斜五圓五十六錢 各冊分賣

破產法 (上下) 各價八圓
 送斜内地各三十錢 外地六十五錢
 和議法 (完) 定價八圓五拾錢 送斜内地三十錢 外地六十五錢

發行所 東京市神田區小川町三丁目二十八番地
 法律評論社 振替東京一六一六七・電話神田二七二二

七四七

優良食糧圖書雜誌

月刊雜誌	糧友	食養研究	日本主要食品營養圖解	基本料理法	日本米食史	日本兵食史	療法講話	食糧協會編
●食糧問題の重要問題の百問全書 ●共同炊事の顧問役●お専所の相 ●戦時下の食糧問題研究の最 ●食糧問題の理論的指導書 ●食糧問題の好伴侶●看護婦、病 ●食糧問題の好伴侶●看護婦、病 ●食糧問題の好伴侶●看護婦、病	一ヶ月 三錢 三ヶ月 八錢 六ヶ月 一圓二錢 一年 二圓二錢	一ヶ月 三錢 三ヶ月 八錢 六ヶ月 一圓二錢 一年 二圓二錢	一冊 二五〇 二冊 四〇〇	一冊 一五〇 二冊 二五〇	一冊 七〇〇 二冊 一三〇〇	一冊 七〇〇 二冊 一三〇〇	一冊 一〇〇 二冊 二〇〇	一冊 一〇〇 二冊 二〇〇

發行所 財団法人食糧協會
東京市深川區越中島町
電話 東京 一六一〇
電掛 東京 六一〇一
内番 二〇九

女教師の日記

文部省推薦・圖書館協會推薦

平野婦美子著 價二圓 送十錢

- 第一卷 治療教育 上三三〇〇 並上三三〇〇
- 第二卷 兒童學 上三三〇〇 並上三三〇〇
- 第三卷 教育學 上三三〇〇 並上三三〇〇
- 松田解子著 規格B6判一八〇頁 送價一・六〇
- 佐藤信夫著 規格B6判三〇五頁 送價一・五〇
- 戰爭と女性 規格B6判一八〇頁 送價一・五〇
- 工業日本の先驅者たち 規格B6判一八〇頁 送價一・〇〇

法政大學教授 城戸幡太郎著
民生教育の立場から 四六判 三七〇頁 送價一・八〇
留岡清男著 四六判 三四一頁 送價一・七〇
石井亮一全集刊行會編 菊判通卷一〇八九頁 (第一卷品切) 送價一・七〇

教養講座

- 1 抗戰支那の政治經濟情勢 尾崎秀實 送價三〇錢
 - 2 時局下經濟はどう進行するか 野崎龍七・木村禧八郎・岩崎英恭 送價六〇錢
 - 3 五人組から隣組へ 文部省編 石川謙 送價六〇錢
- 勤勞青少年の文化と教育 B6判 三〇〇頁 送價一・五〇
兒童文化研究の定本 各卷 送價二・五〇
波多野勤子著 價一・五〇 送一・〇
國の子供・母の子供 價一・五〇 送一・〇

東京市小田原町一丁目
西村書店
東京 一六一〇

尾崎一雄 短篇集

夢ありし日

岡田三郎 小説集

伸六

行狀記

住み悪き世を如何に生き抜いたか、住み悪いとかこつ人々に讀んで貰ひたいとは著者の述懐である。暢氣眼鏡以來の定評ある著者の明るい人生ユーモラスに描き、函入和紙刷美本 價二・二〇〇円

伸六ものと云はれ好評をもつて完結した連作風な長篇。歸還勇士を主人公として、新體制下状態の變移に沿うて繰り掛けられる社會繪巻。著者の人生への深い愛情から生れる巧まざるユーモアに満ち、題簽尾崎士郎價二・四〇〇円

泥河

柳山潤 隨筆集

文人

圍碁會

事變勃發前の上海のただならぬ空氣を、描く泥河、聖戰下のインテリの生活講など、内地との聯關に於いて描く人生種種相。函入和紙刷 價二・〇〇〇円

生活、交友を語り、生立ちや若き日への郷愁を述べ、ついで長篇歴史とその相映畫化を語り、なほ現時新體制下の世相多様に就て眞摯なる意見を陳ぶ。多入和紙刷 價二・二〇〇円

丸山義二 長篇小説

第一馬 回賞

第三湖 回賞

新湖 回賞

七五〇

和田傳 長篇小説

第一潮 回賞

第五川 回賞

第五池 回賞

外村繁 長篇小説

草 回賞

田 回賞

神山潤 長篇小説

歴史 回賞

土

鏡

眼

氣

暢

尾崎一雄 短篇集

後

舍

史

房

屋

子

砂

東京下谷野上木町二七 振替東京七五〇八

砂子屋子書房

月刊棋道 月刊圍碁俱樂部

初學圍碁講義錄

高等圍碁講義錄

圍碁手筋解

圍碁手筋解

圍碁手筋解

圍碁手筋解

圍碁手筋解

圍碁手筋解

圍碁手筋解

圍碁手筋解

圍碁手筋解

圍碁手筋解

圍碁手筋解

圍碁手筋解

圍碁手筋解

圍碁手筋解

圍碁手筋解

一册六十錢 送料一錢

一册六十錢 同

一册六十錢 同

一册六十錢 同

一册六十錢 同

一册六十錢 同

一册六十錢 同

一册六十錢 同

一册六十錢 同

一册六十錢 同

一册六十錢 同

一册六十錢 同

一册六十錢 同

一册六十錢 同

一册六十錢 同

一册六十錢 同

一册六十錢 同

一册六十錢 同

一年分特輯號共六圓五十錢(稅共)

一年分 六圓(稅共)

一年分 六圓(稅共)

一年分 六圓(稅共)

一年分 六圓(稅共)

一年分 六圓(稅共)

一年分 六圓(稅共)

一年分 六圓(稅共)

一年分 六圓(稅共)

一年分 六圓(稅共)

一年分 六圓(稅共)

一年分 六圓(稅共)

一年分 六圓(稅共)

一年分 六圓(稅共)

一年分 六圓(稅共)

一年分 六圓(稅共)

一年分 六圓(稅共)

一年分 六圓(稅共)

一冊二十錢(送料六錢)

一冊二十錢(送料六錢)

一冊二十錢(送料六錢)

一冊二十錢(送料六錢)

一冊二十錢(送料六錢)

一冊二十錢(送料六錢)

一冊二十錢(送料六錢)

一冊二十錢(送料六錢)

一冊二十錢(送料六錢)

一冊二十錢(送料六錢)

一冊二十錢(送料六錢)

一冊二十錢(送料六錢)

一冊二十錢(送料六錢)

一冊二十錢(送料六錢)

一冊二十錢(送料六錢)

一冊二十錢(送料六錢)

一冊二十錢(送料六錢)

一冊二十錢(送料六錢)

一冊二十錢(送料六錢)

一冊二十錢(送料六錢)

一冊二十錢(送料六錢)

一冊二十錢(送料六錢)

一冊二十錢(送料六錢)

一冊二十錢(送料六錢)

一冊二十錢(送料六錢)

一冊二十錢(送料六錢)

一冊二十錢(送料六錢)

一冊二十錢(送料六錢)

一冊二十錢(送料六錢)

一冊二十錢(送料六錢)

一冊二十錢(送料六錢)

一冊二十錢(送料六錢)

一冊二十錢(送料六錢)

一冊二十錢(送料六錢)

一冊二十錢(送料六錢)

一冊二十錢(送料六錢)

財團 日本棋院 法人 東京市麴町區永田二丁目一番地 電話 銀座七〇五番 東京座口 振替 八五六八六番

出版圖書目錄 呈

郵券三錢 封入

七五二

カニヤ書店科學書發行書目

京都市寺町夷川 振替大阪23404 電話上2555

著者	書名	定價	送料
理學博士 石橋 雅義	容量分析實驗指針	3.50	.24
理學博士 石橋 雅義	定性分析實驗指針	1.20	.10
理學博士 石橋 雅義	重量分析實驗指針	1.20	.10
京都帝大教官 三十餘家合著	現代化學大觀	7.00	.38
理學博士 中瀬 古六郎	近代化學史	6.00	.38
理學博士 中瀬 古六郎	世界化學史	6.00	.38
理學博士 中瀬 古六郎	英文 定性分析指針	.50	.06
理學博士 中瀬 古六郎	英文 定量分析指針	.80	.06
理學博士 中瀬 古六郎	微量分析化學	2.00	.18
理學博士 中瀬 古六郎	現代化學概觀	2.00	.14
理學博士 中瀬 古六郎	自然科學要論	.80	.10
農學博士 近藤 金助	蛋白物理化學	3.00	.18
工學博士 喜多 源逸	石油代用 液體燃料	1.00	.09
理學博士 平田 秀樹	真空放電現象とX線管球の理論	1.00	.09
元京大教授 吉岡 藤作 金澤高工助教授 大野 正巳	燃料汎論	3.50	.24
理學博士 飯島 俊一郎	要説 無機化學	3.00	.24
理學博士 大澤 與美	X線と其應用	6.00	.30
工學博士 中澤 良夫	炭化石灰の工業的製造	1.50	.09
工學博士 富久 力松	人造絹絲	3.00	.20
工學博士 富久 力松	ビスコースの研究	1.50	.09
工學博士 織田 經二	顔料及び染料の色彩	2.50	.20
醫學博士 高瀬 豐吉	化學構造と生理作用	25.00	.50
醫學博士 高瀬 豐吉	" 分冊(1-14)選擇自由	各1.50	.10
醫學博士 高瀬 豐吉	化學構造と生理作用の關係就	1.20	.09
醫學博士 高瀬 豐吉	毒と爆發	1.80	.20
醫學博士 高瀬 豐吉	植物成分の研究	6.50	.38
醫學博士 高瀬 豐吉	臨床藥物要覽	1.50	.10
理學士 石井 新次郎	膠質狀態學	2.00	.20

七五四

新刊

海洋文學

熊野灘の兄弟

山下市郎 著

小野佐世男裝入
四六版美裝上製箱
定價壹圓八拾錢
送料拾四錢

東京市神田區小川町二丁目一

海文堂書店

振替東京八〇九九三
電話神田二七〇二三

青年海事讀本

文部省航海練習所技師 柏野榮一 著

定價一・二〇
送料〇・六

滿洲日日新聞社編

滿洲日日新聞社編
昭和十六年版
定價一・五〇
送料一・四

最新北支那要圖

百五十萬分ノ一
定價〇・五〇
送料〇・三〇

最新中南支那要圖

百五十萬分ノ一
定價〇・七〇
送料〇・三〇

滿洲國地圖

二百萬分ノ一
定價〇・八〇
送料〇・六〇

北支那地圖

三百萬分ノ一
定價一・〇〇
送料〇・六〇

森田重次郎	海運實務の指針	定價五・二〇	送料一・〇〇
海文堂	月俸及割増給計算早見表	定價二・一〇	送料〇・五〇
根布善藏	改正海事申請手續總攬	定價三・八〇	送料一・〇〇
米窪滿亮	航海員保險法解義	定價三・二〇	送料一・〇〇
鈴木倉吉	現行海事法令	定價一・二〇	送料〇・五〇
海文堂編纂部	改正國際海上衝突豫防規則解説	定價三・五〇	送料一・〇〇
永野馬太郎	船舶構造概要	定價一・八〇	送料〇・五〇
永野馬太郎	鋼船構造規程要	定價一・〇〇	送料〇・五〇
海文堂	鋼船構造規程	定價三・五〇	送料一・〇〇
倉田香吉	新撰鋼船構造學	定價三・五〇	送料一・〇〇
倉田香吉	新撰木船構造學	定價三・五〇	送料一・〇〇
桑原周雄	木造船構造學	定價三・五〇	送料一・〇〇

七五五

呈進第次越申御録目版出

學士博士 武田祐吉 謹修 三浦藤作 謹解

歷代詔勅全集

皇紀二千六百年記念出版・全八卷

萬戸必備・萬人必讀

詔勅こそは、皇國臣民が日夜奉誦しなければならぬ尊嚴無比の神典である。然るに未だ古今の詔勅を平易適切に謹解した良書稀く、従つて 御歴代の詔勅を通じて宏遠雄深なる皇謨と、深厚なる聖恩を仰ぎ奉ることの出来なかつたのは、聖代の恨事と云はねばならぬ。本書房は光輝ある紀元二千六百年の記念事業として、こゝに、神代より現代に至る全詔勅の謹解刊行を企て全國民の前に捧げる。有史未曾有の世界變局に處し、興亞の聖業を達成する重任を負へる皇國の臣民は必ずや一本を備へられんとを。

第一卷—第四卷

神代より明治時代に至るまでの詔勅を謹抄して全詔悉く謹解する。

第五卷—第七卷

明治時代より現代に至るまでの詔勅を謹抄して全詔悉く謹解する。

第八卷

第七卷まで謹解せる以外の詔勅を全收し全索引を附する

内容見本
進呈

刊行規定	體裁	菊三〇頁以上平均	函入優雅裝	配	一冊以下	定價	一回以上	送料	八拾錢
預約募集	申込金不要	各冊平均	裝	本	廿日以下	一冊以下	廿日以下	八拾錢	二十錢

東京市日本橋區 通區橋本日本市京東
地番一目了三 房書出河

七五七

監修 京都帝大名譽教授 幸博士 大幸勇吉 大阪帝大名譽教授 眞島利行 東京帝大教授 柴田雄次

化學實驗學

本講座は化學界に於ける最近の各研究課題に關し、最もこれを専門とする學者に乞ひて各自貴重なる研究の體驗に基き簡潔平明に叙述し、殊更に化學各項目を網羅せんがため外國書の譯述を行ふ如き弊を損てんとするが其の主意である。従つて廣く之を見れば本講座によつて現時本邦化學界最前線の活動を綜覽し得べく個々に就てこれを参照すれば各部門研究者に對し絶好の指針たらんことを庶幾する。

全廿五卷 第一卷のみ 兩部共通

- 第一部 物理・無機・分析化學
- 第一卷 化學實驗總論 第二卷 物理化學 I 第三卷 物理化學 II 第四卷 物理化學 III 第五卷 物理化學 IIII 第六卷 物理化學 V 第七卷 無機化學 I 第八卷 無機化學 II 第九卷 分析化學 I 第十卷 分析化學 II 第十一卷 分析化學 III 第十二卷 地球化學 第十三卷 講義實驗・總索引
- 第二部 有機化學・生物化學
- 第一卷 化學實驗總論 第二卷 基本操作篇 I 第三卷 基本操作篇 II 第四卷 反應篇 I 第五卷 反應篇 II 第六卷 合成篇 II 第七卷 合成篇 III 第八卷 合成篇 IIII 第九卷 天然物取扱法 I 第十卷 天然物取扱法 II 第十一卷 微生物及酵素實驗法 第十二卷 研究實例篇 第十三卷 總索引

内容見本 進呈 體裁 九ボ横組 クローズ製函入平均八百頁 定價 第一卷 六圓五十錢以下八圓乃至十四圓 送料十二錢 地方二十二錢 外地六十二錢

東京市日本橋區 通三丁目一番地 河出書房 振替口座東京 一〇八〇二番

七五六

好評噴々たる

霞ヶ關書房の新刊書

出版報國！
良書刊行！
出版文化の高揚に敢然躍り出た霞ヶ
關書房の良心的國策圖書!!!

南進	南方共榮國とその性格	間人ヒットラー物語	大衆は動く	翻病記	印度の新太陽	ロンドン爆撃
本	早坂義雄	ワブ・ブライズ	チャコ・テイ	姉崎卓郎	アマ・シン	マアヒム・マチアス
價	價	價	價	價	價	價
一・二〇〇	二・〇〇〇	一・五〇〇	二・二〇〇	一・四〇〇	一・四〇〇	一・四〇〇

もとく誰でも悟つてる

三國同盟と日米戰	國民運動の再出發	獨逸國民經濟及國防經濟の原理	間諜としての余の活躍	フランス敗戦の真相	全體への闘争	生活文化と美術	五大革新史論	亞細亞侵略史
松尾樹明	安達巖	ハインリッヒ・フンケ	R・B・パウエル	尾崎達男	ベニト・ムッソリーニ	津田敬武	河原萬吉	高橋勇
價	價	價	價	價	價	價	價	價
一・七〇〇	一・八〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・五〇〇	一・三〇〇	一・四〇〇	各價(上下) 三・五〇〇	三・五〇〇

七五九

東京市赤坂區霞ヶ關書房 電話赤坂一六三・一四〇番
東京市東區三町三丁目一〇番

大阪公立工業學校電氣科教諭三十數氏ニ依テ編纂セラレタル

最モ權威アル 電 教 社 編

昭和十四年度改訂版

著 者	品 目	形状頁數	定價
電 教 社 編	交 流 理 論	菊判98	60
同	電 氣 磁 氣	同 125	90
同	電氣磁氣測定法並器具	同 115	85
同	送 電 配 電	同 95	75
同	電 氣 工 學	同 160	1.20
同	電燈照明並電熱工學	同 140	98
同	電 氣 材 料	同 90	70
同	電 氣 鐵 道	同 72	70
同	發電所及原動機	同	1.35
同	直 流 機 械	同 100	75
同	交 流 機 械 前編	同 125	90
同	交 流 機 械 後編	同 105	80
同	電 氣 機 械	同 320	2.00
同	電氣應用一般	同 320	2.00
同	電氣理論及測定法	同 320	2.00
(其他電氣工學ニ關スル教科書)			
兵庫縣立工 溝淵定夫氏 共 業學校教諭 山中新造氏 著	中 等 電 氣 磁 氣	同 240	1.35
岐阜縣工 一色要氏 著 業學校教諭	中 等 無 線 工 學	同 190	1.20
大阪帝國 藤本永三氏 著 大學教授	電 氣 磁 氣 學 綱 要	同 210	1.50
兵庫縣立工 松井弘氏 著 業學校教諭	基 本 電 氣 製 圖	菊倍 版 75	1.00
同	最新刊 同 增補版	同 126	1.40
兵庫縣立工 青木武氏 著 業學校教諭	最新刊 電 燈 照 明	菊判 210	1.80

七五八

其他機械工學ニ關スル教科書多數アリ

大阪市大正區泉尾 大石堂出版部 振替大阪一六五一五番
竹之町三丁目一三 電話泉尾(65)四四四五番